

官

報

號外

大正四年五月二十三日

日曜日

印

刷

局

○第二十六回 衆議院議事速記録第三號

大正四年五月二十二日

(土曜日) 午後二時三十分開議

大正四年五月二十一日

午後一時開議

第一 河川法中改正法律案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 治水費資金特別會計法廢止法律案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 第六 第七 第八

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會
第一讀會
第一讀會
第一讀會

○佐々木安五郎君 若シモ多數黨ヲ恃ミトシテ斯ノ如キ場合ニ於テモ、飽迄横暴ヲ黙レト呼フ者アリ議場騒然)
○議長(島田三郎君) 發言ヲ妨ヌヤウニ靜ニ……
○佐々木安五郎君 若シモ多數黨ヲ恃ミトシテ斯ノ如キ場合ニ於テモ、飽迄横暴ヲ黙レト云フヤウナコトハ——最初、宣言ニ基イテ公平ヲ維持スルナラバ、以後言語逞シクスルト云フヤウナコトハ——最後、宣言ニ基イテ公平ヲ維持スルナラバ、以後言語逞シクスルト云フコトヲ忠言シテ置ク(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 一言御答ヲ致シテ置キマスガ、此席ニ於テハ議院以外ノ事ニハ何事モ御答ヲ致シマセヌ(ヒヤク)「其通り」ト呼フ者アリ是ヨリ各大臣ノ演説ガゴザイマス、總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ演説ガアリマスカラ、是ガ順次終リマシタ後ニ、通告ニ從シテ質問ノ發議ヲ許シマス……大隈内閣總理大臣

(拍手起ル)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

臨時軍事費豫算追加案

(第一號) 大正四年度歲入歲出總豫算追加案

○議長(島田三郎君) 是ヨリ昨日カラ懸案ニナッテ居リマスル事ニ付テ其事ヲ御報告致シマス、齋藤桂次君ヨリ御問ニナリマシタ點ヲ取調ベマシタ、速記錄ニ黨派ノ記名ヲ致シマスル件ニ付キマシテハ、其顛末ハ、事務局ニ於テ速記錄ノ體裁ヲ改良スルノ目的ヲ以テ取計シタノアリマス、併ナガラ事務局ノ取計ヒニ付ア、更ニ考慮ヲ要スルコトガアリマスルノデ、各派ノ御意見ヲ徵シタコロガ、二ツニ分カレマシテ、可トスルモノアリ、否トスルモノアリテ、全會ノ御方が總テ一致デナケレバ改メナ一方ガ宜カラウ、斯ウ云フ圓滿ナル御意見ニアリマスカラ、其通ニ致シマシタ、昨日ノ件ハ是テ結了致シマシタ、其他決算委員ノ諸君ニ申シマスルガ、前例ニ依リマシテ、第三十一回議會及第三十五回議會ニ提出ニ相成テ居リマスル決算ヲ、本會期ニ於テ審査セラレンコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 議長
○議長(島田三郎君) 唯今報告致シタコトアリマスカ
○議長(島田三郎君) イヤ議場ノ整理ニ付テ一言致シタイ
○議長(島田三郎君) 整理ナラ宜シウゴザイマス、佐々木君
○佐々木安五郎君 議長ハ奉職當時ノ御披露ノ御挨拶ニ於テ、心ヲ用井テ公平ヲ維持スル精神ヲ以テ言ハレタ、然ルニ其後帝國ホテルノ或招待會ニ於テ、議長トシテ臨席フサレテ、吾々國民黨ノ提出セルトコロノ議案ニ向シテノ批評ガアッタ、議長トシテハ斯ノ如キ所ニ於テ戰フ桃ムベキトコロノ言語ヲ用ヒキデハアルマイト思フ、若シ論難攻撃ノ必要ガアレバ宜シク議長ノ席ヲ降ッテ、一議員ノ席ニ於テ、而シテ論難攻撃スルガ宜カラウ(ノウ)、「無用ヤタ」ト呼フ者アリ公平ヲ維持スルト云フコトヲ言ウテ置キナガ
○議長(島田三郎君) 加藤外務大臣
(拍手起ル)
○外務大臣男爵加藤高明君登壇
○外務大臣(男爵加藤高明君) 諸君、前議會以後ニ於ケル外交ノ狀況ハ過般來日支兩國ノ間ニ交渉進行中アリマシタル案件ノ外ニ、特ニ茲ニ御報告致スホドノ重要ノ事項ハゴザイマセヌ付キマシテ、本大臣ハ茲ニ諸君ニ對シテ該案件、即チ日支交渉中ナリシ案件ノ性質、並ニ其經過ノ概略ニ關シテ開陳致シタイト存シマス、尤モ此ノ

案件ハ未だ大體ノ協定ヲ結了シタニ止マリマシテ、條約文及之ニ附屬スルトコロノ公文書ノ作成ニ付テハ、現ニ兩國ノ委員間ニ協議進行中デアリマシテ、未ダ之ヲ公表スルノ時機ニ到テ居リマセ、從ツテ今日ヘ單ニ既ニ協定ヲ了シタル大體ノ趣旨ニ付テ報告スルノ外ナニコトヲ御諒察ヲ願ヒタイ、義三前ノ議會三於テ當時ノ議員諸君ニ報告致シマシタル通り、帝國ノ陸海軍ヘ客年十一月七日極東ニ於ケル獨逸ノ根據地タル膠州灣ヲ占領致シマシテ、戰局ハ茲ニ一段落ヲ告ケマシタルニ依シテ、帝國政府ハ日獨戰役ノ善後ヲ圖ルト同時ニ、此機會ニ於テ日支兩國ノ關係ヲ益々親善ナラシメ、且極東ニ於ケル帝國將來ノ地歩ヲ鞏固トナシ、以テ東洋ノ平和ヲ永遠ニ確保セムコトヲ庶幾ヒマシテ、支那政府ニ對シテ山東問題ノ處分ニ關スル提案ト共ニ、滿洲蒙古ニ於ケル我國ノ地位ノ確認竝ニ其他ノ事項ニ關スル問題ノ解決ニ關シテ、大要左ニ申述ズルトコロノ條件ヲ提出シテ、其應諾ヲ求メマシタ

第一 山東省ニ關スル件

獨逸ガ山東省ニ關シ條約其他ニヨリ支那ヨリ獲得シタル權利利益讓與等ノ處分ニ付將來日獨兩國間ニ協定スキ一切ノ事項ヲ承認スルコト

芝罘又ハ龍口ト膠濟鐵道ヲ聯絡スヘキ鐵道ノ敷設權ヲ日本國ニ許與スルコト

山東省ノ主要都市ヲ開放スルコト

南滿洲及東部内蒙古ニ關スル件

旅順大連租借期限竝ニ南滿洲及安奉兩鐵道ニ關スル各期限ヲ更ニ九十九箇年延長スルコト

日本人ニ對シ各種商工業上ノ建物ノ建設又ハ耕作ノタメ必要ナル土地ノ賃借權又ハ所有權ヲ許與スルコト

日本人カ居住往來シ各種商工業及其他ノ業務ニ從事スルヲ許スコト

日本人人ニ對シ特ニ指定セル鑛山採掘權ヲ許與スルコト

他國人ニ鐵道敷設權ヲ與ヘ又ハ鐵道敷設ノタメ他國人ヨリ資金ノ供給ヲ仰クトキ竝ニ諸稅ヲ擔保トシテ他國ヨリ借款ヲ起ストキハ豫メ帝國政府ノ同意ヲ經ヘキコト

政治財政軍事ニ關スル顧問教官ヲ要スル場合ニハ帝國政府ニ協議スヘキコト

第二 南滿洲及東部内蒙古ニ關スル件

吉長鐵道ノ管理經營ヲ九十九箇年間日本國ニ委任スルコト

第三 漢治萍公司ニ關スル件

日本國資本家ト同公司トノ密接ナル關係ニ顧ミ公司ヲ適當ノ機會ニ日支合辦ト爲スコト竝ニ支那政府ハ日本國ノ同意ヲ經シテ、公司ニ屬スル一切ノ權利財產ヲ自ラ處分シ、又ハ公司ヲシテ處分セシメサルヘキ旨ヲ約スルコト

日本資本家側債權保護ノ必要上支那政府ハ本公司ニ關スル諸鑛山附近ノ鑛山ニ付キ公司ノ承諾ヲ經シテ之ヲ採掘ヲ公司以外ノモノニ許可セサルヘキ旨竝ニ其他直接間接公司ニ影響ヲ及ホス虞アル措置ヲ執ラントスル場合ニハ先ツ公司ノ同意ヲ經ヘキ旨ヲ約スルコト

支那沿岸ノ港灣及島嶼ヲ他國ニ譲與又ハ貸與セサルヘキ旨ヲ約スルコト

第四 中央政府ニ關スル件

第五 政治財政及軍事顧問トシテ有力ナル日本人ヲ傭聘スルコト

二 支那内地ニ於ケル日本ノ病院寺院及學校ニ對シ土地所有權ヲ認ムルコト
三 必要ノ地方ニ於ケル警察ヲ日支合同トスルカ又ハ是等ノ地方ニ於ケル警察官廳ニ日本人ヲ傭聘スルコト

四 日本ヨリ一定數量ノ兵器ノ供給ヲ仰クカ又ハ支那三日支合辦ノ兵器所ヲ設立シ日本ヨリ技師及材料ノ供給ヲ仰クコト

五 武昌ト九江南昌線トヲ聯絡スル鐵道及南昌杭州間南昌潮州間鐵道敷設權ヲ帝國ニ許與スルコト

六 臺灣トノ關係及福建不割讓約定ノ關係ニ顧ミ福建省ニ於ケル鐵道鑛山港灣ノ設備ニ關シ外資ヲ要スル場合ニハ先ツ日本國ニ協議スヘキコト

七 支那ニ於ケル日本人ノ布教權ヲ認ムルコト

本提案ハ其目的前述ノ通リアリマスガ、各條項トモ何レモ帝國當然ノ要求ニ係り又ハ適當ノ希望ニアリマシテ、帝國政府が從來支那ニ關シ、列國ニ對シテ隨時聲明シタル領土保全機會均等門戶開放等ノ主義ト抵觸スル虞アリト認メラル條項ヲ有セザルコトハ申スマデモナク、乃チ山東省ニ關シテハ、帝國政府ハ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ獨逸ノ勢力ヲ驅逐シタリト雖モ支那ノ現狀ヲ見レバ支那ハ獨逸ガ其地ヲ回復スルコトヲ防止スルノ實力ヲ持テ居ラヌト云フコトハ明カデアリマスルガ故ニ、帝國自ラ獨逸ノ有スル權利ノ處分方法ヲ講ジテ、極東ノ禍根タル其勢力ノ復活ヲ豫防スルノ措置ニ出テマシタノハ、洵ニ已ムヲ得ヌ次第アリマス、又南滿洲ニ關シテハ、帝國が從來同地方ニ對シテ、密接特殊ナル關係ヲ有シ、優越ナル地歩ヲ占メテ居リマスルコトハ、中外ノ齊シク認ムルトコロニアリマシテ、而シテ東部内蒙古モ亦地理上經濟上密接不可分ナル關係ヲ有スル南滿洲ト略々其揆ヲニシテ居ル次第アリマス、然ルニ從來同地方ニ於ケル帝國ノ地位ハ、未だ支那政府ノ確認スル所トナツテ居ラザリシ點ガ多カク爲メニ、日本國間ニ時々種々ノ問題ヲ惹起シ、延テ兩國ノ國民的感情ニ好マシカラザル影響ヲ及ボシタルコト一再ニシテ止マラザリシコトハ、帝國政府ノ常ニ遺憾ト致シタ所ニアリマス、隨ツテ此際支那政府ヲシテ、是等ノ地方ニ於テ我帝國ノ當然有セザルベカラザル地位ヲ確認セシムルコトハ、兩國ノ和親ヲ圖ルノ上ニ於テ、極メテ必要ノ事アリマスル、漢治萍公司ニ關スル件ハ、同公司ト日本資本家トノ密接ナル關係ニ顧ミマシテ、公司將來ノ利益ノ爲メ最善ノ方法ヲ講ゼントスルモノアリマス、又第四沿岸不割讓ノ件ハ、帝國政府が屢々内外ニ宣言シタル支那領土保全ノ大則ニ、更ニ一步ヲ進メタルモノニ外ナリマセス、次ニ以上ノ各條項ト其性質ヲ異ニスルモ、日支兩國和親ノ關係ヲ益々増進スルが爲メニ、從來兩國間ニ蟠る所ノ各種ノ懸案其他ノ諸問題ヲ、此際出來ルナレハ併解決シテ、將來ノ紛爭ヲ避ケル爲メニ取極メヲ爲シ置クコトハ甚ダ望マシイコトハ申スマデモナイ次第アリマス、仍テ帝國政府ハ是等ノ事項ヲ前ニ述ベマシタル各條項ト區別シテ、當方ノ希望トシテ支那政府ニ提出ヲ致シテ、同國政府ニ於テ兩國親交ノ增進ヲ圖リ、兩國共通ノ利益ヲ擁護センガ爲メニ其實行ニ同意セントスル勸告スルコト致シマシタ、此提案ニ付キ交渉ヲ開始スルヤ、支那政府ハ先づ東部内蒙古ニ關スル問題、及ヒ第五ノ諸問題ニ付テハ、絕對ニ交渉ニ應ズルコトヲ拒ミマシタ、其他ノ問題ニ付テモ種々理由ノ下ニ、容易ニ應諾ノ意ヲ表シマセヌアリマシタ、而シテ一方ニ於テハ交渉ノ漸次進ムニ從ツテ、提案各條項ハ濫リニ誇大ニセラレテ外間ニ流布セラレ、談判ノ内容モ隨時新聞ニ掲載セラル、等ノコトガアリマシタ爲メニ、交渉ノ局面徒ラニ紛糾ヲ來シ、其結了ヲ遲延ナラシムルニ至ッタコトハ太ダ遺憾トスル所アリマス、帝國政府ハ支那側ノ斯ル態度ヲ示セルニ拘ラズ、二十五回ノ會議ヲ重ネ、三箇月餘ノ日

子ヲ費シ、十分誠意ヲ披瀝シテ提案ノ趣旨ヲ反覆説明スルト共ニ、支那政府ノ腹藏ナキ意見ヲモ承リ、飽マテモ互譲安協ノ精神ヲ以テ交渉ノ圓滿ナル解決ニ力メシタル結果、支那政府ニ於テモ省ミル所アリシモノノ如ク、山東省ニ關シテハ、第三項ニ付キ借款契約ヲ我が方ニ最モ有利ナラシムルヤウ根本的改訂ヲ爲スコト、ナシテ協議濟トナリ、右ノ如ク或簡條ニ付テハ交渉が纏リシタケレドモ、主要問題タル居住及ビ土地ニ關スル權利ニ付テハ種々ノ制限ヲ加ヘ、東部内蒙古ニ關スル問題、及ビ第五列記ノ諸問題ニ付テハ、或ハ主權ト相容レズ、又ハ他國ノ條約ト抵觸スルト云ア理由由下ニ、依然協議ニ應ズルコトヲ避ケマシタニ付テ、帝國公使ニ於テ其然ラザル所以ニ付テ、百方說示スルトコロアリマシタケレドモ、當方ノ懷抱シタル和衷協同ノ誠意ハ、充分ニ支那當局ノ酬ユルトコロトナラザリシ感アリシ實況ニアリマシタ、然レドモ帝國政府ハ交渉ノ圓滿ナル解決ヲ爲スコトハ、東洋ノ平和維持ノ爲メニ極ムテ緊要ナルコトヲ思ヒ、去ル四月二十六日ヲ以テ、更ニ支那側ノ主張ヲ參酌シテ、若干ノ讓歩ヲ爲セル修正案ヲ提出スルコト、相成リマシタ、此修正案ハ從來ノ會議ニ於ケル支那側ノ意見ヲモ參酌シタルモノニシテ、即チ前述第二南滿洲及東部内蒙古ニ關スル件ヨリ、東部内蒙古ニ關スル問題ヲ分離セシメ、第一項土地ノ賃借權、又ハ所有權ヲ賃借又ハ購買トナスカ、或ハ永租若クハ暫租ト改メルカ、又ハ永キ期限、且ツ無條件更新ノ意義ニテ租借ト爲スカハ、支那側ノ選擇ニ委スコト、ナシ、「謙遜々々ト呼フ者アリ」第二項、第三項ニ關スル制限トシテハ、旅券ヲ地方官ニ提出シテ登録ヲ受ケ、且ツ日本領事ニ於テ同意シタル警察法令及課稅ニ服スルコト、シ、民刑訴訟ハ被告主義ニ依ルコト、開放地ノ場合ト同様トナシ、唯兩國官吏互ニ臨席傍聴スルヲ得ルコト、致シマシタ、而シテ土地ニ關スル日支人間ノ民事訴訟ノミハ、支那ノ法律慣習ニ依リ、彼我ノ官吏共同シテ審判ヲ爲スコト、致シマシタ、東部蒙古ニ付テハ、(イ) 日支合辦ノ農業及ヒ附隨工業ノ經營、(ロ) 鐵道借款租稅擔保借款ニ對スル優先權(ハ)開放地ノ增設ノ三項ニ止メ、漢冶萍公司ノ件ハ屢次ノ會見ニ於テ支那側ノ言明スルトコロノ事項、即チ他日日支合辦ノ議が整フタ場合ニ於テハ、支那政府ハ之ヲ承認スルト云フコト、又支那政府ハ公司ヲ沒收セサルコト、及ヒ日本資本家ノ同意ナシシテ國有トナシ、又ヘ外資ヲ入レシムルコトナキ旨ヲ約束スルコトナシ、沿岸不割讓ノ件ハ支那側ノ希望ヲ容レ、支那政府自ラ進シテ宣言ヲナスノ形式ニ改メ、其他第五列記ノ諸件ニ關シテハ、會議中ニ支那側代表者ノ言明シタル如ク(一)顧問ノ件ハ必要ノ場合ニ日本人ヲ傭聘スルコトシ、(二)學校病院用地ノ件ハ租借又ハ購買ヲ支那政府ニ於テ允許スルコトシ、(三)兵器ノ件ハ他日陸軍武官ヲ日本ニ派遣シテ兵器購入、又ハ日支合辦、兵器廠設立ノ事ヲ協議スルコトニ改メ、又我方ニ於テモ支那側ノ主張ヲ斟酌シ、(四)布教權ノ件ハ他日ノ商議三讓ノコトヲ致シ、從テ寺院用地ノ件ヲ撤回シ、(五)南支鐵道ノ件ハ他國ニ於テ故障ナキ場合ニ日本ニ許與セザルベキ事トシ、以上五項ノ趣旨ヲ記録ニ載スルコトヲ求メ、(六)警察合同ノ件ハ前陳第二南滿洲ニ關スル件第六項顧問傭聘ノ項ノ中ニ警察ノ一項ヲ追加スルコトトシテ之ヲ撤回シ、(七)福建省ニ關スル件ハ、同省沿岸ニ他國ガ造船所軍用貯炭

所海軍根據地、其他軍事上ノ施設ヲ爲スヲ許サザルコト、及ヒ支那自ラガ外國ノ資本ニ依リテ同様ノ施設ヲ爲サザルコトヲ、公文交換ノ形式ニテ約束セシムルコトト致シタノデアリマス、此修正案ノ提出ト同時ニ帝國政府ハ支那政府ニ對シ、同政府ニシテ我ガ修正案全部ヲ應諾スルニ於テハ、戰後講和會議ノ結果、膠州灣ガ帝國ノ自由處分ニ委セラル場合ニハ、同地ヲ商港トシテ開放シ、日本專管居留地モ設置シ、且ツ列國ニ於テ希望スルニ於テハ、共同居留地ヲモ設置スルコト、獨逸施設物ノ處分其他ノ條件手續ニ關シテハ、日支兩國間ニ協定ヲ遂グベキコト等ノ條件ノ下ニ、之ヲ支那ニ還附スベキコトヲ聲明致シマシタ、「同胞ノ血ヲ水ノ泡トセリ」ト呼フ者アリ)膠州灣ハ獨逸ガ多額ノ資財ト多大ノ勞力ヲ投シテ經營シタル同國ニ取リテ、軍事上、通商上、極メテ重大ナル極東唯一ノ根據地アリマス、支那ガ獨力ヲ以テ此地ヲ回復スルカリキハ、到底望み能ハザルトコロデアリマス、而シテ帝國ガ武力ヲ以テ此地ヲ占領シタル上ハ、之ヲ如何ニ處分スベキヤハ、主トシテ帝國ノ意志ニ屬シマシテ、支那ニ還附スベキ義務ナキコト勿論ナルニ拘ラズ、帝國ニ於テ進シテ還附ヲ豫約セントシタル所以ハ、實ニ帝國ガ支那領土保全ノ主義ヲ重ンズルト同時ニ、日支國交ノ親善ト、極東全局ノ和平トニ眷々タルニ外ナラヌ次第アリマス、然ルニ支那政府ニ於テハ、我方ノ交譲妥協ノ誠意ヲ諒トセズ、五月一日、更ニ對案ヲ提出シテ、之ヲ以テ其最終ノ決定案ナリト聲明致シマシタ(「斯ノ如キ悔ヲ招クモノハ唯ソ」ト呼フ者アリ)右對案ハ、南滿洲ニ關シテハ日本人ニ永租權ヲ與フルコトヲ拒ミ、且ツ無條件ニテ支那ノ警察法規ニ服從シ、土地ニ關スル訴訟ハ、日支兩國人間ノモノハ素ヨリ、日本人相互間ト雖モ總テ支那官吏ノ審判ニ歸スヘシ等ノ條件ヲ要求シ、且ツ東部内蒙古ニ付テハ、其範圍ヲ限局シ、我要求ノ眼目タル農業及ヒ附隨工業ノ經營ヲ拒ミ、同時ニ膠州灣租借地ノ無條件還附、日獨講和會議ニ於ケル支那政府參加ノ承認ヲ求メタルノミナラス、山東省ニ於テ用兵ノ結果生ジタル避クベカラザル損害ノ賠償ヲ求メ、並ニ同戰役ニ於ケル日本軍ノ軍事的施設ノ即時撤廈、守備兵ノ至急撤退ヲ要求シ、更ニ第五列記ノ諸件中、福建省ニ關スル件ヲ除キマシテ其他ノ提案(即チ會議中支那側委員ノ言明シタル處ヲ記録ニ止メテ置カウト云フコトニ過ギザル我提案ヲモ拒絶シテ)「何ノ面目ガアル」ト呼フ者アリ)加之右對案ニハ、一旦撤回シタル條項ヲ復活セシメ、又ハ已ニ協定濟ミノ事項ヲ取消ス等、自國委員ノ責任アル陳述ヲ否定シタル廉斷カラズ、殊ニ膠州灣無條件還附ノ要求、若クハ山東省ニ於ケル用兵ノ結果生ジタル避クベカラザル損害ノ賠償請求、若クハ日獨講和會議ニ支那政府ノ參加セントスル申出ノ如キハ、帝國ニ於テ到底容認スル能ハザルモノデアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアル、而モ支那ノ政府ハ右要求ヲ含メル對案ヲ以テ、其最終ノ決定案ナリト明言致シマシタ、從テ我ニ於テ是等不當ノ要求ヲ容認セザル以上ハ、他ノ諸項ニ關シテ如何ナル商定ガアラウトモ、如何ナル協議ガ整フトモ圓満ノ解決ヲ見ル理由ナク、結局支那政府ノ對案ハ其全體ニ於テ全ク空漠無意義ト申シテ宜イ性質ノモノデアリマシタ、帝國政府ハ支那政府ノ斯ノ如キ態度ニ鑑ミ、此上交渉ヲ繼續スルノ餘地ハ殆ド是ナキヲ認メマシケレドモ、極東和平ノ維持決定シ、五月六日ヲ以テ在支帝國公使ニ訓令シテ、右ノ趣ヲ支那政府ニ申入レシムルト同時ニ、支那政府ニ於テ更ニ慎重ナル考量ヲ加ヘ、我修正案ニ對シ、五月九日ノ承認シタル福建省ニ關スル件ヲ除キ、其他ハ改メテ他日ノ協議ニ讓ルコトナスコトニ午後六時迄ニ承諾ノ意ヲ表スベキ旨、並ニ同時刻迄ニ滿足ナル回答ヲ得サルニ於テ

帝國政府ハ止ムラ得ズ其必要ト認ム措置ニ出ツベキ旨ヲ通告致シマシタ、此ニ至テ支那政府ハ初メテ克ク帝國政府が極東ノ和平ニ眷タル情意ヲ酌ミ、大局ヲ顧念シテ五月九日陸外交總長ヲ帝國公使ノ下ニ遣ハシ、我提案全部ヲ直チニ應諾スル旨ノ公文ヲ交付シ、此ニ木交渉モ圓滿解決ヲ告グルニ至ツタノデアリマス（拍手起ル）此交渉ノ結果ヲ具體的ノモノタラシムベキ條約、及ビ交換公文ノ協議作製方ニ關シテハ、在北京帝國公使ニ於テ、已ニ帝國政府ノ訓令ニ基キ、支那政府當局ト交渉ヲ開始シテ居リマスカラ、近日ノ中ニ兩國全權ノ調印ヲ見、次テ御批准ヲ仰グニ至ルト信ジマス、關係公文書等ハ其時ニ於テ諸君ノ御覽ニ入レル積リアリマス、此等條約等ニシテソレノ成立ヲ見ルニ至ラバ、從來久シク日支兩國間ニ蟠り、兩國國交ノ親善ヲ妨グルノ處アリケル問題ノ重要ナルモノハ、茲ニ解決セラレテ（拍手起ル「ノウ／＼」ト呼フ者アリ）兩國和親ノ關係益、敦ク（「ノウ／＼」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君） 静肅ニ

○外務大臣（男爵加藤高明君） 極東平和ノ基礎更ニ固キヲ加フルノ結果アルベキハ、帝國政府ノ信ジテ疑ハザル處アリマス（拍手起ル「ノウ／＼」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君） 若槻大藏大臣

（大藏大臣若槻禮次郎君登壇）

（拍手起ル）

○大藏大臣（若槻禮次郎君） 諸君茲ニ大正四年度歲入歲出總豫算追加案ヲ諸君ニ御紹介致ス光榮ヲ有シマス、大正四年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上致シテアリマストコロノ歲入ハ、經常部ニ屬スルモノガ四百二十四万二千六百三十一圓、臨時部ニ屬スルモノガ千五百四十五万九千六百六十九圓、合計千九百七十七万二千三百圓、其歲出ハ經常部ニ屬スルモノ五百六十七万九千八百三十圓、臨時部ニ屬スルモノガ五千一百五十四万七千九百八十圓、合計五千八百二十圓、臨時部ニ屬スルモノガ四百二十四万二千六百三十一圓、臨時部ニ屬スルモノガ五千五百八十四圓、合計シテ五億五千七百七十九万一千七百七十六圓、臨時部ニ屬スルモノガ九千七百四十五万八千二百十一圓、合計四億九千一百七十六万九千八百五十圓、其歲出ハ經常部ニ屬スルモノアリマス、ソレ故ニ歲入ト歲出ヲ差引致シマスト、六千五百四十二万九千二百十六圓、歲入超過ヲ生ジテ居ル計算アリマスガ、其後時局ノ推移ニ伴ヒマシテ、軍事其他ノ施設並ニ災害復舊等ニ關シテ、緊急差措キ難い経費ノ支出ヲ要シマシタモノガアリマスト、又今回提出ニ係ル追加豫算ガ成立致シマスルナラバ、是ト相伴ヒマシテ之ト相俟ツテ施行豫算ノ範圍内ニ於テ經費ノ支出ヲ爲サントスルモノガアリマスニ依ダテ、實行豫算ノ歲出ノ增額ヲ來スベキ金額ガ千五百八十八万一千七百六十圓ニ達スル見込アリマス、故ニ之ヲ控除致シマス時ハ、實行豫算上歲入超過トナルベキ金額ハ四千九百七十三万九千六十六圓アリマスノデ、前ニ述ベマシタ通り、之ヲ以テ本年度追加豫算、第一號、第二號ニ於ケル歲入不足ヲ生ズル計算アリマス、次ニ大正四年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上シテアリマストコロノ金額ガ千八百四十五万二千九百二十七圓アリマシテ、此金額ハ本年度實行豫算ニ於ケル歲入超過額ノ内ヲ以テ之ヲ支辨スルノ計畫アリマス、次ニ大正四年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上シテアリマストコロノ金額ハ九千二百七十一圓、歲出ノ總額ガ千八百四十五万二千九百二十七圓アリマシテ、此歲入歲出差引不足ヲ生ズル計算アリマス、此前年度ノ総額ガ千百二十一萬三千六百五十六圓アリマス、此金額ハ前ニ述ベマシタ本年度實行豫算ニ於ケル歲入超過額中、第一號追加豫算ニ於ケル歲入不足ノ補填ニ充テマシタ、殘餘ノ金額ヲ以テ之ヲ支辨スル計算アリマス、大正四年度總豫算追加第一號ニ計上シテアリマストコロノ歲入ハ、專賣局益金ニ於テ官ノ設置三關スル經費ヲ始メ、教育殖產ノ獎勵擴張、地方災害復舊費、水道港灣費補助等ニ關シテ、曩ニ第三十五回帝國議會ニ提出致シマシタル諸般ノ計畫ニシテ、施行豫算ノ範圍内ニ於テハ實行スルコトノ出來ナイモノニ對シテ、經費ノ増額ヲ要求シタノデアリマシテ、其以外ノ金額ハ事業ノ増大ニ伴テ實際ノ必要ニ應ズルコトが出來ヌニナリマシタコロノ專賣局据置運轉資本ノ不足ニ關シテ、尙他ニ三百万圓ヲ計上シタノデアリマス、大正四年度總豫算追加第一號ニ計上シテアリマストコロノ歲入ハ、山東鐵道ノ經營ヨリ生ズル收入、及前年度剩餘金ノ総額入アリマシテ、其歲出ハ時

局ニ關スル陸海軍臨時軍事費ノ本年六月以降十二月迄ノ所要額、千六百十七五千四百二十四圓ノ内テ、臨時軍事費所屬收入ヲ以テ支辨スルコトが出來マシタトコロノ金額ガ一百七十二万一千四百九十七圓アリマスカラ、之ヲ差引タル殘額ニ對シテ、是が財源トシテ一般會計ヨリ繰入ヲ要シマスル金額千二百四十五万二千九百一十七圓ノ外、時局ニ關シ各省ニ於テ要スル經費ノ支出ニ充ツベキ臨時事件費豫備費五百萬圓ヲ計上シテアルノデアリマス、抑、大正四年度ノ歲入ニ關シテハ、政府ハ曩ニ時世ノ進運ニ應ズベキ各般ノ計畫ヲ定メマシテ、又現下ノ時局ニ對スル必要ノ方策ヲ講ジマシテ、是ガ經費豫算案ヲ第二十五回帝國議會ニ提出致シマシタノデアリマスガ、不幸ニシテ其成立ヲ見ルニ及バカッタノデアリマスガ故ニ、帝國憲法ノ條則ニ隨シテ前年度豫算ヲ施行スルト同時ニ、緊急已ムヲ得ザル諸般ノ施設ニシテ右施行豫算ノ範圍内ニ於テ實行出來マスモノヲ查覈致シテ、之ニ依テ同年度實行豫算ヲ編成致シテ、本年四月一日カラ實施致シタノデアリマス、歲入ハ經常部ニ屬スルモノガ五千七百八万五千五百八十四圓、合計シテ五億五千七百七十九万一千七百七十六圓デアリマシテ、其歲出ハ經常部ニ屬スルモノガ三億九千四百三十一萬千六百三十九圓、臨時部ニ屬スルモノガ九千七百四十五万八千二百十一圓、合計四億九千一百七十六万九千八百五十圓、其歲出ハ經常部ニ屬スルモノアリマス、ソレ故ニ歲入ト歲出ヲ差引致シマスト、六千五百四十二万九千二百十六圓、歲入超過ヲ生ジテ居ル計算アリマスガ、其後時局ノ推移ニ伴ヒマシテ、軍事其他ノ施設並ニ災害復舊等ニ關シテ、緊急差措キ難い経費ノ支出ヲ要シマシタモノガアリマスト、又今回提出ニ係ル追加豫算ガ成立致シマスルナラバ、是ト相伴ヒマシテ之ト相俟ツテ施行豫算ノ範圍内ニ於テ經費ノ支出ヲ爲サントスルモノガアリマスニ依ダテ、實行豫算ノ歲出ノ増額ヲ來スベキ金額ガ千五百八十八万一千七百六十圓ニ達スル見込アリマス、故ニ之ヲ控除致シマス時ハ、實行豫算上歲入超過トナルベキ金額ハ四千九百七十三万九千六十六圓アリマスノデ、前ニ述ベマシタ通り、之ヲ以テ本年度追加豫算、第一號、第二號ニ於ケル歲入不足ヲ生ズルノ計畫アリマス、而シテ右特別會計ハ本年度限り廢止スル計畫ヲ定メテアリマシタコロノ治水費資金特別會計ニ付キマシテハ、是が廢止法律ノ制定ヲ見ルコトが出來マセスカッタ故ニ、本年度ニ於テハ尙之ヲ存置シテハ置キマスケドモ、資金ノ借入ハ全然之ヲ止メマシテ、地方分擔金ノ外全部國庫支出金ヲ以テ之ヲ支辨スルノ計畫ヲ立テタノデアリマス、而シテ右特別會計ハ本年度限り廢止スルコト、致シテ、是が法律案ヲ本期ノ議會ニ提出致シマシタ次第アリマス、前期議會ニ法律改正案ヲ提出致シマシタコロノ國債整理基金特別會計ヲ付テモ、亦其成立ヲ見ルコトが出來マセスシタカラ、更ニ之ヲ今期ノ議會ニ提出致シテ、本年度ヨリ直ニ既定ノ財政計畫ノ方法ニ依リマシテ、時局ニ對スル機宜ノ手段ニ於キマシテ達算ナカラムコトニ努メタノデアリマス、今其豫算外支出ニ屬スル金額ハ大正三年度ニ於テ臨時軍事費ニ屬スルモノ一千二百八十四万餘圓、臨時事件費ニ屬スルモノニ二百九十二万餘圓、大正四年度ニ於テ臨時軍事費ニ屬スルモノニ二百八十五万餘圓、臨時事件費ニ屬スルモノ千四百三十七万餘圓アリマシテ、臨時事件費ニ初カフノ支出額ハ臨時軍事費が七千九百二十二萬餘圓、臨時事件費一千二十四五萬餘圓ニ達シタ次第アリマス、今之ヲ今回提出ニ

係シテ居ルトコロノ臨時事件關係ノ豫算ト通算致シマス時ニ就テハ、臨時事件費ノ總額ハ

九千五百三十九万餘圓、臨時事件費ノ總額ハ一千五百二十四万餘圓ニナルノアリ

マス、以上一般會計所屬追加豫算ノ外、各特別會計ニ付キマシテモ、亦是が追加豫算

案ヲ提出致シテ居リマス、其内容ハ一般會計ト同ジク大體ニ於テ曩ニ前期議會ニ提出

シタ所ノ豫算ノ經畫ニ關シ、前年度施行豫算ノ範圍内ニ於テ、是が實行ヲ期スルコトノ

出來ナイモノニ係シテ居ル次第ニアリマシテ、其新規ノ事項ニ屬スルモノハ、主トシテ時局

ノ要求ニ基シモノアリマス、各特別會計法中、廢止ヲ要シマスルモノハ、大正五年度

カラ之ヲ實行スル見込ヲ以テ、是が法律案ヲ今期議會ニ提出シテ以テ、豫メ將來ノ方針

ヲ確定シテ置キタイト考ヘテ居ルノアリマス、以上ハ大正四年度歲計豫算ニ關スル經畫

ノ要綱ニアリマス、此機會ニ於テ更ニ現下ノ經濟事情ニ付テ一言致シテ置キタイト思ヒ

マス、本年ニ於ケル經濟界ノ趨勢ハ、時局突發ノ當時ニ較ベテ見マスト云フト、幾分緩和

ノ兆候ハアリマスケレドモ、時局ノ關係ガアリマスガ故ニ、事業界ハ未ダ一般ニ景氣ヲ恢

復スルコトニハ至テ居リマセヌ、新事業經畫ハ、四月マデノ累計ガ七千四百万圓ニアリ

マシテ、昨年ノ同期間ニ較ベテ見マスト云フト、四千六百万圓ニ減ジテ居ルノアリマ

ス、外國貿易ハ四月マデノ累計ガ輸出一億九千四百萬圓、輸入一億八千七百万圓、

合計三億八千百萬圓ニアリマシテ、輸出入共ニ昨年同期間ニ較ベテ見マスト云フト、大

ニ減退シテ居ルコトガ見エルノアリマス、而シテ輸入ノ減少ハハ千九百万圓ニアリマスノ

ニ較ベテ、輸出ノ方ハ千五百万圓ノ減少ニ止マシテ居ルノアリ、例年ノ輸入超過期ニ

於テ、輸出超過ヲ見ルコトニ至ツテ居リマスコトハ、主トシテ時局ニ伴フ特殊ノ事情ニ依ル

モノデアルト考ヘテ居リマス、而シテ是ガ爲メ國際貸借ノ關係ハ幸ニシテ順調ニナツテ居

リマシテ、本邦正貨ノ總現在高ハ唯今三億九千餘万圓ニアリマスノテ、之ヲ最近ニ於

テ正貨ノ最モ減少シタ昨年十一月末ニ於ケル三億一千餘万圓ニ較ベテ見マスト云フト

ト、約七千万圓ダケガ純粹ニ増加シタコトニ相成ルノアリマス、是等正貨ノ流入ハ、商

工業ノ不況ニ伴フ資金需要ノ減退、及時局ノ將來ニ對スル金融界ノ警戒心ト相俟チマ

シテ、一種變態ナル金融緩慢ノ現象ヲ來シテ、金利ノ低落ト同時ニ兌換券ノ收縮ヲ生

ジ、目下ノ兌換券發行高ハ、明治四十二年五月以來テ、一番低イモノニ相成シテ居ル

ノアリマス、此機運ニ乘シテ新規若クハ借換ノ爲ニ、社債ノ發行セラレタ高ガ、一月ヨ

リ四月マニニ約四千万圓ニ達シテ居リマシテ、昨年ノ同期間ニ比較シテ、二千三百餘

万圓ヲ增加シテ居ルニモ拘ラズ、金融界ハ依然トシテ沈靜ノ狀態ヲ持続シテ以テ今日ニ

及シテ居ルノアリマス、今ヤ正ニ製茶製絲ノ季節ヲ迎ヘマシタカラ、是カラハ漸次幾分

資金ノ運動ヲ刺戟スルヤウニ相成ラウト考ヘテ居ル次第ニアリマス、歐洲ノ戰局ハ未ダ

收マリマセヌケレドモ、鄰邦支那トノ間ニハ遠カラズシテ條約ノ締結ヲ見ントシテ居ルノ

アリマス、此時ニ當ツテ深ク大勢ノ趨ク所ヲ察シ、政府ト國民ト歩調ヲニシ、内外ニ

向シテ益々國力發展ノ機會ヲ利用スルコトニ於テ、一日モ後レザランコトヲ期スルノハ蓋

テ許可ヲ致シマス——元田肇君(拍手起立)

○元田肇君 本員ハ登壇スル前ニ、願クハ總理大臣ノ御出席アランコトヲ希望致シマ

(拍手起立)

○議長(島田三郎君) 貴族院ガマダ午前ノ議事が續イテ居リマスノ、總理大臣ハ彼方ヘ參リマシタ、都合ヲ問合セマセヌケレバ御答が出來マセヌ

(「衆議院ハ貴族院ヨリモ重シ」「ヒヤー」「休憩タゞ」ト呼フ者アリ)
 (「議事ノ進行ヲ願ヒマス」「ヒヤー」「ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 唯今問合中デゴザイマス

(此時發言ヲ求ム者多シ)

○相島勘次郎君 チヨット今時間ガアルヤウデスガ、總理大臣ガ御出デニナル前ニ失禮ナ申分カ知レマセヌガ、外務大臣ノ演説ハ經過ヲ御述ベニナツタノカラ、押問答ノ末ガ斯ウ云フコトニナツタ、吾ミヘ頭ガ惡ルクテ能ク分カラヌテスガ、之ヲ要スルニ今條約ヲ締結セントスルノハ是レ^ク是レ^クデアル、斯ウ一番終ヒニ言^ク戴クト大變吾ミノ頭ニ入ルヤウ……

(「頭ガ惡イノダ」ト呼フ者アリ笑聲起ル)

○議長(島田三郎君) 唯今總理大臣ハアチラノ席ヲ離レテコチラヘ參ラレルサウデアリマス

(此時發言者多シ)

○坂口仁一郎君

議事ノ進行ヲ願ヒタイト思フ、總理大臣ガ來ラレルマデ……

○議長(島田三郎君) 唯無暗ニ故ナク待ツテ居ルト云フコトハナイト思フ(「ノウ^ク」「議

會ノ先例ヲ知ラザルカ」ト呼フ者アリ)院議ヲ以テノ請求ナラバ、格別ニアリマスケレドモ、一個ノ請求ニ斯ノ如ク長時間ヲ費ス必要ハナイト思フ

○議長(島田三郎君) 請求ニ依リシテ貴族院ト折合^{タト}見エマシテ、總理大臣ハコチラヘ參ラレルサウデアリマス

(早川龍介君(ユダクリシテ名論ヲ聽クガ宜イ)ト呼フ)

○議長(島田三郎君) 元田君、總理大臣ガ著席ニナリマシタ

(「名論拜聽」ト呼フ者アリ)

(元田肇君登壇)

(拍手起立)

○元田肇君 本員ハ唯今演説ニナラレマシタル總理大臣ノ施政ニ關スル演説、外務大臣ノ對支外交ニ關スル演説、主トシテ此點ニ付テ、大體ノ質問ヲ致サウト存シマス、

凡ソ列國ニ對シマシテ交渉ヲ致シマスルニハ、特ニ至誠ヲ披キマシテ、和平ノ間ニ折衝ス

ルコトヲ要スルコトハ我帝國ノ國是ナルト存シテ居リマス、偶^ニ布陸ニ向シテ軍艦ヲ派遣シタ如キ例モナキニシモアラズニアリマスケレドモ、其他ハ殆ド此帝國ノ國是ヲ實行セザルコトハ古來ナイト云フコトヲ本員ハ確信シテ居ルノアリマス、然ルニ現内閣ハ今回對支

交渉ヲ爲スニ方リマシテ、先づ名ヲ守備隊ノ交替ニ藉リマシテ、增兵ヲ致シテ威嚇ノ態度ヲ示シ、支那ノ強硬ナル抗議ニ遭ヒマスルヤ、屈辱退讓ノ修正案ニ改メ、而モ此屈辱

退讓ノ修正案ニ改メタルニ拘ラズ、之ニ加フルニ膠州灣還付ノ言明マテ致シテ居ルノアリマス、而シテ尙此第二「提案ヲ輒ク認容セラレヌト云フコトヲ見マスルヤ、忽チニシテ

五項ノ要望ヲ撤回致シテ、僅カニ支那ノ容認ヲ甘んズルノ失態ヲ敢テシタノアリマス、

○議長(島田三郎君) 大臣ノ演説ニ對スル質疑ノ通告ガアリマス、通告ノ順序ニ從ツ

テ許可ヲ致シマス——元田肇君(拍手起立)
 ○元田肇君(拍手起立)

(拍手起立)

○議長(島田三郎君) 静肅ニ……

○元田肇君 敢テ此點ニ付キマシテ總理大臣及外務大臣ノ明白ナル辯明ヲ請求致

ス次第ニアリマス、是レガ質問ノ第一ニアリマス、第二ハ前項申上ゲマシタ對支外交ノ

經過及結果ハ、帝國が平和ノ間ニ當然得ベキ利權ヲ阻害シ——平和ノ間ニ得ベキ利權ナルコトハ外務大臣ガ此席ニ於テ唯今言明シテ居ルノデアル、此當然得ベキコロノルノ感ガアルノデアリマス、政府ハ之ヲ以テ尙帝國ノ威信ヲ汚損セズト爲スデアラウカ、其理由ヲ承ハリタイト云フノデアリマス（「燒餅ヲ燒クナ」ト呼フ者アリ「拍手起ル」）第三ハ政府ハ裏キニ英米列國ニ對シマシテ膠州灣還付ヲ聲明シタルヤニ世上傳ヘマシタカラシテ、昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ本院議員ノ一人ハ質問ヲ致シマシタ、此質問ニ對シテ外務大臣ハ戰爭ニ依リ占領シタ以上ハ無償還付ノ義務ナシト云フ趣旨ヲ明答サレテ居リマス、此明答ニ依シテ帝國ノ國民ハ些少心ヲ安ズルトロカアツクノデアリマス、然ルニ今ヤ支那ニ向シテ遂ニ是ガ還附ヲ言明シ、慇屢ノ如ク之ヲ拋棄サレマシタ（「ノウノウ」「何ガノウダ」「能ク聽イテ居ラニヤイカヌ」ト呼フ者アリ）是レ國民ヲ欺キ、列國ニ對スル聲明ヲ事實ニスルノ機會ニ供シタノデハナイカト思フ（拍手起ル）此點ニ付テ詳細ナル辯明ヲ求メマス（「辯明ノ必要ナシ」「眼ガ眩シテ居ル」ト呼フ者アリ）第四對外交ノ経過ヲ見マスルニ、帝國政府ハ初メハ脫免ノヤウニアリマシテ中頃以後ハ處女ノヤウニ（「君ノ如シト呼フ者アリ」）支那ノ政府ハ是ト反比例ノ態度ヲ執シテ居ルノデアリマス（「政友會ノ外交ハドウダ」ト呼フ者アリ）政友會ノ外交ヲ論ズル場所デハナイ（笑聲起ル）而シテ此間英國……（議場騒然）

○議長（島田三郎君） 議員各自ノ問答ヲ止メマス

○元田肇君 而シテ此間英國人等ハ浙江省ニ於テ鐵道ニ關シ、四川省ニ於テ石油鑛ニ關シ、或特殊ノ權利ヲ得タルノ事實アルヤウデアリマス（「ノウノウ」ト呼フ者アリ）尙ホ英米人等ハ漢治萍附近其他ニ於キマシテ幾多ノ特權ヲ得ント企圖スルモノガアリマステ、爲ニ兩國政府卽チ英米兩國政府ハ、強硬ナル注意ヲ、帝國政府ニ致シタ、斯様傳ヘテ居リマス、單リ國民ノミテハナリ、支那人民ハ帝國ニ對シテ非常三惡感情ヲ懷キ非常ナル騷ギヲシテ居ルト云フコトハ、政府ハ或ハ領事其他ヲシテ通信ヲ禁止シタト云フ風説モ交渉竝ニ列國ニ對スル措置ニ付キマシテハ、國民ハ疑惑シテ措ク能ハヌノアリマス、政府與黨ノ諸君ハ誠ニ御目出度イカラサウデナイカ知ラヌガ、國民ハ疑惑シテ措ク能ハヌノデアリマス、單リ國民ノミテハナリ、支那人民ハ帝國ニ對シテ非常三惡感情ヲ懷キ非常ナル騷ギヲシテ居ルト云フコトモ事實デアル、故ニ政府ハ此際歐洲戰亂勃發以後對外交涉ニ關スリ公文書、其他英、米、佛、若クハ獨逸、露西亞、是等ノ列國ト往復致シタルトコロノ公文書ヲ明カニ茲ニ示セラマシテ、内外ノ疑惑ヲ解クコトが必要デアルト存ズルノデアリマス、政府ハ之ヲ爲スノ意志アルカドウカ、希グハ本員ハ政府ニ於テ斯様ナル文書ヲ提出シ、明カニ内外ノ疑惑ヲ解クト云フコトニ努メラレタイト思フノテアリマス拍手スル者アリ）以上述ベマシタコトハ誠ニ大體ノ事デゴザイマスルガ、膠州灣還附ノコトニ付キマス、國民ハ御承知ノ通りニ血ヲ流シ、幾多ノ財ヲ費シマシテ之ヲ得タノデゴザイマスルテ居ラヌト云フニ至シテハ、能ク其忠誠ヲ維持スルコトが出來マセウカ、本員ガ、今ヤ之ヲ弊履ノ如ク拋棄シ去ル、斯ノ如クニシテ能ク我國民奉公ノ至誠ト云フモノヲ永遠ニ維持スルコトが出來ルノデアリマセウカ（拍手起リ「分ラヌ」ト呼フ者アリ）將來軍國ノ急アル秋ニ方シテ、一外務大臣一時ノ當局者が國民ノ血ヲ流シテ得タモノヲ弊履ノ如ク拋棄スルト云フニ至シテハ、能ク其忠誠ヲ維持スルコトが出來マセウカ、本員

○議長（島田三郎君） 加藤外務大臣 置キマス

○議長（島田三郎君） 加藤外務大臣（拍手起る）

○外務大臣（男爵加藤高明君） 唯今、政友會ノ代表者トシテ元田肇君ヨリ縷々御質問ガアリマシタ、大分政府黨並ニ反對黨諸君共ニ露々妨害ガアリマシタ爲ニ、能ク聽取レヌ事ガアッタカモ知レマセヌ（ソレハアナタノ方ガ惡インダ）ト呼フ者アリ）私ハ何モ聲ヲ發シナカッタノデアル（ヒヤ／＼笑聲起ル）守備隊——第一ニ御述ベニナツカ點ハ満洲及ヒ山東ニ於ケル我守備隊ノ交代ノコトニ付テアッタト思ヒマス、支那談判ニ際シテ支那政府ヲ威嚇スル爲ニ此兵ヲ出シタト云フ意味ノ御質問ト思ヒマス、決シテ右様ナ次第アヘアリマセヌ、但シ此守備隊交代ノ事ニ付テハ、私ヨリ申述ヘテモ宜シウゴサイマスガ、主務ノ大臣カラ追テ是ハ其理由ハ申述ベル筈デアリマス、但シ此處テ私が申述ベテ置キタイ事ハ、談判ヲ始メル前カラ兵隊ヲ出シタト云フ御話デアリマシタガ、談判ヲ始メタノハ一月ノ末ニアリマシタ、此事ヲ支那政府ニ最初通知シタノハ、日置公使ガ支那共和國ノ大總統ニ面會シタル一月十八日ガ初マリアリマス、而シテ支那ノ外交總長ハ、大總統ノ命ニ依テ支那側ノ代表者トナツテ我日置公使ト交渉ヲ始メタノハ一月ノ末ニアリマス、我交代兵ノ彼ノ地三著シタノハ二月中旬ヨリ下旬ニ亘ツテノコトデアル、是レダケノコトヲ私ハ茲ニ申上ゲテ置ク、ソレカラ第二ニ我が政府ハ支那ト交渉ヲナスニ際シ、讓與ニ譲與ヲ重ネテ、終ニ屈辱退要ノ結果ヲナシタト云フコトデアル（其通り）ト呼フ者アリ）斯ウ云フ形容詞デハ問答が出來マセヌ、事實ニ就テ御質問ガアリ御意見ガアレバ承リマス、反對黨ハ右ノ如キ形容詞ヲ遣ハレル結果デアルト信セラレテモ、國民ノ多數ハ決シテ右ノ如キ感シハ持テ居ラヌ……（拍手起ル）國民ハ決シテ満足シテ居ラヌ「默レ」ト呼フ者アリ議場騒然。

○議長（島田三郎君） 静肅ニ願ヒマス

○外務大臣（男爵加藤高明君） 穏カナラザルヤウナ言葉ニ自然ニ流レテ慚愧ノ次第デアリマスガ、是ハ質問者ガ此ノ如キ言葉ヲ用ヰラレタカラデアル、第五項ノ讓歩ヲナシタコトニ就テハ（「經々乎トシテハナル哉」ト呼フ者アリ）是ハ前刻演説ノ中ニモ申述ベテ置キマシタガ、初メカラ要求スル時カラシテ性質ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ詳シク申述ベタガ、此事ニ就テ先刻申述ベタコトニ就テハ、意味ガ能ク御分リニナラナカッタヤウデアル、第一ヨリ第四ニ至ルマデハ、我國及ヒ我が國人が權利ヲ有シテ居ルトハ申サレマスマイ、當然

占ムベキ皆ノ運命ヲ持テ居ルト申シタラ一番宜カラウ、之ヲ現實ニシテ満洲ニ於テ我が地歩ヲ鞏固ニ致シ、山東ニ於テハ日獨戰爭ノ結果ノ善後ヲ計リ、其他漢治溝云々ノコトニ就テハ、我國ノ資本が莫大ニ入ツテ居ル、各基ク所ガアツテ、我ガ地位ヲ求メシムルノアリマスカラシテ、是ハ要求トシテ提出致シ、飽クマデモ其目的ヲ貫徹スルコトニ初メカラ努ムル決心ヲ持テ居ツタ、而シテ五項ノ事柄ニ至ツアハ、若シ支那政府が之ヲ容ルレバ我國ノ利益ニナルコトモアルシ、兩國共通ノ利益、即チ東洋ノ平和(「ソレガ一番大切ダ」ト呼フ者アリ)日支兩國ノ親善ヲ圖ル上ニ就テ、甚ダ望マシイコトデアル、希望トシテ初メヨリ提出致シテ居ルノデアル(「ノウ」「ト呼フ者アリ」希望トシテ提出シテ其實行ヲ勧告シテ居ルノデアル(「豫定ノ退却」唯々機敏が缺ケテ居ツタ「ト呼フ者アリ」黙々御聽キナサイ(「謹聽イカ」ト呼フ者アリ)默々御聽キニナシテ分ラナケレバ何遍デモ出マスカラ……

○議長(島田三郎君) 許シマセヌ辯論ハ……

○外務大臣(男爵加藤高明君) 而シテ此讓歩ヲナスコトハ敢ア好ム所デナイコトハ勿論ノ話デアル、前刻詳シク申述ヘタ通りニ之ヲ議ルコトハ、素ヨリ當局者タル自分ニ於テモ苦痛デアリマスケレドモ、其苦痛ハ東洋ノ平和ヲ亂ルコトヲ見ルノハ、尙更大きナ苦痛デアル、此ニ至リテハ姑ク是等ノ問題ニ關スル交渉ヲ他日ニ延ベテ、主要ノ我が要求ヲ徹底スルコトヲ目的ト致シタ、飽マテモ平和ノ解決ヲ圖タコトデアル、然ルニ幸ニモ支那政府ハ結局ニ至ツテ我が提議ヲ容レタ次第アル、此平和ノ結果ヲ見タルコトハ蓋シ諸君ト雖モ御同慶ノ次第アルト信スルノデアル(拍手起ル「ノウ」「何ガ平和ダ」ト呼フ者アリ)ノウ「ト仰シャルナラバ、戰爭ガ好キデハナ」ト呼フ者アリ)第一點トシテ元田君ノ御述ベニタ支那人ノ惡感ヲ來シタ云フコト、是ハドレ程度アルカ私ニハ分ラズ、元田君ハ詳シク御承知ノヤウデアリマスガ、支那政府ハ此平和ノ解決ヲ得タコトニ就テ満足ヲ表シテ居リマス(「ノウ」「ト呼フ者アリ」支那人ノ至ツテハ、或者ノ煽動ニ依リ不滿ノ念ヲ持テ居ル者モ少ナカラスト云フコトハ新聞紙ニモ見エテ居リマス(「國民ノ蠢動ノミ」ト呼フ者アリ)是ハ併ナガラ此度支那が應諾シ程度アルカ私ニハ分ラズ、元田君ハ詳シク御承知ノヤウデアリマスガ、支那政府ハ此ノモニ對シテ不平テ惡感ヲ懷イテ居ラルヤウテアリマスガ、支那ニ於テハ支那が譲ツタコトハ、日本ノ側カラ言ヘバ當然要求セザルベカラザルコトデアル、支那ノ側カラ言ヘバ隨分應諾ニ因難ヲ感シタコトモアルダラウト思ウ、從ツテ支那國ノ中ニ不快ノ感ヲ爲ス者ハ絶無トハ決シテ申サレヌモアル、併ナガラ日本ノ或ル小部分ニ於テハ、我國ノ得タル所ノモノニ對シテ不平テ惡感ヲ懷イテ居ラルヤウテアリマスガ、支那ニ於テハ支那が明カナルニ從ツテ、不日總テノ惡感ハ解ケテ兩國人ノ間ニ極メテ親密ナル關係ノ恢復スルコトが出來ルト私ハ飽マテ信ジテ居ル、次ニ列國ノ人ガ大層惡情ヲ懷イテ居ルト云フコト、是亦具體的ノ事實デアルカノ如クニ元田君ハ御述ベニアリマシタガ、政府ニ達シテ居ル報道ハ、別段各國人ガ惡感ヲ懷イテ居ルト云フコトハナインデアリマス(「タイムス」カラ褒メラレテ居ル)ト呼フ者アリ)支那ノ側カラ漏レタ所、間違タル報道ニ依テ一部ノ新聞紙等ニハ多少批評等モアリマシタガ、大體ニ於テ列國人ガ我國ニ對シテ惡感ヲ是が爲メニ懷イテ居ルト云フ事實ハ吾ニハ少シモ報道ハ達シテ居リマセヌ(元田肇君「輕侮ノ念ヲ增シ日本政府ノ態度ニ對シテ怪ミヲ容レ疑ヲ容レ輕ンゼラレ侮リ得ルニ至ツタト云フコトヲ言タノデス」ト述フ)右ノ如キコトハ毫モアリマセヌ、膠州灣ヲ還付シタコトニ就テ敝履ヲ棄ヅルガ如ク、是ハドウモ穩カラヌ形容詞アルト思フ(「事實ナルヲ奈何セント呼フ者アリ」膠州灣ヲ得ルニ就テハ、我國ノ忠勇ナル軍人ノ血ヲ流シ少ナカラザル資財ヲ使ツタ結果デアリマス、之ヲ棄ヅルコトハ飽マテ慎重ナル審議ヲ盡シタ結果

果デナケレバナラヌ、決シテ敝履ヲ棄ヅルガ如シト申スコトハ思ヒオ話デアル、而シテ此事ヲ支那ニ申入レタノハ、四月一十六日ニ置公使ヨリ初メテ公然申出テタノデアリマスケレドモ、此時ニ急ニ思ヒ付イタ次第第ナシ(「其前ニ約束ヲシタカ」ト呼フ者アリ)約束モシテ居ナイ、昨年ノ議會ニ於テ本大臣ヨリ、先刻元田君ハ議員ノ一人ヨリト言ツタガ一人ドコロデナシ、數人カラ質問ガアリマシタ、日本政府ハ膠州灣ヲ支那ニ還付スルコトニ關シテ支那ト何カ約束フシテ居ルノデハナイカ、或ハ各國ニ對シテ何カ拘束の言質デモ取ラレテ居ルノデナイカト云フ意味ノ御尋アリマシタガ、當時モ明ニ辯明シタル如クニ、支那並ニ其他何レノ國ニ對シテモ何等約束シタコトハナイノデアル、併ナガラ(「併ナガラ其處ニ意味ガアル」ト呼フ者アリ)先づ全部御聽キニナシテ批評アツテ然ルベシ、元日本ハ支那ノ領土保全ヲ欲スルモノデアル、日英同盟ノ目的ノニシテ我國ノ確乎タル方針タル支那ノ領土保全ト云フコトハ、有ラヨル手段ヲ盡シテ其目的ヲ達セシケレバナラヌ次第アリマス、而シテ此土地ハ前年或ハ事情ノタメニ獨逸ノ租借スルトコロトナツク、爾來獨逸ハ是ニ對シテ大ナル力ト莫大ナル費用ヲ投シテ今日ノ青島ト云フモノヲ造り出シタノデアル、之ヲ今日本が武力を獨逸カラ取タコトコロテ、支那ニ漫然ト還付シタナラバ支那ハ、獨逸が再び來ツテ此土地ヲ恢復スルコトヲ防止スル力ハナインデアリマス、就テハ此土地ハ我國ニ於テ之ヲ續ケテ占領シテ居ルカ、若クハ相當ナル條件ヲ付シテ支那ニ還付スルカ、之ヲ極メナケレバナラヌノデアル、「答辯ニナラヌ」ト呼フ者アリ)元昨年獨逸ト開戦シタル理由ハ、日英同盟ノ義ニ依シテ矛ヲ取ルニ至ツタノデアル、獨逸ノ武力ヲ東洋ヨリ驅逐シテ「苦シイ」ト呼フ者アリ)此土地ヲ永ク我ニ於テ占領スルヤ否ヤコトスルニハ、大局ニ鑑ミテ決意ヲ以テ起ツタノデアツテ、掌大ノ地タル青島其モノヲ得ルト云フガ目的デナインデアル、「ノウ」「ヒヤ」「強辯曲解」伊太利ハ留學シ給ヘ「答辯益窮セリ」ト呼フ者アリ)其目的ハ獨逸ヲ兵力ニ依シテ追拂ツタコトニ於テ既ニ達セラレテ居ル(「何ヲ言フ」ト呼フ者アリ)此土地ヲ永ク我ニ於テ占領スルヤ否ヤコトスルニハ、大局ニ鑑ミテ決シテ然ルベキコトデアル、我國ニ於テ支那ノ領土保全ノ趣意ヲ完ウシ、併セテ日支兩國ノ親善ヲ是ニ依シテ圖ルコトハ極メテ我國ノタメニ得策ナリト考ヘタ、(「其考ガ間違ツテ居ル」臺灣モ還シタラ宜シイ」(「默レ」ト呼フ者アリ)而シテ此事ハ決シテ四月ノ下旬ニ至ツテ始メテ出來タコロノ決定デハナインデアル、昨年膠州灣占領ノ後、未ダ支那ニ向ツテ交渉ヲ始メサル前カラ廟議ハ決定シテ居ルノデアル、適當ナル時機ニ於テ適當ナル条件ヲ付シテ(「國民ハ承知セヌ」ト呼フ者アリ)還付スルコトハ我國ノ得策ナリ(「ソレハアナタダケ」ト呼フ者アリ)ト云フコトニ廟議ハ決定シテ居ル、意見ガ違ヘバ後テ御述ベナシタダケ(「御聽キナサルダケ」ト呼フ者アリ)靜肅ニ……

○議長(島田三郎君) 静肅ニ……

○外務大臣(男爵加藤高明君) 而シテ支那トノ交渉ヲ始メル前ニ此廟議ハ決定シテ居ル、交渉中ニモ或時機ニ於テ適當ト認メレバ此事ヲ支那ニ提言シヤウト云フコトモ極シテ居ツタノデアル、而シテ四月下旬ニ至ツテ(「一向分ラヌ」ト呼フ者アリ)此事ヲ支那ニ提言スルコトニ付テ適當ナル時機到來ト云フコトニナシテ、ソコデ始メテ表向ニ提言致シタノデアルガ、或場合ニ於テ或條件ヲ附シテ膠州灣ヲ支那ニ還附スルコトアルベシト云フコトハ、疾クカラ定シテ居ツタコトデアル(「ソレニ相違ナイヨ」ト呼フ者アリ)從テ支那ニ對シテ交渉ヲ進ムルニ從ツテ、論ズベキコトハ既ニ論シタ、今ヤ如何ニ終結ヲ告ゲルカ

ト云フコトニナッタノデアル、彼ニ對シテ讓り得ルコトハ我ヨリ譲リ、又膠州灣還付ノ如キ
大局ニ顧ミテ之ヲナシタル方ガ我國ノタメニ利益デアルト云フコトヲ提言フ致シテ、而シ
テ彼ニ於テモ、ソレマテ讓歩シナカツコトヲ讓歩スベシト云フコトヲ申込シダノガ四月二
十六日ノ提議アツタノデアル、膠州灣還付ヲナシタコト——未ダ爲サヌガ——爲スター
ニ東洋ニ於ケル平和ニ資スルトコロガアル、何ゼナレバ、支那ノ領土保全ノ主義ヲ完ウシ、
日支兩國國交ノ親善ヲ圖ルト云フ大目的ヲ達スルコトガ出來タノデアル（拍手起ル）
（「何が大目的ダ」ト呼フ者アリ）此膠州灣占領ト云フコトニ付ア注ガレタル血ト費サレタ
ル資財ハ決シテ無用デナイト思フノデアリマス（拍手起ル）（「ノウク」）ソレカラ後ノ方ノ
部分ハ餘リ宜ク聽キ取レナカツタデアリマシタガ、英國人又ハ英米兩國人ヨリ、極メテ强硬
ナル抗議アルカ提議アルカ受ケタコトガアルカ否ヤト云フ御尋ネ、何等其事實ハアリマ
セス、强硬ニモ軟弱ニモ抗議ヲ受ケタト云フコトハ更ニゴザイマセス、次ニハ支那ノ或土
地ニ於テ不幸ニシテ起シタコロノ支那人ノ暴動ニ付テ、領事其他ヲシテ通信フナスコト
ヲ政府ハ禁シテ居ルト云フヤウナコトガアルカ否ヤト云フコト、毛頭右様ナコトハゴザイマセ
ス、以テノ外ノ御對ネアルト信ズル、領事ハ立派ニ報告ハ日々夜々致シテ居リマス、
而シテ其報告ハ悉ク世ノ中ニモ發表サレテ居リマス（「重大事件突發ハ何ゾヤ」ト呼フ者
アリ）而シテ膠州灣還付ニ付テ我國ノ——還付ト申シタコトハ、是ハ未來ノコトデアリア
マス、先刻演説ニモ申述ヘタ如クニ、日獨講和條約ノ結果トシテ、我國ガ膠州灣ヲ自
由ニ處分シ得ル場合ニ立至ラバト云フコトデス（「無論ノ話ダ」ト呼フ者アリ）是等ノ條件ヲ附シテ還付スルニ至ルベシト云フ豫
約デアルノアリマス、若シ此場合ニ至シタナラバ、我國ハ膠州灣ヲ支那ニ還付シテ其領
土ヲ保全セシムト同時ニ、我國ニ於テモ支那ノ彼ノ方面ニ於ケル我が同胞經濟上ノ發
展ノ基礎ヲ茲ニ得、同時ニ他ノ外國人ニモ其利益ヲ頗ツト云フ洵ニ結構ナルコトデア
ルト信スルノデアル（拍手起ル）之ヲ占領スル爲メニ死シ若クハ負傷ヲシタルトコロノ軍人
ノ誠忠ハ、若シ日本ガ土地ヲ支那ニ還付スルニ至ラバ、空クナッテ、將來軍人が活動ス
ルコトニ於テ大ニ妨害ニナルダラウト云フ意味ノ御質問カ御意見テアツト思ヒマスカ、私
ノ觀ル所ハ全ク達フノデアル、日本ノ軍人ハ廟議ノアル所、陛下ノ御命令ニ從シテ動ク
ベキモノニアツテ（「理窟ヲ言フナ」ト呼フ者アリ）斯ノ如ク大義名分カツ云シテモ利害得失
カラニ云シテモ、遺憾ナキ結果ヲ得ルコトニ就テ決シテ彼等ノ（「陛下ノ罪ニ歸スル勿レ」ト
呼フ者アリ）拂ツタ犠牲ガ空クナッタト思フ者ハ一人モナカラウト信ズルノデアル（拍手起
ル）將來ニ於テ忠勇男軍人ハ帝國ノ爲ニハ必ラズ土地ヲ得ルト云フダケノ目的デハナク
シテ（「外國人ノ犠牲ニナルノカ」ト呼フ者アリ）帝國ノ爲メニ有形無形ノ（「將來コンナコ
トハナイヨ」ト呼フ者アリ）名譽若クハ利益ヲ得ルタメニ生命ヲ惜マズシテ忠勇ヲ盡スコト
ト私ハ確信スルノデアリマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君） 元田君

○元田肇君 本員ハ前質問中歐洲戰亂以後、歐洲列國單ニ支那ニ對スルノミデハ
ナイ、列國トノ交渉往復ニ付國民ハ皆疑惑ノ中ニアルカラ（「何が疑惑ダ」ト呼フ者ア
リ）顧クハ此公文書ヲ示シテ戴キタイト云フ希望ヲ述ベアリマス、加藤外務大臣ハ何等
疑惑ガナイ、支那人モ惡感ヲ懷イテ居ラスト云フヤウナコトヲ申サレマシタガ、是等ノ事ニ
就テハ幾ツモ違タ所感ヲ抱イテ居ル點ガアラウト思ヒマスカラシテ、本員ノミナラズ國民
ハ舉ゲテ政府ガ公文書ヲ示シ、明カニ其真相ヲ示サレ安心セシメラレタイト思フノデアリ

マス、是ハ單リ吾々國民が安心スルノミナラズ、現内閣ノ爲メニモ宜シカラウト信ズルノデ
アリマス、又加藤外務大臣ハ外國カラシテ何等ノ抗議ヲ受ケテ居ラスト答辯セラレタヤ
ウニ聞エマシタガ、英國上院ニ於ケル外務次官ノ言明ニ依レバ、日英同盟條約ニ抵觸
セザルヤウニ屢々、注意ヲ與ヘテ居ルト述ベテ居ル、本員等ノ聞カント欲スルトコロハ其所
デアリマス、陛下ノ外國大臣ノ言フ信用セヨト云ヘバソレマテデアリマスガ、蓋シ此事ハ事
實デアラウト信ズルノミナラズ、先回支那ニ對シ最後通牒ヲ發セラレタトキニ當テ、英國
若クハ米國若クハ佛國ヨリ何等カ注意ヲ受ケタト云フコトハ吾々ハ承テ居ルが、是レハ
唯道路ノ風説ニ止マラスト私ハ信スルノデアリマス、斯様ナ疑心ヲ懷イテ居ルモノハ國
民中有識者間ニハ多數アリマスカラシテ、願クバ公文書——最後通牒ヲ獨逸ニ
發シタル前後ノ關係ヨリ總テノ文書ヲ舉ゲテ本院ニ明示アラムコトヲ望ミマス（拍手起
ル）尙ホ加藤外務大臣ハ先刻ノ御演説中ニ、當然帝國ガ享クベキトコロノ利權ヲ提案
シタノデアルト云フコトヲ第一ノ提案說明ノ場合ニ言ハレタノデアル、本員ハ加藤外務大
臣ガ當然帝國ノ享クベキ利權ヲ提案サレタノデアルト云ハレナガラ、之ヲ退頭的ニ一度ナ
ラズ一度迄モ修正シタノハ、退讓届讓ト云フテ差支ナイト思ノテアリマス、或ハ失禮ナル
言辭ニ瓦ツタカモ知レマセスガ、今當然得ベキ運命ト變ヘラマシタガ、前ノ御言葉ニハ當
然享クベキ利權ト言ハレシヤウニ信ジテ居リマス、帝國ノ當然享クベキ利權ヲ届讓ニ届
讓ヲ重ネルト云フニ至シテハ本員等ハ——外務大臣ハ今ハ御満足ト云フカ知ラヌガ、新
聞ニ表レタルトロノ外務省ノ公表ヲ見テモ、難ヲ忍ヒ忍ブベカラサルコトヲ忍シテト云フヤ
ウナ文詞ガアリマシテ、此言葉ノ出テナハ決シテ満足ナル條約ノ結果デハナイ、届讓シタ
ル條約デアルガ致方ナク結シタト云フコトハ明カニ見ヘテ居ル、サレバ是ハ本員ガ言フノミ
ナラズ外務大臣自身ガ公表シタル文書ニアルノテアリマス、ソレ故ニ前ニ届讓云ケノ言葉ヲ
用井タノデアリマスカラシテ、必ズシモ現内閣若クハ加藤外務大臣ニ對シテ故ラニ禮儀ヲ
缺キタル言辭ヲ使シタノテハナイノテアリマス、最後ニ大隈首相ハ、以上ノ質問ニ對シ外
務大臣ノ御答ニナツク外、更ニ御辯明ガアルノデアラウカドウデアラウカ、願クハ御答辯ヲ
承リタイ

○議長（島田三郎君） 加藤外務大臣

（外務大臣男爵加藤高明君登壇）

○外務大臣（男爵加藤高明君） 唯今元田君ヨリ讓歩ヲ重ねタノハ届讓デヤナイカト
云フ御話ガアリマシタガ、凡ソ外國ト交渉ヲ開クニ當シテハ、出來ルヶ其目的ヲ十分ニ
一黠モ殘ラズ得ルコトニ、其目的ヲ立テテ交渉ノ際ニ努ムヨコトハ中スマデモアリマセ
スガ、是レト同時ニ交渉ハ命令ニアラズ（「ヒヤク」）ト呼フ者アリ）先方ノ申分モ聽イ
テ、多少讓歩ヲ爲スト云フコトガ無カラネバ到底談判交渉ハ出來ナイト私ハ存ジマス（拍
手起ル）勿論戰爭ノ結果デモアツテ、城下ノ盟ヲ爲サシメントスルヤウナ場合ニ於テハ、
二三日ノ休戦期ヲ與ヘテ其間ニ此方ノ申分ヲ聽クカ聽カヌカト云フ場合ニハ、其先例
ガ幾ラモアルヤウデアリマスガ、凡ソ平和ノ手段ヲ以テ交渉ヲ爲ス上ニ就
テ、互讓安協ノ精神ヲ持テ之ニ當ルト云フコトガ同時ニ必要デアル（拍手起ル）互讓
妥協ノ精神ト云ヘバ、或點ハ對手ノ申分モ聽イテ之ヲ讓ル、若シ交渉談判ガ右ノ如キ
コトヲ爲スモノデナイト言ヘバ（「一說トシテ承リマスガ」拍手起ル）私ハ左様ニ取レヌノデアル
（「外交ヲ知ラズ」ト呼フ者アリ）ソレカラ當然ノ要求ト——當然ノ要求ト言フコトモ演説
中ニ用井マシタニ違ヒアリマセス、當然我國が行ベキ權利ト申スト、ドウモ少シ穩カナラズ
ヤウデアリマス、滿洲ノ土地ハ歴史上我國が殊ニ多大ノ犠牲ヲ供シ來ツタ、若シ出來ル

言フト奉天省即チ南滿洲ニ屬シテ居ルが、是レハ果シテ東蒙古トシテ御取扱ニナツタノアルカドウカ、免ニモ角ニモ此境界線、經度ニスレバ、東經何度何分ヨリ何度何分マデ、緯度何度ヨリ何度マテト云フヤウナコト或ハ山河ノ形勢或ハ行政區劃ヨリ御ヤリニナツナラバ、トコソコ縣ハドレ、トコソコ縣ハドレト、云フコトヲ明白ニ御示シヲ願ヒタイ、アナタ方ガ御失敗ニナツテ或ハ御罷メニナルカドウカ知ラヌガ、吾ミノ如キ此支那ノ運命ヲ以テ我が帝國ノ存亡問題ナリト信ズル人間ハ、跡釜ヲ引受ケナケレバナラヌ、尻拭ヒヲシナケレバナラヌ、跡掃除ヲヤルニ付テ其境界問題ノ如キハ最モ必要ナル要件デアルカラシテ、此點ハ明白ニ御答辯ヲ願ヒマス（「掃除屋御苦勞」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君） 加藤外務大臣

（外務大臣男爵加藤高明君登壇）
○外務大臣（男爵加藤高明君） 唯今伊東サンヨリ御尋ネノ事ハ、條約ノ内容ニ關シマスル事テ、豫テ演説ニ御断り申シタ通り今日ハ交渉ノ經過ニ付テ概略ノ御話ヲ致シ、條約ノ内容ニ付テハ近日發表ニナル書類ヲ御覽ニナルコトヲ希望スルト云フコトヲ申上ゲタ範圍ニ属スル事デアリマス、併シ唯今ニ御詫ハ隨分面倒ナ問題デゴザイマシテ、伊東君ハ面倒ナコトヲ御承知テ多分御尋ネナタト思フ、是レハ自カラ定マツテ居ル事デアリマス、支那政府トノ間ニ能ク意思ハ了解シテ居リマス、今日此場合テ言明スルコトハ甚ダ不得策ト信ジマスカラ、答辯致シマセヌ、若シ滿洲若クハ東蒙古ニ付テ何ゾ御ヤリニナルト云フコトデアリマスレバ、外務省ハ喜ンテ其手續ヲ御話スルコトニ致シマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君） 床次竹一郎君

○床次竹一郎君 本員ノハ……（「登壇タク」ト呼フ者多シ）簡單ナル數箇條デアリマスガ（「登壇タク」ト呼フ者多シ）

○議長（島田三郎君） 不規則ノ發言ヲ止メマス、登壇ヲ願ヒマス、外ノ聲デ話が聽取レマセヌ

○床次竹一郎君 一問毎ニ御答ヲ戴キマスレバ大層私ハ仕合ニ考ヘマスガ、左様ナ御許可ハ得ラヌモノデアリマセウカ

○議長（島田三郎君） 答ヘル方ガ御承諾デアレバ議長ハ干渉致シマセヌ

（「登壇タク」ト呼フ者アリ）

○床次竹一郎君 ソレデハ外務大臣ニ御尋致シマス……

○議長（島田三郎君） 外務大臣ノ答ハ總テノ事ヲ言盡シタ處デ、箇條ニ付テ御答ス

（床次竹一郎君登壇）
（拍手起ル）

（松浦五兵衛君が手ヲ拍イテ居ル「ト呼フ者アリ」）

○議長（島田三郎君） 不規則ノ言ヲ止メマス

○床次竹一郎君 諸君、本員ハ今日ノ時局ニ際シテ、現内閣ガ日支ノ親善ノ關係ヲ増シ東洋ノ永遠ノ平和ヲ維持セんが爲メニ、茲ニ日支間ノ關係ヲ解決シヤウトシテ努力致サレタ事ニ付キマシテハ洵ニ感謝致スノデアリマス、又其要求セラレタ條件モ吾ミノ平生希望スル所デアリマスカラ、是亦大ニ満足致スノデアリマス（「ソレデ宜シ」ト呼フ者アリ）唯彼我ノ誠意が能ク貫徹致サナカツタ譯アモアリマスカ、獨リ案件其モノニ付テノ解

決が不充分デアルノミナラズ、兩國民ノ間ニモ感情ヲ惡ク致シタ影響ガアルヤウニモ考ヘマス、此點ハ大ニ遺憾トスルトコロデアリマス、先刻外務大臣ヨリ大體ノ御報告ヲ得マシタガ、右様ナ次第デアリマスカラ尙ホ數箇ノ點ニ付ア茲ニ御尋ヲ致シテ置キタイト考ヘルノデアリマス、第一ハ本件交渉ノ開始ハ突然ニ袁大總統ニ提出セラレタヤウニ承リマスガ、果シテ左様ナ手續デアリマシタデアリマセウカ、之ヲ承リタイノデアリマス、或ハ普通ノ場合ニハ先づ外務當局者ニ交渉ヲ開カレルヤウニモ聞キマスガ、ソコノ所ハ如何ナモノデアリマスカト云フコトヲ承リタイ、次ニ談判ノ開始サレル前後ニ、第三國ニ案件ノ内容ヲ通告ト申シマスカ若クハ内示ト申シマスカ、免ニ角通告ナリ内不ナリフセラレタルモノニアリマスカドウカ、之ヲ承リタイノデアリマス、若シ内不致サレタストルナラバ案件ノ全部デアリマスカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、世間ニ傳フル所ニ依リマスレバ、同盟國其他ヨリ質問ガアリマシテ、希望條件デアルト云フコトヲ一一成程は略シマス、先程希望條件デアルト云フコトヲ承リマシカラ是ハ略シマス、次ニ此第五項ハ先刻ノ御説明デ希望アルト云フコトヲ承リマシカ、希望ト要求トハ其間ニドレ程ノ差別ガアル譯デアリマセウカ、其所ヲ承リタイノデアリマス、或ハ第五項ハ先程ノ御説明ニ依リマスレバ、強テコチラノ主張ヲ貫徹シタトイト云フ御考モナイ如クニ考ヘラレルノデアリマスガ、若シ左様ナコトデアリマスルナラバ、之ヲ始ヨリ要求案件ノ中ニ列記致サレズシテ、交渉セラレタコトデアツタナラバ如何ナモノデアルカト云フ考ヲ持テ居ルトコロヨリ、御尋致ス次第アリマス、其次ニ御尋致シタイコトハ、交渉ノ半ニ先程元田君ヨリ質問セラレタ如ク、交替期ニ先立ツテ兵ヲ送ラレタト云フコトハ、其理由、事情等ガアレバ詳シク承リタイノデアリマス、其次ニ御尋致シタイコトハ第五項ヲ後日協商ニ御讓リニナツタノデアリマスガ、其理由ハ如何ナルコトデアリマスカ、讓ラレタニ付テハ後日協商ヲナツタニ何等カノ餘地ヲ存シテ留保サレルトコロガアツタモノデアリマスカ否ヤ、若シサウ云フコトガアリマシタナラバ、如何ナルコトガアルカト云フコトヲ御不シフ願ヒタ、尙第五項ノ中ノ南支鐵道ニ付テハ特ニ第三國ノ關係ヲ尊重シ修正ヲ加ヘト、外務省ノ交渉顛末ニ載ツテ居リマスガ（「議員ノ一年生」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君） 静肅ニ……

○床次竹一郎君 第三國ノ關係ノアルト云フコトハ初メヨリ御調査ニナツテ居ツタコトデアリマスカ、又ハ交渉ノ半ニ至ツテ明瞭シタコトデアリマスカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、其次ニ交渉ガ難局ニ陥ツタ際ニ――難局ト言シテハ語弊ガアルカ知リマセヌガ、免ニ角行惱シニナツタ際ニ、第二國ヨリ何等カ帝國政府ニ申込ミタルコトガアルヤウニモ博聞致シマス、先程アツタヤウニ御話ニナツタ如ク承リマスガ、果シテ事實デアルナラバ如何ナル事柄デアリマシタカト云フコトヲ承リタイ、其次ニ最後通牒ニ至ツテ大讓歩ヲナサレテ居ルヤウデアリマスガ、右ハ如何ナル理由ニ基クノデアリマセウカ、四月二十六日デアリマシタカ、第二修正等ノ際ニ此大讓歩ヲナスコトナクシテ、最後通牒ヲナスニ當シテ大讓歩ヲナサレタ、ソレハ如何ナル理由事情ガアツタノデアリマスカ、其次ニ承リタイコトハ最後通牒ノ前即チ新聞ニ依リマスレバ五月ノ三日若クハ四日頃ニ、支那ノ各地ノ領事ニ於テ、居留民ニ引揚準備ノ諭達ヲ與ヘラレテ、從シテ居留民ニシテ引揚ゲタ者モ少クナイト云

フコトヲ承リマスガ、右領事ニ何カ本省ヨリ訓令ノ筋デモアツタモノデアリマスカ否ヤ、若シ又左様ナル訓令ヲ出サレタト云フナラバ、其理由ハ如何ナル譯デアルカト云フコトヲ承リタイ、次ニ膠州灣ノ還付ニ付テハ日支ノ關係ヲ考ヘ、東洋ノ全局ノ平和ノ爲メニ之ヲ還付セラレルト云フコトハ、洵ニ帝國ノ公明ナル態度デアツテ、本員ニ於テハ是異議ハアリマセヌ（「ヒヤー」ト呼フ者アリ）唯コチラノ自由ニ處置シ得ベキ所ノ膠州灣ヲ彼ノ場合ニ於テ還付スルコトヲ聲明セラレント云フコトハ、談判交渉ノ結果聲明セザルヲ得タコトニナツテ聲明セラレタモノデアルカ、ソレ等ニハ全ク自由デアツテ、全ク帝國ノ

好意ヨリ聲明ヲサルニ至ツタモノニアリマスカ否ヤト云フコトヲ承テ置キタイ、其次ニ承涉ニシテ斯ノ如ク機密ノ漏洩サレタコトハ、本員共ハ承知セヌ所ニアリマスガ、日本ノ態度が支那竝ニ第二國ニ分ツテ、談判上ニモ又ハ兩國民ノ間ノ感情ノ上ニモ不利尠クナカツト考ヘルノニアリマス、之が爲メニハ或ハ將來日本ノ外交ノ信用ニモ關係ガアラウカト思フデス、其邊ニ付テハ外務大臣ハ何等カ手段ヲ執ラレタモノニアリマスカ否ヤ、之ヲ承リタイノニアリマス、モウ一箇條、近時新聞ニ依リマスレバ、排日運動が支那ノ各地ニ起ツテ居ルヤウデアリマスガ、政府ハ其原因ヲ如何ニ御観察ニナシテ居ルノニアリマセウカ、且ツ此運動ハドレ程績グ御見込デアリマセウカ、又ソレニ付テハ何等カ政府トシテ方法ヲ講シテ居ラレルノニアリマセウカト云フコトヲ承リタイノニアリマス

(外務大臣男爵加藤高明君登壇)

○外務大臣(男爵加藤高明君) 唯今床次サンヨリ縷々御尋ノ趣ニ對シテ、成ルタケ詳細ニ御答致シタイ思ヒマスカラ、成ルベク靜ニ御聽ニナルコトヲ希望致シマス、支那ノ大總統閣下ニ對シ突然ノ要求ヲシタト云フ事實ガアルカ然ルヤト云フコトガ第一問デアッタ思ロマス、突然ト云フ言葉ハ種々意味ノ取リ方モアリマセウカ、一月十八日ニ於テ我日置公使ハ袁閣下ニ謁見ヲ致シテ、日支兩國ノ親善ヲ増シテ、其交際ヲ益、親密ナラシムル爲メニ日本政府ノ提議スル所ハ斯ノ如シ、就テハ支那政府ニ於テ十分ノ好意ヲ以テ之ニ應ゼラレントコトヲ希望スルト云フ趣意ヲ、詳シク申述ベタ次第ニアリマス、ソレガ日交渉ノ發端トモ申シテ、宣シテ、袁總統閣下ハ此意ヲ諒トシテ、其外交總長ニ交渉ノ任ニ當ルコトヲ命ぜラレテ、爾後數十回ノ會議が行ハレタ次第ニアリマス、其次ノ御尋ハ要求ト希望ノ差別、是ハ演説中ニモ又其後ノ御質問ニ對シテモ既ニ申述ベタト爲メニモ支那ノ爲メニモ極メテ利益多カラウ、成ルベク採用セラルレバ、日本ノ存ジマスガ、更ニモ一過繰返シマスレバ、要求致シマシタ事ハ當然我國及我國人ガ得ナケレバナラナイ筈ニナッテ居ル所ノモノヲ、支那政府ヲシテ承認ヲ爲サシムルト云フ類ノコトヲ要求シテ提出致シテ、其他ノ事ハ若シ支那政府ニ於テコトヲ採用セラルレバ、日本ノ區別、ソレカラ交代代兵が前キニサレタト云フコトニ付テハ、是ハ軍事主任ノ大臣ヨリ答辯ガアル筈デアリマスカラ是ハ略シマス

○床次竹二郎君 甚ダ失禮デアリマスガ、第一番目ニ御尋致シマシタ談判ノ開始前後ニ、第三國ニ政府ヨリ案件ノ内容ヲ、用語ハ知リマセヌガ通告ト云フカ内示ト云フカ、免モ角案件ノ内容ヲ第二國ニ示サレタコトガアルノニアリマセウカ、アルナラバドウ云フ程

○外務大臣(男爵加藤高明君) 成程其御尋ガアリマシタコトヲ忘レテ居リマシタ、談判ノ開始前デアリマセス、開始後ニ我同盟國其他二三ノ友邦ニ對シテ要求條項トシテ支那ニ提出致シタ其大意ヲ内示致シマシタ、是ハ別ニ彼等ニ内示スルノ義務ガアル爲メナク、彼等ニ於テモ之ヲ知ラレテ居ル方が便利デアル、便利上好意ヲ以テ内示シタコトガアリマス、内示スル義務モ何モナイ事ト御承知ヲ願ヒタ、而シテ希望條項ハ之ヲ告内示スル別段ニ必要モナイト信ヒテ、其當時内示シナカツタノニアリマス(其理由如何ト呼フ者アリ)此事ニ付テ世上往々疑惑モアルヤウデアリマス、外國新聞ニ現ハレタコトガ日本ニ移ツテ、外國ノ取次ギラシテ居ルヤウナ人がアルヤウデアリマスカラ申述ベマスガ、

是ハニ便宜ノ問題デアッテ、前ニモ申上ゲルガ如クニ何モ何處ノ國ニモ内示通告ヲスル義務ガアル爲メハナイ、是ダケノコトヲ内示シテ置クコトガ便宜デアルト云フ見計ヒノ話デアル、別段ニ之ヲ隱祕スルトカ云フヤウナ趣旨ニ出テモノニアリ無論ナイ、然ルニ是等ノ事が新聞ニ誤リ傳ヘラレタリシテ、是モ序ニ知ラセテ置ク方が便利ト認メテ程ナク知ラシタノデアル、ソレモ別段ニ何處ノ國カラモ催促ヲ受ケタノデモ何デモナイ、其方モ序ニ知ラセテ置ク方が便利デアラウト云フノデ知ラセタノデアル、内示ヲシタコロノ時日ニ於テハ、兩者ノ間ニ差ガアルト云フコトヲ茲ニ申上ゲル、ソレカラ第五項ヲ後日ニ讓ツタコトニ付テ、留保シタコトガアルヤ否ヤト云フ御言葉アリマシタガ、ドウモ意味が能ク私ニ分リマセスデシタ、是ハ後日ノ商議ニ讓ルト云フコトヲ此方カラ申込ンダ、最後通牒ニ申込ンダノニアリマス、支那政府ハ其最後通牒ノ趣意ニ從フタノニアリマスカラ、彼ニ於テハ後日商議スルコトヲ信シテ居リマス

○床次竹二郎君 甚ダ失禮デアリマスガ重ネテ申シマス、成ホド留保ナドト云フコトハ本員ガ慣レヌモノニアリマスカラ、全ク何等——何ト言ヒマスカ、話合ト云フカ——ナシニ單純ニ其儘將來ノ協商ニ讓ル、斯ウ云フコトニナツタ次第ニアリマスカト云フコトニアリマス

○外務大臣(男爵加藤高明君) 其通リニアリマス、二十六日ニ申出シタ時ガ將來ノヤハリ商議ニ讓ルトシテアルノデス、支那政府ノ代表者が會議中ニ口頭ヲ以テ申述ベラレタ次第ア、後日斯クノ如キ事ヲ爲ス意志アリ、他日斯ウ云フコトヲシテモ宜イト云フコトヲ存ジテ居ル、其言ハレタコトヲ記録ニ止メテ置カウト云フ次第ニアリマス、申出シタノデ、然ルニ承諾ヲ得ズシテ最後通牒ニ至ツタ時ハ、其記録ニ載セルト云フ要求ヲ撤回シテ、我が通牒ニ於テ後日ノ商議ニ讓ルト云フコトヲ記載シタコト云フニ止マリ次第ニアリマス、次ニ御尋ネシタコトガ南支鐵道ト第二國トノ關係、第三國ガ其地方ニ於テ既ニ何等カノ權利ヲ持ツテ居シタト云フコトヲ知ツテ居シタノカ、知ラズシテ居シタノカト云フ御尋ネアリマス、是ハ其中ノ或ルモノニ付テハ或第三國ガ既ニ權利ヲ得タ——借款ノ契約ヲ得タト云フコトヲ聞イテ居シタノモアリマス、三線ノ中一線ハ存ジマセヌデアリマシタ、併ナガラ我政府ノ敷設ヲ望シタコロノ線路ハ、第二國ガ既ニ借款ノ權利ヲ得テ居ル所ト全ク同一デハナインオアル、地方ガ同シ地方テアルト申ス譯デ、同一ノ線路ヲ要求シタ次第ニアリ、ソレカラ交渉難局ト云フコトヲ仰シヤツタヤウデス、難局ノ際ニ何等カ第三國ヨリ申込アリタルヤ否ヤ、是ハ先刻元田サンノ御尋ネト重複スルモノニアリカト思ヒマス、元田君ハ强硬ナル申込ヲ受ケタルヤ否ヤ、床次サンハ穩カニシテ何等カ申込ヲ受ケタルヤ否ヤ、先刻モ申上ケタ通り同盟國タル英國ハ、日支兩國ノ事實デザイマス、是ハ支那ニ於テモ充分此希望ニ對シテハ尊敬ヲ拂ツテ居シタ事実デザイマス、而シテ抗議ヲナシ難題デモナシ、同盟國トシテ好意ハ常ニ保ツタノデ、日本ノ立場ヲナル希望テアルト、我ガ政府ニ於テモ充分此希望ニ對シテハ尊敬ヲ拂ツテ居シタ事実デザイマス、是ハ支那ニ於テ其國人ガナル利害ヲ有シテ居ル關係カラ、當然ノコトハ事實ニアリマス、而シテ詳細ニ御話申ス場合テナイト存ジマスガ、是ガ爲メニ英語アリマス、北京ニ於テ相當ナル行動ヲ取ラレタコト信ズベキ理由ガアリマス、北京ニ於テ取ラレタ、即チ此事件ニ付テ屢々意見ノ往復モ致シマシタ、而シテ同盟國タル英國ハ北支那ニ於テ相當時刻ニ解决セラル、コトヲ切ニ希望シテ居ラレマシタト云フコトハ、而シテ抗議ヲナシ難題デモナシ、同盟國トシテ好意ハ常ニ保ツタノデ、日本ノ立場ヲナル希望テアルト、我ガ政府ニ於テモ充分此希望ニ對シテハ尊敬ヲ拂ツテ居シタ事実デザイマス、是ハ支那ニ於テ其國人ガナル利害ヲ有シテ居ル關係カラ、當然ノコトハ事實ニアリマス、而シテ詳細ニ御話申ス場合テナイト存ジマスガ、是ガ爲メニ英語アリマス、是ハ支那ニ於テ其國人ガナル利害ヲ有シテ居ル關係カラ、當然ノコトハ事實ニアリマス、而シテ抗議ヲナシ難題デモナシ、同盟國トシテ好意ハ常ニ保ツタノデ、日本ノ立場ヲナル希望テアルト、我ガ政府ニ於テモ充分此希望ニ對シテハ尊敬ヲ拂ツテ居シタ事実デザイマス、是ハ支那ニ於テ其國人ガナル利害ヲ有シテ居ル關係カラ、當然ノコトハ事實ニアリマス、而シテ詳細ニ御話申ス場合テナイト存ジマスガ、是ガ爲メニ英語アリマス、是ハ支那ニ於テ其國人ガナル利害ヲ有シテ居ル關係カラ、當然ノコトハ事實ニアリマス、而シテ抗議ヲナシ難題デモナシ、同盟國トシテ好意ハ常ニ保ツタノデ、日本ノ立場ヲ

國ノ交渉案件ヲ無事ニ平和ノ間ニ解決セシムルコトニ於テ大ニ努力セラレタ、是ハ我が政府ニ於テモ深ク其好意ヲ諒トシテ居ルト云フ次第ヲ諸君ニ御報告スルノハ、私ノ最モ喜ブトコロデアリマス、最後通牒ニ大讓歩ヲ爲シタル理由如何、大讓歩デアルカ小讓歩デアルカ、是ハ觀ル人ニ依シテ違フノデ、併ナガラ此通牒ヲ對手國ニ出ス時ニ用ニル言葉ト、御互ノ間ニ議スルトコロトハ、少シ輕重ガアルト云フコトハ御了解ヲ願ヒタイ、之ヲ公開ノ席ニ於テ詳ク私ノ意味ヲ辯明スルコトノ出來ヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、聰明ナル諸君ハ果シテ私ノ意が何處ニアルト言フコトハ容易ニ御了解下サルデアラウト思ヒマス、其讓歩ヲ爲シタル理由ハ、支那政府ノ態度へ充分我ヲ満足セシムルモノデナイ、是ハ餘程和カイ言葉テアリマス、今日ハ交渉圓滿ニ解決シタ外務省ノ文書二、モット強イ言葉ガアツカ知レマセリマス、其當時ニ席上ニ發表シタ外務省ノ文書二ハ、モット強イ言葉ガアツカ知レマセヌ、今日ハ幸ニ平和ノ間ニ事が済ンダノテアル、從テ私モ大ニ言葉ヲ謹マナケレバナラスト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタイ、讓歩ヲナシタ理由ハ支那政府ノ態度右ノ如クアツタニ拘ラズ、如何ニセバ東洋ノ平和ヲ保ツコトが出來ルカ、談判交渉ノ行掛リト云フモノが出來テ居リマスカラ、一十六日ニモ已ニ讓歩ヲナシテ、其上ニ幾分デモ讓歩ヲナスコトハ甚ダ苦痛デアル、日本臣民ニ於テモ苦痛デアルコトハ勿論デアリマスガ、殊ニ當局者タル拙者ニ於テハ頗ル苦痛ヲ感ジタ次第デアリマスガ、其苦痛ハ事が破レテ、兩國ノ間、干戈ヲ以テ見ヨル苦痛ニ比スレバ尙ホ小ナリ（拍手起ル）出來ナイマデモ平和ヲ計ラウ、無事ニ事柄ヲ平和ニ落著セシメヤウト云フ上カラ、力ヲ以テ致セバ何デモナイコトデアル、其儘ニ最後通牒ノ時ニ更ニ讓歩ヲ爲サヌテモ出來タカモ知レナイ、併ナガラ同時ニ出來ナカタカ諭達ヲ、領事ヨリ爲サシメタ、少々是ハ意味ガ違テ居リマスガ、本月ノ三四日ノ交ニ至ツモ知レナインデアル、平和ノ破れル處ノ危険ヲ成ルベク少ナクスルコトハ帝國ノ利益ナリト信シテ、此ニ至ツテ更ニ讓歩ヲナシタ云フ理由ハ、先刻ノ演説ニ委シク申述ベテ置イタ次第ニアリマス、萬一事が破れル時ニ至ツテハ、我同胞ノ生命及び財産ニ如何ナル危害ノ加ハルコトノ生ゼザルトモ限ラヌノデアリマス、豫メ事が大事ニ赴キツ、アルト云フコトヲ領事ニ内報シテ、各地ニ於ケル居留人民ニ對シテ必要ナル注意ヲナシテ、不幸ニテハ或ハ日支兩國ノ間ニ平和ノ關係ヲ持續スルコトハ困難デアルカト云フ狀況ガ現ハシテ兩國ノ間ノ關係が破裂ニ及シテ時ニハ、場合ニ依シテ立退カナケレバナラヌダラウシ、レテ來タノデアリマス、萬一事が破れル時ニ至ツテハ、我同胞ノ生命及び財産ニ如何ナル其他ノ片付ケモ致サナケレバナラヌカラ、豫メ其心得マテニ其事態ノ追ッタコトヲ知ラセルコトハ、政府ノ當然ノ職務トシテ之ヲ實行シタ次第デアリマス（拍手起ル）膠州灣還附ノ事ハ床次サンハ政府ト所見ヲ同ジウセラレタ、誠ニ喜バシイ次第デアリマス（拍手起ル）公平ナル人ハ、又大局ニ通ズル人ハ斯クノ如クナクテハナラヌノデアリマス（拍手起ル）不聲起ル決シテ笑ヒ事デナニ、私ハ眞心ヲ以テ話シテ居ル、之ヲ申出シタノハ時ヲ得タルヤ否ヤ、此御尋ノ意味が能ク分リマセデアリマシタガ、此場合ニ申出スコトハ無用デナカツタカト云フ意味ガ含ムニ居ルカト思ヒマス、若シ間違シテ居リマシタラ御訂正ヲ願シテ、更ニ敬ノ度ヲ増スト云フコトヲ申スコトヲ得ルノハ、私ノ極メテ欣幸トスルトコロデアリマス（笑御答ヲ致シテモ宜イ、膠州灣還附ノ理由ハ已ニ先刻來屢々申述ベタ通リノ事デアリマス、而シテ是ハ交渉中ノ或ル時期ニモ必要ヲ感ズルニ於テハ申出サウト云フコトハ、豫テ政府ニ於テ極メテ居ツタ次第ニアリマス、我政府ノ提案ニ對シテ談判が未ダ酬ナルニ至ラザル時ニ於テ、支那政府ヨリ對案が出タノデアル、其對案ノ中ニ膠州灣ノ還附ト云フコトモ彼ハ希望シテ居ル、ソレカラ歐洲ニ於ケル平和會議ニ支那ハ參列スル事ノ權利ヲ

本ニ於テ承認スベシト云フ要求モ見エテ居ツタ、又日本ハ山東ニ於テ兵ヲ用井タニ付テ、避
クヘカラズシテ起、タ處ノ損害ノ賠償ヲナスベシト云フコトモ、其當時支那ノ對案ニ見エテ
居ツタ、守備隊ノ至急撤退、其他軍事施設物ノ即時撤廢ト云フヤウナコトモ見エテ居ツ
タノデアリマス、其當時我が日置公使ハ其要求條項ノ謂ハレナキコトヲ委シク陳述ニ及
シテ皆之ヲ斥ケタノデアル、獨リ膠州灣還附ノ一事ハ、我政府ニ於テモ意志アルコト故
ニ、是ハ後日ノ相談トスルコトニ致サウト言シテ、絶體ニ排斥致サナカツク關係デアル、故
ニ談判中何時カハノヲ申出サナケレバナラヌ行掛リモアリマスガ、我政府ノ意志ハ、
支那ニシテ我ノ要求ヲ大體ニ於テ容レ、ハ――容レテ而シテ彼ニ於テ其好意ヲ我ニ示
セバ、我モ亦大局ニ鑑ミテ此事ヲ提言スベシト云フ意志ガアリマシタ所、二十六日ニ於
テ論ズヘキコトハ論ジ、議スベキコトハ殆ド議シ盡シテ、此ニ至ツテ雙方ノ主張ヲ纏メテ結
著ヲセシメナケレバナラヌト云フ時ニ當シテ、彼ニ於テ讓歩スルコトハ――我ニ於テ望ムニ
トハ讓歩ヲ求メ、我ニ於テ彼ノ條件ニ同意スベキコトハ同意ヲ表シ、修正案ナルモノヲ作ツ
タ時ニ於テ、此時ニ至ツテ膠州灣還附ノコトニ付テノ聲明ヲナスコトノ至當ナル時期ト
リト考ヘシタノデアリマス、機密ノ漏レタコトニ付テノ御尋、是ハ御尋ノ要點ガ孰レニア
考ヘテ、ソレヲ申出シタ次第アリマス、是ハ理由ガアルニ拘ラズ爲シタノカ、或ハ右ノ如
キ聲明ヲ爲サミルヲ得ザル事情ガアツテシタカ、何等其時ニ於テ爲サザルベカラザルト云フ
義務ハ有ツテ居ラヌ我政府ハ全ク自由ニ之ヲ爲スコト適當ナリ、之ヲ爲スコト得策ナ
リト考ヘシタノデアリマスが、是等ノ事ニ付テモ最後通牒ノ發送ヲナ
シタコトヲ諸君ニ御報告スル場合ナラバ、尙ホ委シク申述ヘマスガ、今日ハ已ニ平和ニ局
ルヤラ私ニハ能クハ分リマセヌシタ、私ハ御承知ノ如ク餘程祕密家アルト云フ評判ヲ
受ケテ居ルノデアリマス(「ヒヤ――」)私カラモ政府カラモ漏レタコトハ無論ナイノデアル、
併シ支那ニ於テハ隨分漏レタウデアリマスガ、是等ノ事ニ付テモ最後通牒ノ發送ヲナ
シタコトヲ諸君ニ御報告スル場合ナラバ、尙ホ委シク申述ヘマスガ、今日ハ已ニ平和ニ局
ヲ結ヒツ、アル際デアリマスカラ、格別必要モナイトスレバ、サウ云フコトモ餘り述ベヌ方ガ
宜イト思ヒマスカラ述ヘマセヌ次第アリマス(拍手起ル)併シ其祕密ヲ孰レヨリ得ラレタ
カ、俗ニ政友會ノ機關ト稱セラレタ所ノ中央新聞ナドニハ、事實デナイコトが多カッタノ
シタコトヲ諸君ニ御報告スル場合ナラバ、尙ホ委シク申述ヘマスガ、今日ハ已ニ平和ニ局
デアリマスガ、免三角事實トシテ盛ニ記載セラレタ、是が機密ノ漏レタコトニ成タケ記載シナイヤ
カ存ジマセヌガ、サウ云フコトガアツタヤウデアリマス、其他我國ノ主ナル新聞紙ニ於テハ國
際交渉ノ事ノ大ナルコトニ考ヘラレテ、際立ツテ謹慎ノ態度ヲ執ラレタ、隨分開込ノコ
トモアツカ知レマセヌガ、ソレニモ拘ラズ交渉談判ニ妨害ノアルコトヲ成タケ記載シナイヤ
ウニ努メラタ如キ形跡ガアツタコトハ、實ニ新聞紙ノ公德ノ大ナルコトシテ私ハ深ク感
謝スルノデアリマス(拍手起ル)ソレカラ排日運動ノ繼續如何、是モ支那ノ各地ニ行ハ
シヤウデアリマシタガ、新聞記者諸君ノ事ヲ少シ由サナケレバナリマセヌガ、誤ラレテ居ラ
レテ居ルヤウニ御話デアリマシタガ、今日マテ政府ニ報告ノ達シマシタノハ、福州ニ於テ小
サナコトガ一件アリマシタ、是モ疾ウニ片付キマシタ、重慶ト申ス處ニ多少ノ事がアリマシ
タガ、是モ多分片付イタコトヒマス、續報ハアリマセヌ、獨リ漢口ニ於ケル暴徒ハ稍激
シ十八日ニ於テ我ガ同胞ガ支那人ノ暴徒ノ厄ニ罹ルテ重傷ヲ負フタ者ガ六名、輕傷ヲ
負フタ者が八名ト云フコトデアリマス、誠ニ大事件ニハ相違アリマセヌ、右ノ如ク死ンダ
レルノテ決シテ惡意デハゴザイマセヌガ、アノ方面カラ來ル報道ハ少シ誇大ニ失シテ居ル
ヤウニ思ハレマス、政府ニ達シテ居ル公報ハ新聞紙ニ掲ケラレテ居ル程デハアリマセヌ、併
シ支那ノ新聞紙ノ煽動ノ結果カモ知レマセヌ、又漢口カラ來リタルトコロノ一ノ報知ニ
據レバ、獨逸人ノ煽動ニ係ルト云フコトモ申シテ來テ居リマス、是ハ併シ確デハアリマセ

ス、サウ云フ想像ニ過ぎヌノデアリマス、尙全ク鎮靜ニ至ツテハ居リマセヌ、之ニ付テハ政府ハ既ニ數回北京ノ中央政府、並ニ武昌ノ地方政府ニ對シテ嚴重ナル警告ヲ加ヘテ、斯ノ如キコトガ若シ尙續キ、或ハ他ノ場所ニ於テ起ルト云フコトガアレバ、兩國ノ國際上由々シキ事件が更ニ起ル、就テハ支那政府於テ速ニ相當ノ處置ヲ執ラルベシト云フコトヲ屢々畫面及口頭ヲ以テ急ラズ注意ヲ致シテ居リマス、支那政府ニ於テモ全ク之ニ同感デアリマシテ、相當ノ手段ヲ執フレテ居ルコトト確信致シマス、就テハ暴動ノ繼續ニ付テハ幾日間ニ燒ムト云フコトヲ斷定スルコトハ出來マセヌカ、程ナク鎮靜シテ常態ニ復スルコトト信ジテ居リマス

(拍手起ル)

○床次竹一郎君 唯今質問致シマシタガ、言葉が足ラナイデ誤解ニナシタカト思フトコロガアリマスカラ重ネテ申上ケマスガ、最後通牒於テ「大」ト云ツノガ耳障リニ御取リニナッタヤウデスガ、免モ角モ最後通牒ニ於テ讓歩ヲ爲サレタノハドウ云フ意味アルカト云フ御尋ヲ致シタ趣意ハ、四月二十六日ノ第一修正案ノ際ニ最後通牒ニ「大」ト同ジヤウナ決心ヲ當局ニ於テ執ラレタコトナラバ、或ハ其時ニ於テ事件が圓満ニ解決シナカッタノデハアルマイカト云フ考ヲ持テ居ル、其時ニ解決致サズニ最後通牒ニナシテ大讓歩ヲサレテ、コ、テ解決ヲ致シタト云フ、其邊ノ事情ガドウ云フ譯ノモノアルカ承リタイト

云フ趣意デアリマス、此事ニ付テ先程元田君ノ論ニ對シテモ、最後通牒デ收メナケレバ戰爭ニナルデハナイカ、戰爭ヲヤシテモ尙構ハズヤルノデアルカト云フヤニ吾ミノ意思ガアル如ク御取リニナルコトハ、是ハ甚シイ間違デアリマス、其事ハ斷シテ茲ニ申上ケテ置キマス、唯今申ス如ク最後通牒ニ於テ讓歩ヲ爲ス大決心ヲセラレタコトガ、四月二十六日頃ニ出來タコトデアッタナラバドウデアラウカト云フ考ヲ持テ居ルカラ、其處ニ逸脱ヲ執ラレタコト御尋ネ承リタイト云ノガ趣意デアリマス、ソレカラ次ニ最後通牒前ニ居留民ニ引揚ノ準備ヲ命セラレタノハ、如何ニモ注意ヲ加ヘラレタ次第テアリマセウカ、最後通牒ノ廟議ノ決定サレタノハレヨリズット後ニナルコトアル、其前ニ斯ノ如キ處置ヲ執ラレタコト御尋ネ致シタ次第アル、ソレカラ尙膠州灣還附ノコトニ付テハ些カ私ノ言葉が足リナカッタノデ、誤解ヲ懷イテ居ラレルヤウデアル、又誠ニ御賞讃ノ言葉ヲ頂戴シテ名譽ニ考ヘマスガ、ソシハ膠州灣還附ハ、方法ト條件トニ依テハ勿論差支ナイト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマスケレドモ、唯今御尋ヲ致シマシタ趣意ハ、聊カ其邊ニ不滿ガアル爲ニ、綺麗ナ高明ナル日本ノ態度ニ依テ自由ニ決セラレタノアルカ、交渉ノ結果已ム得ズ其處ニ到ラナケレバナラヌコトニナシテ還附ノコトヲ聲明サレタノカ、ドウカ、ソレヲ御尋致シタコト云フ趣意デアリマス、他ニ誤解ヲ招イタ黒モアリマスカラ其趣意ヲ辯明スルト共ニ、併セテ其事ヲ御尋シテ置キマス

○菊池武徳君 此場合チヨット發言ノコトニ付テ確メテ置キタイコトガアリマス

○議長(島田三郎君) 菊池武徳君

○菊池武徳君 先程床次君が外務大臣ニ對シテ一問一答ノ請求ヲシタコロガ、ソレハ總テ言了シテ後ニスルト云フコトニナシタノデアリマス、然ルニ外務大臣ノ發言中ニ於テ、床次君ハ慎重ノ態度ヲ以テ甚ダ失禮デスカト言フコトヲ言シテ、隨分充分ナル發言ヲサレタヤウデアリマスガ、其事ハ「答辯者ガ承知シタカラ」ト呼フ者アリ、答辯者ノ意ニ委セント言フコトデアリマスレバ議長ハ之ヲ許シ、之ヲ先例トシテ彙纂ノ中ニ書遺ス考テアリマスカ、ソレヲ確メタイト思ヒマス、若シ之ヲ差支ナイモノトスレバ、非常ナ惡慣例ヲ遺スノデアリマス

○議長(島田三郎君) 御答致シマス——他ノ言論ヲ禁ジマス、答ヘル方ニ御異存ガ

官報號外

大正四年五月二十三日

衆議院議事速記録第三號

加藤外務大臣ノ答辯

岡陸軍大臣ノ答辯

ナケレバ成ルベク干渉ヲ致サヌ、其前ニ申シタ言葉ニ對シテナラ議長ハ之ヲ止メマセヌ、併ナガラ他ニ之ニ向テ故障ノアル御方がアレバ、實ハ著席ノ所カラ問答ヲ爲サルノハ不規則ト考ヘマス、斯様ナルコトハ屢々セラレザランコトヲ望ミマス——加藤外務大臣

(外務大臣男爵加藤高明君登壇)

○外務大臣(男爵加藤高明君) 床次サンハ私ニ御尋ニナシタノカ、趣旨ヲ御説明ニナッタノカ能ク了解致シマセヌデゴザイマシタガ、私ノ言葉ヲ御繰返シニナシタノニ少々間違ガアリマスカラ、ソレダケハ正シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、即チ支那ニ於ケル在留ノ同胞人ニ對シテ引揚準備ノ命令ヲ發シタト云フ御話ガゴザイマシタガ、命令ハ何等發シマセヌ、先刻申上ゲマシタ通り事或ハ重大ノ場合ニ至ルカモ知レヌカラ、立退等ヲ要スル事變ガ生ジナイトモ限ラヌカラ、其心構ヘヲ爲セト云フ注意ヲ領事ヲシテ爲サシメタ、引揚ノ命令トハ全ク違ヒマスカラ、其事ダケハ辯明ヲ致シテ置キマス、其外御尋ガアリマシタガ、是ハ又規則ニ違フカ知レマセヌガ(笑聲起ル)

○議長(島田三郎君) 次へ移リマス——岡陸軍大臣

(陸軍大臣岡市之助君登壇)

○陸軍大臣(岡市之助君) 唯今床次君ノ御質問ノ交替兵ヲ期ニ先立テ派遣ヲシタノハドウ云フ譯カト云フ御質問テゴザイマシタガ、之ニ關聯致シマシテ元田君ノ御質問中ニ、威嚇的趣意ニ於テ兵ヲ派遣シタノデハナイカト云フ御質問テアッタヤウニ承リマシタガ、此滿洲及青島ニ交替兵ヲ派遣致シマシタノハ三月ノ中旬ノコトテゴザイマシテ、是ハ豫定ノ行動デゴザイマス(「ノウ」と呼フ者アリ)滿洲ニ付テ申上ゲマルト、例年三月若クハ四月ノ候ニ於テ交代ヲサセテ居リマス、本年ハ三月ニ交代ヲサセルト云フ最初カラ豫定ヲシテ居リマシタノデ(「嘘ヲ言フナ」「餘計ナコトヲ云フナ」と呼フ者アリ)當局者ガ責任ヲ以テ御答ラスルノテアリマスカラドウ……(「偽リヲ言フテハイケマセヌ」と呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 静肅ニ……

○陸軍大臣(岡市之助君) ドウゾ御聽取ヲ願ヒマス、ソレカラ青島ノ方ハ是モ交替ヲサセル豫定ニシテ居リマシタノデ、實ハ交替兵が出マスルマテハ昨年青島攻圍軍ニ從事致シマシタル所ノ兵ノ一部分ヲ留メ置キマシタ次第テゴザイマス、餘程長クナリマスカラ之ヲ交替サセルト云フ計畫ヲ豫メ立シテ置キマシタ、之ヲ滿洲ノ方ト殆ド同時ニ交代サセル目的ヲ以テ新ニ兵ヲ出シマシタ所ガ、此交替兵ガ彼ノ地ニ到著ヲ致シマシタ頃ヒハ、恰モ滿洲及青島ニ於キマシテ不穩ノ状況ヲ認メマシタノテ、若干日間交替ヲシテ歸ル兵ヲ止メテ置キマシタ次第テゴザイマス、何等別段ノ意味アル次第テゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○元田肇君 議長

○議長(島田三郎君) 順序ガゴザイマス

○元田肇君 先刻陸軍大臣ハ御答辯ガナイニ依シテ私ハ默シタノデアリマスガ、既ニ答

辯サル、ナラバ此際一一問ダケ御許シヲ願ヒタ

○議長(島田三郎君) 順序ガアリマスガ、極ク簡明ニ要點ダケヲ御話ニナルナラバ特

ニ許シマス

○元田肇君 騒動ガ起シタト云フノハ、如何ナル騒動デアルカト云フコトヲ承リタイ、第

二ハ(順序ガアル)ト呼フ者アリ)膠州灣還附ニ付テアリマス、軍隊ノ血ヲ流シテ取

一九

タ所ノモノヲ容易ク放棄スルト云フコトヲ致シマシタナラバ、將來我國民ノ奉公心ニ影響シ、忠誠ナル國民性ヲ頽敗セシムルコトハアルマイカト申シマシタ所ガ、外務大臣ハ是ハ當局者カラ答ヘルテアリマセウガ、軍隊ハ陛下ノ命令ニ依シテ行フノアルカラ斯様ナコトハナイト云ハレマシタガ、軍事當局者ハ如何ナル御考ヲ持シテ居リマスカラ伺ヒタイ

〔秘書官詩シタノテスカ「ト呼フ者ガリ」
○議長（島田三郎君）御答ヲ致シマス、順序ハ次ニ移ルベキデアリマスガ、若シ陸軍大臣が簡単ニ御述ヘニナツテ、是ガ片付クナラバソレダケハ特別ニ許シマス、若シ長ク問答ヲ續ケルヤウナコトアルナラバ、是ダケニ止メマス——岡陸軍大臣
（尾置大臣同旨ノ筋書き並置）

○陸軍大臣(岡市之助君) 元田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、私ハ騒動ガ起ルトハ申シマセヌ、起ル兆候ガアルト申シマシタ

○陸軍大臣(岡市之助君) ソレハ一々此處デ申上ゲル必要ハゴザイマセヌ
○議長(島田三郎君) 見附ニ表ツツ(要)テ土モヤベ

○議長(島田三朗君) 細則ニ依テ發言者ノ上
○陸軍大臣(岡市之助君) ソレカラ血ヲ流シタ青島云々ト云フコトデゴザイシタが、
是ハ外務大臣ノ御答敷シマシタ趣旨ト變リハゴザイマセヌ、即チ軍隊ハ國家ノ目的ヲ遂

行スル爲ニ 陛下ノ御命ニ從フテ行動ヲスルノニアリマスカラ、
ラウトモ、ソレハ軍隊ノ與リ知ル所デハゴザイマセヌ(拍手起立)

○議長（島田三郎君）鈴木梅四郎君
〔鈴木梅四郎君登壇〕

○議長（島田二郎君）　静肅ニ……

〔鉢木編四〕眞君和洋外務大臣と向對質問題第一回
床次君ノ質問ニ對シテ最後ニ御答ニナシタ排日問題、之ニ付テ少シ御尋致シタイ、私共ノ聞キマス所、又新聞ヲ見マスル所ニ依リマスレバ、外務大臣ノ所謂圓満ナル解決ヲ

遂ダマシタ其支那ニ於キマシテ、其談判ノ結了前ヨリ催シガアツタノデゴザイマスルガ、所謂排日問題、日本ノ臣民ニ對シテ危害ヲ加ヘ、日本ノ商店ニ對シテ亂暴ヲ働クト云フ

コトが現ニ盛ニ起リツツアル、又日本ヨリ輸出シマスル所ノ商品ニ對シテハ、總テ之ヲ排斥スルト云フ嚴重ナル決議ヲシテ著々實行シテ居ル現ニ或商人ノ如キ——此排貨ノ

同監三入、元居ノ商人カソレニ破、元日本ノト紹京シテ爲ニ其事ヲ察見サレ金三
取ラレタト云フコトガアルタメ其商賣ハ其後ハ一向取引ガ無トイト云フ一ノ例モアリマス、
其他日本ノ商品ヲ或處ニ集メテ之ヲ競賣シテ、非常ニ一所謂非貨ノ勢ヲ昌メテ居ルト

フコトモ聞イテ居リマス、其他商業會議所ノ會頭ト云フヤウナ重要ナル人々ガ、燐ニ此排斥ト云フモノヲ非常ニ激シク論ジ、激シク之ヲ厲行スルコトヲ努

メテ居ルサウデアリマス、此日本ノ國民ニ對シテ危害ヲ加ヘ、或ハ商店ニ對シテ妨害ヲ與ヘルト云、フコトハ長ク續ク云、フコトハナイデアラウト云フコトハ、私共ハ是ハ信ジマスル、

サリナガラ此期貨問題ト云フモノハ、餘程注意ヲ要スル由ヤシ問題デアルト思フ「ヒヤ」ト呼フ者アリ）御承知ノ如ク支那トノ貿易ハ、我國ノ貿易ノ重要ナル部分ヲ占メ居レバ勿ツアリ、而ニ今後我國ノ商工業ハ、廢業致シマント、我國ノ國富ノ脅威

テ居バハアカリマニ、而ミテ今後我國ハ商工業ニモ不運到シ。ミテ我國ハ國體地盤ヲ計ル天地ハ何ニアルカト申シマスレバ、第一ニ此支那ノ市場上云フモノガ一番重要ナルモノデアルノデアリマス、然ルニ外務大臣ノ所謂圓満ナル解決ヲ告ケルヤ否ヤ、斯ノ如キ排貨問題が起シテ商工業者カラ見マスルト云フト、殆ド非常テ打撃ヲ今日與ヘテ居

辯アツタヤウデゴザイマスルが、私共ハ左様ニハ信ジラレナインデアル、先年辰丸事件ト云フ問題ガアリマシテ、廣東方面、即チ南清方面ニ所謂日貨排斥が起リマシテ、其經過ヲ考ヘテ見マスルト能ク分リマスノデ、辰丸事件ナルモノハ此度ノ對支外交渉問題ニ較ヘマスレバ、誠ニ事輕少ナ問題デアル、ソレニモ拘ラズ支那人ガ之ニ對シテ日本ノ商品ヲ排斥スルト云フ同盟ヲ結ンデ、我日本ノ貿易ニドノ位ナ妨害ヲ與ヘタデアラウカト云フト、即チ此問題ハ輕少ナ問題デアツタケレドモ頗る長イ間我國ノ支那貿易ト云フモノニ對シテ、妨害ヲ與ヘタト云フコトハ何人モ能ク記憶スルトコロデアリマス、此辰丸

事件ニ較ヘマスレバ、支那人ニ取シテハ最モヒドクコタエテ居ルトコロノ此度ノ問題デアツ
テ見マスレバ、私共ハ此一例カラ申シマシテ今日ノ所謂日本ノ商品排斥問題ト云フモ
ノハ、餘程我國ノ貿易ニ關係シ、我國ノ經濟ニ餘程關係ヲ及ボシハセヌカト云フ虞ヲ
懷イテ居ルノアリマス、デ之ニ對シテ先刻排日問題ト云フコトデ簡單ニ御答ニナリマシ

外ガ「我臣民ニ危害ヲ與ヘ商店家屋ニ妨害ヲ與ヘルト云アヤウナコトハ、外務大臣ノ所謂嚴重ナル警告ニ依テシテノドウカスルコトハ出來マセウガ、支那一般ノ商工業者ガ或勢力ニ壓セラレテ、此排貨問題ヲ實行スルト云フコトニ付テハ、ドウ云フ方法ドウ云フ御考案ガアルノデ、ゴザイマセウカ、是ハナカノ私共ハ輕々見テ居し問題ナイト思フノアヤズ、イマズルカラ、此邊ニ對シテ最モ經濟財政ノ上ニモ御考ノアル外務大臣トシテハ、相當御考ガアルダラウト思フ、又我商工業者モ外務大臣ノ此說明ニ依テ自分ノ商取引、若クハ工業ノ營業ノ上ニ付テハソレノ手加減ヲスル考ヲスル必要ガアラウト思ヒマスカラ、此點ニ對シ外務大臣ノ明確ナル御答語ヲ専タイト思フノアリマス、次ニハ大蔵大臣ニ

向シテ財政方針ノコトニ付テ御尋ヲ致シマス、三十五議會ニ於キマシテハ、大藏大臣ハ時局タナト云フコトデ、總テノ財政方針ノコトヲ御尋致シマシタニ對シテ御逃レニナツタヤウニ吾々ハ思ツテ居リマスガ、日獨戰爭ハ既ニ結了シ、疾ウニ收マリ、又呂友交渉問題モ既ニ結了シテ不日條約ノ取替ヒガ濟ムト云フ時節、歐洲ノ大亂ハ何時結了致シマスク、是ハ分リマセダケレドモノ併シ極東ニ位置ヲ持テ居ル我帝國ト致シマシテハ、此際ドウシテモ政府ノ財政方針ト云フモノニ對シテハ、相當ノ考慮ヲ費シテ此國民ノ商工業ノ前途ニ付テ懷イテ居ルトニロノ危惧ノ念ヲ解イテヤルノ必要が確ニアル時期ト私ハ者ヘテ居リマス、念

〔二〕歐羅巴ノ大戰爭ハ何時終了スルかト云フコトハ問題デアリズルガ
テ、今後ドノ方面ヨリ考ヘマシテモ國ノ富ヲ増殖シ、國ノ力ヲ附ケルト云フコトが最第一ノ
要件デアルコトハ私ガ申スマデモナク、是ハ明瞭ナコトデアル、歐羅巴ノ戰局如何ニ拘ラ
ズ今日ハ我帝國ハ上下一致シテ、全力ヲ此點ニ盡サナケレバナラズ時期デアラウト恩ヒ
マス、然ルニ先刻大藏大臣ノ御説明ヲ承ハリマスムト云フト、唯オ座ナリノ御説明デアツ
テ、財政ノ方針ニ付テハ一言モ御言及ニナラナカッタト云フコトニ對シテ、頗ル失望致シタ
ノデアリマス、何故ナラバ此度ノ解散問題ノ主要問題ニナタテ居リマスル二個師團、此二
個師團ハ可レ七義會ニ屬テハ通稱ブルゴザイマセウ、吾々ハ又對テ「ザイマスルガ、所デ

之ヲ世間ハ大ニ誤解シテ居リマスルが、ナカノノ重要問題ニ、大正十年マニ臨時費
バカリガ約一千二百万圓、ソレカラ經常費ガ一千百万圓、合セテ三千二百万圓出來上
リマデニ掛チ、サウシテ年々歲々出來上^タ後ハ五百十何万圓宛ト云フ大金ヲ喰ウテ
參リマスル計畫アリマス、サウシテ政府ハ斯ノ如キコトヲ一方ニ於テ財政計畫ニヤッテ
居リマスルノニ對シテ、又外ニイロヽナ不安心ナ計畫アシテ居ルト云フノハ、國債償還
基金ノ一千萬圓ヲ減シテ、ソレ以テ鐵道ノ敷設費ヲ用ヒテ居ル、是ハ今年限リアアル
カ、或ハ來年モヤルノデアルカ、或ハ永久ニヤルノデアルカ、ソレハ分リマセヌガ、併シ鐵道

ノ敷設經營費ト云フモノハ、今後年々必ズ必要ノモノデアル、之ヲ先づソレニ向ケテ居ル、ソレカラ朝鮮事業費ハ——朝鮮事業費ニ八百餘万圓剩餘金ヲ貸付ケテ居ル、是モ如何デアルカ、朝鮮ノ事業費ハ總體ニ五千六百万圓ト記憶シテ居リマスルガ、其中ニ公債ニ依シテ既ニ償ハレタモノガ三千万圓ト、殘ルトコロニ一千六百万圓、此二千六百万圓ノ中、差向キ今年剩餘金ヲ以テ八百餘万圓ヲナサルト言ヘバ、後トニマダ大變ニ残シテ居ル、千八百万圓バカリ、此朝鮮ノ事業費モ要リ居ルノデアル、斯ウ考ヘテ見マスト云フト、今日ノ財政状態カラ申シマスト、前途ドウシテ行クデアラウカト云フコトハ何人モ心配セザルヲ得ヌノアフル、之ヲドウナサルカ、更ニ詳シイ御話ハ廢シマスルガ、歐洲戦亂ノ結果トシテ官民共ニ二十億ノ外資ヲ輸入シテ財政經濟ヲ調理シテ居ル、我帝國ニ於テハ此戰爭中ハ無論ノコト、戰後少ナクトモ十數年ノ間ト云フモノハ、新タニ外資ヲ入ル、コトカ出來バカカリカ、此借入レタ外資ハ徐々取立テラレル運命ニ迫リテ居ルト云フ此所ニ大難事モアルノデアリマス、ツレ等ニ對シテ今日此際、此臨時議會ヲ御開キニナッテ、斯カル長年期ニ亘シテ國民ノ負擔ヲ重クスル案ヲ御提出ニナル以上ハ、之ニ對シテ財政計畫ハ斯ク、ニシテ行クノデアルカラシテ、安心シテ之ニ協賛ヲ與フベシト云フ抱負ガナケレバ、順序ヲ得ナイモノト思ヒマスルノデアリマスルガ、此點ニ付テ如何デザイマセウカ、之ヲ御尋シマス、ソレカラ今一ツ御尋ネスルノハ、廢減稅問題、民力休養問題、現政府が成立ノ當時聲明サレマシタ重重要ナル政綱ノ中ニ、此廢減稅、民力休養ノ問題ガナサイマシタ、之ヲ前ノ三十五議會ニ於キマシテハ、時局ト云フモノヲ口ニサレテ此問題ハ逃げラレタノデゴザイマスガ、先刻モ申上ゲマス通り我帝國トシテハ今日時局ハ既ニ通過シテ、今後國力ヲ養ヒ國ノ富ヲ増進スルト云フコトニ努メナクテハナラヌノデアルガ、今ニ財政方針ヲ承ハルコトが出來ズ、又今日ノ財政計畫ヲ見マスレバ前途人事ハ一切構ハズ、其日限リ其日暮シノ財政ヲ立ツテ、後國力ヲ養ヒ國ノ富ヲ増進スルト云フコトニ努メナクテハナラヌカ否ヤ、斯ウ云フ問題デゴザイマス、私ノ質問ハ此三箇條デゴザリマス

(拍手スル者アリ)

○議長(島田三郎君) 大藏大臣
(大藏大臣若観禮次郎君登壇)

(拍手起ル)

○大藏大臣(若観禮次郎君) 支那ニ於ケル排貨ノ問題ニ付テハ、當局ノ大臣カラ後程答辯ガアラウト思ヒマスカラ、唯今御質問ノ第一第二第三ニ付テ御答致シマス、財政計畫ニ付テ先程申述ベタ所ガ十分テナシ、ソレ故ニ能ク分ラスト云フ御質問ノヤウデアリマシタガ、先程申上ゲマシタ如ク、今回提出致シマシタ追加豫算ハ、第三十五議會ニ政府が提出シタ、恰モ政府ノ財政計畫ト同様ナル實際ナ有様ヲ呈サセヤウト云フノガ大體ノ計畫デアルノデアリマス、其第三十五議會ニ出マシク時ノ財政計畫ハ、先程總理大臣計畫ヲハ、施行豫算ノ上ニ於テ成ベク實行シテ、其施行豫算ヲハ實行ノ出來ナイ部分ヲ今回ノ追加豫算ニ於テ補シテ、此追加豫算ト實行豫算ト相俟シテ第三十五議會ニ提出シタ、恰モ政府ノ財政計畫ト同様ナル實際ナ有様ヲ呈サセヤウト云フノガ大體ノ計畫デアルノデアリマス、其第三十五議會ニ出マシク時ノ財政計畫ハ、先程總理大臣ニナッテ居ルノデアリマス、其中ニ一個師團ノ増加ニナリマシテモ、或ハ海軍ノ製艦費ノコト其他ノ事柄ト云フモノハ、唯今申上ケタ中テ收支ノ債フヤウニナシテ、唯三十五議會

ニ提出シタ豫算、アレノ實行豫算ニ於テ行レナイ所が今回ノ追加豫算ニ出テ居ルノデアリマスカラ、當時ノ財政計畫其儘ヲ今回ノ追加豫算ニ依テ完成シヤウト云フ、當初ノ計畫通り實行シヤウト云フノガ考テアルノデアリマス、鐵道ニ付テ相當ノ資金ヲ要スル、是マデハソレヲ借入金ニ求メテ居ツタノデアル、然ルニ今鈴木君モ仰セラル如ク、歐羅巴ノ現狀アヘ到底日本ニ金ヲ貸スヤウナ場合ハ當分ノ間生ジマイト思フノデアリマス、政府ノ財政計畫ハ時局ノ始マリマス前カラ立テタノデアリマスガ、當時立テタ時ノ考ハ歐羅巴ノ狀況モ餘リ日本ニ餘計金ヲ貸シ得ル様子ハナカツタノデアリマス、ケレドモ其事ノミナラズ、元來ニ於テ外國カラ餘り年々借入金ヲスルト云フコトハ、日本ノ經濟事情ニ對シテ好イ影響ヲ與ヘナイ、之ヲ直サウト云フノガ現内閣ノ方針テ、外國貿易ノ上ニ於テ年々大ナル輸入超過ヲルコトヲ、ドウカ直シテ、此正貨ノ基礎ヲベ餘り薄弱ナモノニナラヌヤウニセセヤウト云フ考テアリマシテ、ソレガ爲ニ外資ハ餘リ之ニ依頼シタクナイト云フ考ヲ起シタノト同時ニ、餘リ外國ガ日本ハ金ヲ貸スヤウナ狀況ア無イ、是ト雙方相待ツテ政府ノ計畫ハ外國カラ餘リ金ヲ借リナイト云フコトニシヤウ、同時ニ又日本ノ内地デ全然公債ノ募集が出來ヌト云フノデモアリマスマイケレドモ、政府ノ募債ノ爲メニ民間ノ事業資金ヲ屢々追スルヤウナコトガアツテハナラヌカラ、是亦成ルベク内地ノ市場ニ向テ諸分ノ間ハ政府ハ募債セス方ガ宜イト云フ方針ヲ立テシタノテ、然ル以上鐵道ヲ止メナシ限リハ、何トカ鐵道ノ資金ヲ一方ニ於テ見付ケテ茶シケレバナラヌ、鐵道ヲ廢メルニラバ宣イガ、鐵道ノ建設改良ト云フコトガ全然廢スルコトが出來ヌ以上ハ、必要ナ資金ハ何處カラカ見付ケテ來ナケレバナラヌ、ソレハ從來ナラバ借入金ヲアツタガ、金ヲ借りテアリニ返ス金ヲ其方ニ向ケルノガ相當デアルト、現内閣ハ國債償還資金ヲ減シテ其金ヲ振向ケルコトニシタノデアリマス、一般ノ財政計畫ハ前ニ申上ゲル如ク、一方ニハ行政財政ノ整理ヲシテ財源ヲ出シテ、ソレト從前カラアツマ出ノ段々減少シテ行クモノ、之ニ依テ生ジテ行ク用源、之ニ併セテ唯今提出シテ居ル追加豫算ヲ、實行豫算三加ヘタモノヲ施行シテ行クニ差支ナイト云フ見込ヲ立て、茲ニ今日ノ追加豫算ヲ提出シタ次第ニアリマス、ソレカラ廢減稅ノコトヲ如何ニスルカト云フ御尋テアリマスガ、時局ハ終シテ居ル、時局が終シテ以上ハ、當初聲明シタヤウナ事ヲ實行セシケレバナラスト云フ御話ニアリマシタガ、唯今御答致シタ中ノ財政行政ノ整理ヲ行ウテ、而シテ此時局が無イトシテ、大正四年度ニドウ云フ歲入ノ狀況ニナルカト云フコトヲ見積リマシタ、其見積額ト雙方併セテ實行致シマスレバ、唯今御答ヘシタコロノ一個師團ノ増加、其他必要ナル經費ヲ辨シテ専當ナル國民負擔ノ輕減ノ出來ル計畫デアツタノデアリマスガ、其際ニ恰度昨年八月時局が起シテ、時局が起シテ後ノ計畫ニ於ケル鈴木君ノ質問ハ屢々アツテ相違アリマセヌ、當時モ御答申シタ如ク、之ガ爲メニ歲入ノ大減少ヲ來シタ、其歲入ノ大減少ヲ來シタ事柄ハ今日モ専當シテ居ルノデアル、東洋ニ於ケル兵戰ハ如何ニモ燒ダニハ相違アリマセヌ、青島モ取シタ、既ニ獨逸ノ艦隊モ東洋カノ無クナシテト云フコトニナシテ居リマスケレドモ、併ナガラ歐羅巴ノ時局が存シテ居ル以上、今日關稅ケ御覽ニナッテモ輸入ガ非常ニ減シテ居ルト云フコトハ直ニ分ル、從テ關稅ノ收入ガ大ニ減シテ居ル、收入が減シテ居ル如クソレダケ内地ノ商賣其他ノモノモ皆影響ヲ受ケテ居リマスカラ、一般ノ歲入ニ於テモ減少ヲ來シテ居ルト云フ状況ハ依然シテ存シテ居ル、是ガナケレバ今モ申上ゲマシタ通り、政府ハ國民負擔ノ輕減ヲ實行スル積リテアリマシタガ、左様ナ事が生シタ以上ハ、茲ニ歲入ノ減少ニ依テ已ムラ得ズ豫テ聲明シテ居ツタ國民負擔ノ

輕減スルコトが出來ナイ状態アル、是が現在ノ有様ニアリマス、而シテ一方規則立タル歲入ノ状態ト比較スレバ、則チ戰爭ノ影響ヲ受クルコトナキニ至テ相當ノ歲入が見付カルコトニタラバ、國民負擔ノ輕減ト云フコトモ考慮スルト云フコトハ、無論政府ニ於テ急ツテ居ラヌ考デアリマス

(外務大臣男爵加藤高明君登壇)

○外務大臣(男爵加藤高明君) 鈴木君ヨリ御尋ニナリマシタル、支那ニ於ケル日本ノ貨物ヲ排斥スル運動ニ關シテノ事柄ニアリマス、ナカク容易ニ熄マスト云フコトニ鈴木君ハ御考デアルガ、政府ノ觀ル所ハ如何、茲之ニ對スル如何ナル方法方策ヲ講ズル積

リデアルヤ否ヤト云フ御尋テアツタ存ジマス、新聞紙ニハ餘程大キク報ゼラレテ居リマス

ガ、政付ノ得テ居リマス報告ニ依レバ、地方ハ各地ニハ決シテ瓦ツテ居ラヌ、先刻モ申上

ゲタ如ク四川ノ重慶ニ於テ多少ノ事ガアリ、又福建ノ福州ニ於テモ事件ガアツタヤウデアリマス、併シ福州ノ方ノハ幾ド全ク收マツト云フ報告ヲ得テ居ル、重慶ノ方ハ其後詳

報ハ得マセヌガ、是亦格別ノ事ハ無イカト思ツテ居ル次第アル、單リ稍重大ナルハ漢口ニアリマス、是ハ既ニ數日ニ亘ツテ日本人——在留日本人モ頗ル不安ノ念ニ駆ラレテ居ル、政府ニ於テモ勿論心配致シテ居リマス、是等ノ事ハ他ノ地ニ傳播シナイヤウニ、支那ノ中央政府竝ニ地方ノ官憲ニ對シテ先刻モ申上ゲマシタ如ク、啻ニ暴動ヲ爲サシメルコトニ努メタルノミナラズ、日貨排斥等ノ舉ニ出テシメナイヤウニト云フ主意ヲ以テ掛合ツテ居ル次第アリマス、而シテ漢口ノ事モ唯今得マシタル報告ニ依レバ、支那ノ當局者ニ於テモ煩ル之ヲ憂慮シ、全力ヲ盡シテ鎮壓ニ努メルト云フコトニアリマス、甚ダ喜バシク有ジマスカラ唯今得マシタル電報ノ大意ヲ御話致シマス、漢口發、大正四年五月二十一日午後六時二十五分

本官ハ武昌ニ至り段芝賀ニ面會シテ其趣旨ヲ述ヘ且漢口ニ於ケル支那一般ノ本邦人ニ對スル態度ヲ詳細ニ説明シテ之ガ鎮定方ニ關シ反省ヲ促シタルニ、將軍ハ本官ノ要求ニ對シ、全責任ヲ以テ當ルベキコトヲ聲明シ、差當リ兩國人融和ノ一策トシテ本

日直チニ商務總會ノ重立タルモノヲ呼寄セ、日本商賈ト從來ノ如ク親善シテ取引ヲナ

スベキコトヲ説諭シ、漢口ノ文武官憲ヲ督勵シテ一切排日的行動ノ嚴重ニ取締ラシメ、尙其效ヲ奏セザルニ於テハ、將軍自ラ漢口へ出張シテ善後策ヲ講ズキニ付、遲クトモ

一週間内ニハ市場ノ面目一新スベシ、尙又目下日本人間ニ流布スル所ノ種々ノ危險

ナル謠言ハ決シテ信ズキモニニアラズト雖モ、之ニ對シ十分調査ノ上相當ノ措置ヲ取

ルベキ旨附言シク「斯ノ如ク支那ノ當局者ニ於テモ熱心ニ配慮致シテ居ラレルコトニアリマス、此ノ騒動モ不日鎮マルコト私ハ信シテ居リマス(拍手起ル)

○鈴木梅四郎君 簡單テアリマスカラ自席カラ申シマス外務大臣ノ唯今ノ御答ハ特ニ漢口カラ電信マテ持ツテ來テ御説明ニナリマシタガ、ソレハ私ノ御尋ネシタコトデナイン、此一般ノ商工業者ガ日本ノ貨物ヲ排斥シテ、日本ノ對支貿易ニ對シテ妨害ヲ與ヘ官憲ノ力ノ及ブ範圍ノ問題ハ、兩國政府間ノ交誼ニ依テドウニモナルデセウ、然シナガラ排貨問題ハ支那國民ノ、一般ノ國民ノ人心ヲ湧イテ出來ル問題デアリマスカラ、之ヲ官憲ノ力ヲ以テ鎮メルコトハ出來ヌト思ヒマスガ、ソレハドウデアルカ、其一例ヲ言ハベ

辰丸事件ガ今日マテ長イ間日本ノ商工業ヲ苦シメタコトガアル、斯ウ云フ間デアル、然ル

ニ領事ノ電信ヲ御讀ミナシテ、其談判ノ返事ヲ承フタノデハ吾々安心ハ出來ナイ、其支

那ノ一般ノ商工業者ガ日本ノ貨物ヲ排斥シテ、日本ノ對支貿易ニ對シテ妨害ヲ與ヘルト云フ、此一般ノ支那全般ノ空氣カラ起ツテ來ル、之ニ對シテハドウ云フ御抱負ガアル、ドウ云フ方法ガアルカト云フ御尋テアリマス、領事ノ簡單ナル談判模様ノ返答位テハ、私共ハ實ハ商工業者ヲ代表シテ安心ハ出來ナイ、其事ニ就テ外務大臣ノ今少シ

ドウ云フ案ガアルカ、長イ將來ノコトハイヤ知ラズ、少クトモ今後五七年間ハドウ云フ工合ニヤツテ行クカト云フ、財政計畫ノ方針ヲ承リタイト云フノニアリマス
(外務大臣男爵加藤高明君登壇)
○外務大臣(男爵加藤高明君) 私ハ鈴木君ノ御尋ニ對シテハ、餘程町畔親切ニ御答シテ居ル積リテアリマス、此上御答致スコトハアリマセヌ

○大藏大臣(若槻禮次郎君登壇)
(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 唯今御答申上ゲタノハ、歲入ノ增額ニ對シテ歲出ノ權衡ヲ得ルヤウニシテ、唯今ノ豫算ハ提出致シテアルノニアリマス、今後ドウナルカト云フ

ノハ、今日ノ歲出ノ狀況ガ其儘繼續スルナラバ、以後ノ年度ニ於テモ歲入歲出相償ツテ足ラナイトコロガナイト云フ、其計算ノ下ニ本年

度ノ豫算ヲ作ツテ居ルノアリマス、其點ニ於テ今後數年ニ亘ツテドウ云フ方針カト云フ御尋テアレバ、現在ノ歲入ノ計畫現在ノ歲出ノ計畫ヲ御覽下サレバ、ソレガ即チ財政ノ計畫アルノデス、時局ハ終ツテ居ルト云フ御話デアリマスガ、其點ハ先程申上ゲタ

ガ、戰ヒハ濟ンダニ相違アリマセヌガ、時局カラ經濟上ニ及シテ居ル影響、財政上ニ及シテ居ル結果ハ依然トシテ存シテ居ルノアリマス、ソレノ下ニ於テ今日ノ政府ハ財政計

○小川平吉君 私ハ日支交渉ノコトニ付テ質問ヲ致シタノニアリマスガ……

○議長(島田三郎君) ドウソ演壇ニ御進ミ下サイ

○小川平吉君 總理大臣ガ御出ニナリマセヌカラ、總理大臣ノ出席ヲ待シテ御尋シタ

イト思ヒマスカラ、議長ヨリ總理大臣ノ出席ノ御交渉アランコトヲ希望致シマス
(「無用々々ト呼フ者アリ」)

○坂口仁一郎君 議長々々

○議長(島田三郎君) 午前ヨリ貴族院ノ議事ニ從ハレタタメニ、疲勞シテ、唯今チヨット

休息シテ居ラレマス、今免ニ角出席サレルヤ否ヤ照會致シマス

○坂口仁一郎君 私ハソレハ無用ト思ノノデス(「ノウノウ」)無用ト云フモノハ空シク

貴重ノ時間ヲ費スノデ、次ノ人ニヤラセルノガ宜イト思ヒマス

○議長(島田三郎君) 此際諸君ニ一言申シテ置キマスガ、或議員が發言サレテ居ル

議事ノ際ニ、イロク批評セラルノハ、殆ド職務執行ノ妨害デアリマスカラ、其時ニ

已ムヲ得ザレバ其妨害ヲ除クベキ手段ヲ執ルヨリ外致方ハゴサイマセヌ(「ソチラニ向シテ

御遣シナサイ」と呼フ者アリ)何レモ其通リテゴザイマス、ドチラニ向シテモ左様ニ致シマス

——總理大臣が出席ニナリマシタカラ小川君
(小川平吉君登壇)
(拍手起ル)

○小川平吉君 諸君、私ハ今回ノ日支交渉ニ付キマシテ數箇條ノ質問ヲ致シタイノデアリマス、其内三箇條ハ談判ノ手續方法ニ關スルコトデアル、二箇條ハ談判ノ案件ノ關スル事柄ニアリマス、又他ノ一箇條ハ談判ノ結果ニ付テ質問ヲ試ミタイト考ノルノデ、第一此今回ノ日支交渉ニ付キマシテハ、當初當局者ノ提出ヲ致シマシタコロノ案件ヲ新聞紙ニ依テ承知致シマシテ、私ハ之ニ對シテ多少ノ疑ヲ懷イタノニアリマス

ス、果シテ當局者ハ此多數ノ簡條ヲ擧ゲテ悉ク之ヲ貫徹スルトコロノ誠意アリヤ否ヤト云、フコトヲ疑ヒマシタノデゴザイマス、其後談判ノ經過ヲ見ルニ及ヒマシテ、益、此感ヲ深ク致シタノデゴザイマス、今日私ガ御尋致シタ事柄ハ、此ノ如ク多數ノ簡條ヲ擧ゲテ、當局者ハ眞ニ誠意ヲ以テ悉ク之ヲ貫徹スル意志アツタカドウアルカ、之ヲ尋ネタインデ、又今日マデノ懸案トナツテ居ツタ事柄モ見エルノデアリマス、又或ハ吾ニヲ以テ言ハシムレバ、洵ニ些末枝葉末節ニ亘ルトコロノ事柄モ見エルノデアル、此ノ如キ事柄ヲ雜然トシテ、一緒ニ之ヲ提出シタト云フ事柄ハ、談判ノ方法トシテハ宜キヲ得タルモノナルヤ否ヤ、之ダ該地ヲ撤退セザル以前ニ於テ、支那ニ對シテ要求ノ條項ヲ提出シ、談判ヲ開始スルヲ第一ニ私ハ疑ウテ居ル、又第二ニハ其時機ニ於テ當局者ノ提案シタル時機ハ、其當コトヲ以テ最モ適當ナリト考ヘマシテ、當時既ニ私ニ當局者ニ向ツテ之ヲ勧誘ヲ致シタコト失シタモノデハナイカト考ヘル、吾ミハ此歐洲戰亂ノ結果ニ付テ東洋ノ平和ノ基礎ヲ定メル、兩國親善ノ增進ヲ圖ルタメトスルニハ、彼ノ膠州灣ノ陷落シタル際、我軍ノ未將又東洋ノ永遠ノ平和ノタメニ、必ズヤ我日本帝國ヨリシテ相當ナル條件ヲ以テ要求コトヲ以テ最モ適當ナリト考ヘマシテ、當時既ニ我ニ當局者ニ向ツテ之ヲ勧誘ヲ致シタコトモアルノデアリマス、其當時ハ支那ニ於テモ膠州灣陥落ト同時ニ、今日マデノ兩國ノ間ニ蟠ツテ居ルトコロノ懸案ヲ解決シ、兩國民ノ狀態ヲシテ一層良好ナラシメンガタメニ、將又東洋ノ永遠ノ平和ノタメニ、必ズヤ我日本帝國ヨリシテ相當ナル條件ヲ以テ要求ヲ提出スルト云フコトハ、彼等ノ既ニ覺悟致シテ居ツタコロデアル、此時ニ及ニテ吾ニノ勸告ヲ容レズ、彼等爲スコトナクシテ爾來殆ド二箇月餘ヲ経過致シ、一月ノ十八日ニ至ツテ突然トシテ此ノ如キ數多キ條項ノ要求ヲ提出致シタノハ如何ナル、次第アルカ、或ハ亞米利加等ニ交渉セモセラレタノデアルカ、或ハ又其他ニ此間ニ於テ或ハ歐羅巴、或ハ亞米利加等ニ交渉セモセラレタノデアルカ、或ハ又其他ニ於テ何等カ準備アモセラレタコトガアツタノデゴザイマスカ、是ガアリマシタナラバニヲ伺ヒタヽ、必要ナル準備手續ガアツタ云フコトアルナラバ、或ハ此時機ニ付テ吾ニモ首肯スルコトが出來ルカ知ラヌ、何等必要ナルコトガ無カツタニモ拘ラズ、空シク膠州灣ヨリシテ見マスト云フト、或ハ要求條項ノ中ヨリシテ一部分分離ヲ致シテシマウ、或ハ又其中一部分ノモノハ撤回ヲ致シテシマフ、或ハ又其中ノ最モ必要ナル部分ハ之ヲ後廻シニスル、其舉動、其交渉ノ遣リ方ト云フモノガ果シテ東洋ノ平和ノタメニ兩國親善ノタメニ、誠心誠意ヲ以テ此二十一箇條ノ貫徹ヲ圖ラモノアルト見ルコトハ吾ニハ出來ナイアリマス(拍手起ル)是ガ私ノ第一ニ尋ねア見タイ點デアル、第一ハ此三月中旬ニ於ケル出兵ノ事ニアリマス、是迄既ニ此點ニ就テハ質問モアツタノデゴザイマスルガ、之ニ對シテ唯今モ當局者ハ單ニ駐屯軍ノ交替ニ過ギナイ、斯様ニ答辯ヲサレテ居ル、其當時談判ノ行惱シタコロノ事情ニ顧ミテ見、支那側ノ強硬ナル主張ニ照シテ見、前後ノ狀況ヲ知ルトコロノ者ハ六千万國民、誰カ之ヲ以テ無意味ナル交迭兵ナリト信ズル者ガアルデゴザイマセウカ(拍手起ル)又若シ果シテ真ニ交替兵ニ過ギナイト云フコトデアルナラバ、何が故ニ斯ノ如キ緊要ナル談判ヲ進行スル最中ニ於テ、未ダ交迭ノ期限來ラサルニ先シテ大兵ヲ動カシ、世界ノ耳目ヲ惹キ、國民ヲ驚カシ、新聞紙ノ記事ヲ少シモ差止ムルコトナク、而シテ彼レ支那官民上下ヲ驚カスヤウナ不謹慎ナルコトヲ何故ニスルノデアルカ(拍手起ル)之ヲ私ハ問ハナケレバナラヌノデアル、ソレヨリモ當局者ハ男ラシク此談判ノ行惱ミニ就テ、支那ニ對シテ威力ヲ示スガタメニ名シ交替

ニ藉リテ出兵シタノデアルト、何故斯ノ如ク男ラシク白狀フセナインデアルカ、（拍手起ル）
私ハ支那ノ談判ニ就テ或ル時期ニ於テ威力ヲ用ユルノ必要アリト云フコトハ敢テ否認ヲ
致ス者アハナイノデアリマス、是故ニ當局者ハ男ラシク談判ノ行惱ミニ就キ、威力ヲ示ス
ガタメニ出兵ヲ致シタノデアル、交替兵ヲ送ッタモノデアルト、斯様ニ答辯セラレタナラバ其
方ガ吾ニ満足セシメタデアラウト思フ、諸君、殊ニ私ノ此點ニ就テ當局者ニ尋ネテ置
キタイ事柄ハ、此出兵ヲスルニ就テモ當局者ハ單純ナル交替兵ノ派遣アリト稱シア居リ
マスルガ、單純ナル交替兵ノ派遣アヅテモ、確ニ支那官民ヲ驚カシタト同時ニ、必ズヤ此
談判ニ對シテ多少ノ影響ヲ與ヘナケレハナラヌ筋合ノモノデアルト考ヘル、然ルニ此交替兵
ノ派遣、我ノ出兵ガ彼レ支那官民ニ對シテ何等ノ感動ヲ與ヘナカツタノハ何ノ爲メニア
ルカ、縱シハ當局者ガ無意味ニ之ヲ派遺シタト爲シマシテモ、支那ノ官民ニ於テハ之ニ
對シテ大ナル恐レ懷カナケレバナラヌ筈デアル、然ルニ何等ノ感ジヲ與ヘナカツタノハ如何ナ
ル所以テアルカ、吾ト傳ヘ聞ク所ニ依リマスレバ、此出兵ニ就テモ歐羅巴若クハ亞米利
加ノ中ヨリシテ質問ノアツタノニ答ヘテ、我國ニ於テハ決シテ支那ニ對シテ兵ヲ動カシ戰爭
ヲスル最後ノ手段ヲ執ルト云フガ如キコトハ、決シテスル考ガナイト云フコトヲ以テ答ヘタ、
此當局者ノ答ガ外國大使館ノ人ノ口ヲ經テ支那ノ政府ニ通ジテ、之ニ依テ支那ノ政
府ハ我國ノ出兵ニ對シテ少シモ恐レハ懷カザルニ至シタト云フコトヲ傳ヘ開イテ居ルノデア
リマス、果シテ斯ノ如キ事がアツタカ否ヤ、若シ支那ニ對シテ威力ヲ不ス必要ガアリ、出兵
ヲ致シタト致シマシテモ、結局彼ニ對シテ何等ノ效ヲ奏セヌト云フコトニ「了ルデアラウト私ハ思
フ（拍手起ル）斯ノ如キ事實ガ有ツタノデアルカ、無イノデアルカ、加藤外務大臣ハ眞ニ嚴
格ナル問答ヲ好マル、ヤウデアル、私ノ問アガ如キ事柄ガ無イト致シマシテモ、之ニ類似セル
事柄ガアツタノデアルカ、如何ナル手段ヲ執リ、如何ナル威儀ヲ示シテモ、第三六最後通牒ノコトデアル、最
後ノ通牒ナルモノヲ發スル時ニ於テ、我が當局者ハ全然此第五項ナルモノヲ後回シニシテシ
マツタノデアル、四月二十六日ノ修正案ニ於テハ、此第五項ニ就テハ大體ニ於テ支那側ノ
談判中ニ陳述シタルトコロノ事柄ヲ記録ニ留メテ置ク、斯様ナ要求ガアルヤウニ承シテ居
ル、此四月二十六日ノ提案ニ對シテ、五月一日三甚ダ無禮不當ナルトコロノ提案ヲ支那
ヨリ致シタコトハ、先刻ノ御説明ニ依テ分シタノデアル、之ニ對シテ我政府ハ所謂最後通
牒ナルモノヲ發スルニ到リ、元老會議ヲ開キ海陸ノ兩軍ニ向シテ動員ヲ命シ、今ニモ兩
國干戈相見エントスルトコロノ決心ヲ示シ、多數ノ我同胞ノ海外在留者ニ向シテハ引
揚ヲ命ズル、斯ノ如キ大決心ヲ示サレタノデアル、然ルニ此時ニ至テ吾ノ當時信ジャ
シタ所デハ、我四月二十六日ニ提出シタル所ノ修正案、是ハ既ニ非常ナル讓歩ヲ示シ
テ居ル、第五項ノ如キモ單ニ其一部分ヲ記録ニ留メテ置クト云フコトニ止マツテ居ル、加
フルニ膠州灣ヲ支那ニ還附スル、斯ノ如キ大讓歩ヲ爲シタルトコロノ此四月二十六日
セラル、ヤラ、何時此談判が再開セラル、ヤラ、全く望ナキ廢案同様ノコトニシテ歸セシ
メテシマツタ、而シテ之ヲ以テ最後ノ提案トシテ通牒ヲ致シタ、既ニ讓歩ヲ上ニ讓歩ヲ決
シテ、彼レ傲慢無禮ニシテ不當ナル提案ヲ致スニ至シテ、所謂最後ノ決心ヲ致シ、干戈ニ
訴ヘテモ我が目的ヲ貫徹シヤウト決心シタ時ニ方ツテ、何カ故ニ四月二十六日ノ提案案ニ

以上ノ吾ニ最モ大切ナリト信ズルトコロノ此第五項ノ要求ナルモノヲ、忽チニシテ所謂敝履ヲ棄ツルガ如キ有様ニシテ之ヲ後迴シニシテシマツタ云フコトハドウ云フ譯デアル、言葉ニアラウト思フ、然ラバ即チ英吉利若クハ亞米利加、是等ノ邊ヨリシテ何カ此第五項ニ付テ讓歩セザルベカラザルヤウナ事柄ヲ申込ヲ受ケタノデアルカ、ドウデアルカ、英米各國ヨリモ何等ノ申込モナイ、元老其他外間ノ掣肘モ更ニ無イト致シマシタナラバ、何ガ故ニ一月十八日以來、此五月ニ至ルマデ百日ノ間主張シタ所ノ重大ナル問題ヲ、最後ノ通牒ヲ發スル時ニ當シテ、故ナクシテヲ拠棄致シタノハ何ノ爲デアル、後迴シニシタノハ何ノ爲デアル、之ヲ私ハ伺ヒタイ、既ニ最後通牒ヲ發スル決心ヲ致シマシタ以上ハ、吾ノ見ル所ヲ以テスレバ、必ズヤ彼支那政府ハ大局ニ顧ミ我政府ノ希望ヲ容レタデアラウト思フノデアル、又新聞紙等ノ傳フルニ至リ、海陸ノ兩軍が支那大陸ヲ壓スルニ至リマシタナラバトウデゴザイセウカ、彼レ支那政府ハ此危險ヲ冒シテモ第五項ノ希望ヲ拒ムト云フヤウナ事ハ、吾々ハ想像ハ出来ナリ、然ラバ則チ彼ノ新聞紙ノ傳フル所ノ我最後通牒ヲ發スルノ以前ニ於テ、第五項ノ我希望ヲ容ル、ノ意思ヲ漏シタ云フコトハ、私ハ事實デアルト信シテ差支ナカラウト思ヒマス、斯ノ如キ狀態ニ下ニアッテ何故ニ此大ナル五項ヲ故ナク後迴シニセラレタ他ニ之ヲ讓渡スコトノ出來ナリ、即チ漢治萍公司ノ特權ニ關係シテ、其モニ關係致シタ事柄デアリマス、其第一ハ此漢治萍煤鐵礦公司ノ特權ニ關スルコト、即チ提案第三項ノ第二三當ルノデアリマス、此漢治萍公司ノ附近ノ礦山等ニ就テハ、公司ノ承諾ヲ經ザレバ他ニ之ヲ讓渡スコトノ出來ナリ、即チ漢治萍公司ノ特權ニ關スル所ノ第三項ノ第二デアリマス、之ヲ全ク撤回セラレタノハ如何ナル理由デアルカ、之ヲ伺イタイ、是ハ私が茲ニ細カタ言フマデモナク最モ必要ナル事柄デアリマス、而シテ又支那政府ニ於テモ、今日ノ現狀ニ顧ミテ必ズヤ我ノ要求ヲ容レザルベカラザル所ノ事柄デアルト吾々ハ信シテ居ル、然ルニ之ヲ撤回セラレタルハ如何ナル理由ニ依ルカ、當時歐羅巴ノ新聞等ノ傳フル所ニ依レバ、英國ノ外務大臣ハ議會ニ於テ説明シテ曰ク、中部支那ニ於テハ列國自由ニ鑛山ノ權利ヲ獲得スルコトニ就テ盡力ヲ致シテ居ル、斯様ナ説明ガアッタト記憶致シテ居ル、此新聞ノ記事ニシテ事實デアルト致シマシタナラバ、此漢治萍公司ノ附近ニ於ケル所ノ鑛山ニ對スル權利ニ付キマシテハ、或ハ英國ノ故障若クハ何等申出等ガアッテ、是最モ必要ナル事柄デアル、支那政府ニ於テモ我國ノ要求ニ對シテハ異存ヲ言フベキ所ノ理由ト云フモノハ持タナイコトデアルト思フ、然ルニ此南昌ヲ中心トスル所ノ中央支那ノ鐵道ニ關スル事項ヲ全ク後迴シニシテ了ツト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、是亦英吉利ノ故障若クハ英吉利ノ申出等ニ基イテ殊ニ遠慮セラレタノデアルカ、其點ヲ伺ヒタイ、次ニ福建省ノ鐵道鑛山ニ關スル事柄デアル、福建省ニ於テハ最初第五項ノ六トシテ、即チ我日本帝國ノ勢力範圍ノ内ニ在ル所ノ福建省デアル、不割譲ノ約束ノ出來テ居

ル所ノ福建省、此福建省ニ向ツテ鐵道及鑛山ノ權利ニ就テ希望ヲ提出シテ居ルコトハ實ニ當然ノコトデアリマス、支那が所謂不割譲ノ契約ナルモノ、中ニハ、我帝國ノ勢力範圍ヲ含シテ居ル、此故ニ今回ノ談判ニ於テモ所謂我政府ノ提議セル沿岸ノ不割譲ヲ約束スルニ付テ、彼レ支那政府が極力之ヲ排斥シ、之ニ反對ヲスルノハ即チ不割譲ノ契約ヲスレバ、支那ノ主權ノ一部分ヲ毀損セラル、ノデアル、日本ノ勢力範圍ノ一部分ニマシタナラバ、何ガ故ニ一月十八日ノ間主張シタ所ノ重大ナル問題ヲ、最後ノ通牒ヲ發スル時ニ當シテ、故ナクシテヲ拠棄致シタノハ何ノ爲デアル、後迴シニシタノハ何ノ爲デアル、之ヲ私ハ伺ヒタイ、既ニ最後通牒ヲ發スル決心ヲ致シマシタ以上ハ、吾ノ見ル所ヲ以テスレバ、必ズヤ彼支那政府ハ大局ニ顧ミ我政府ノ希望ヲ容レタデアラウト思フノデアル、又新聞紙等ノ傳フルニ至リ、海陸ノ兩軍が支那大陸ヲ壓スルニ至リマシタナラバトウデゴザイセウカ、彼レ支那ノハ如何ナル次第アルカ、是亦何等外間ヨリ製肘ヲセラレタノデアルカ、或ハ又當局者他ニ顧ミ考フル所アッテ然ルノデアルカ、其點ヲ私ハ伺ヒタイ其次ハ即チ膠州灣ノコトデアル、私ハ膠州灣ノコトニ就テハ殊ニ古クヨリ熱心ナルモノデアリマス、既ニ獨逸ガ此膠州灣ヲ占領致シマスル時分ニモ、之ニ對シテ自分ノ意見ヲ公ニ致シタコトガアル、其後一昨年アタリモ獨逸ノ經營ヲ調查致シマシテ、自ラ其經營ノ狀況ヲ述ベテ世人ノ注意ヲ促シタコトモアル、膠州灣ノ事ニ付テハ殊ニ私ハ熱心ナル研究者ノ一人デアリマス、幸ニシテ歐羅巴戰亂ヲ機會ト致シテ、此膠州灣ヨリシテ獨逸ノ勢力ヲ驅逐致シマシタコトハ、實ニ我レ人共ニ是ハ欣喜ニ堪ヘザルコロノ事柄デアル、而シテ之ヲ驅逐致シマシタル以上ハ、我國代テ之ヲ占領スベキコトハ當然ノコトデアル、私ハ徒ニ他國ノ領土ヲ占領シテアル、私ハ膠州灣ノ事ニ付テハ殊ニ私ハ熱心ナル研究者ノ一人デアリマス、必要ナリト信ズルトコロノ確乎不拔ノ理由ガアルカラシテ私ハ之ヲ主張スルノデアリマス、諸君、先刻外務大臣ハ膠州灣ヲ返還スルコトニ付テ、支那ノ領土ヲ保全スルガ爲メデアルト云フヤウナコトヲ言ハレタ、是ハ如何ナル意味デアルカ、私甚ダ了解ニ苦シム、所謂支那ノ領土ヲ保全スルト云フコトハ、唯支那ノ土地ニ手ヲ著ケヌト云フコトニ外務大臣ハ解釋サレテ居ルノコトアリカ、私ハ決シテ左様ニハ見ナリ、支那ノ領土ヲ保全スルノハ支那ノ爲メニ支那ノ領土ヲ保全スルノテハナイ、東洋ノ平和ノ爲メニ支那ノ領土ヲ保全スルニアルコトハ論ヲ俟タストコロノ事柄デアル（拍手起立）我國が東洋ノ盟主トシテ、先進國トシテ、此大陸ニ儀シテ大ノ局ヲ支持シ東洋全局ノ平和ヲ一身ニ荷フテ行カウト思ヒマスルニハ、大陸ニ於テ膠州灣ノ如キ要害ノ地ヲ占メ、之ニ依テ以テ支那ヲシテ我儘ヲサセナリ、支那ヲシテ自カラ領土保全ノ主義ヲ破ルが如キ行ヒヲサセナリ、平時ニアッテモ戰時ニアッテモ、ソレダケノ根據ヲ有チ、ソレダケノ位置ヲ占メテ、而シテ後ニ初メテ大日本帝國ガ東洋ノ平和ヲ保ツコロノ責任ヲ盡スコトガ出來ルノテアル（拍手起立）徒ニ支那ノ領土ニ手ヲ著ケナイカラシテ、ソレテ以テ支那ノ領土保全主義が完全ニ行ハレタ、東洋ノ平和ハ保タレタモノデアルト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ膠州灣ハ如何ナル土地デアルカ、既ニ獨逸ハ之ニ依テ以テ政治上及ヒ經濟上ノ勢力ヲ、十數年ノ間ニ於テ彼レノ如ク支那ニ向テ増進セシメテ居ル、洵ニ要害ノ地アル、支那ノ中腹ヲ制シテ、揚子江ト黄河ノ中央ニ向テ我勢力ヲ展バスニ付テハ最モ必要ナル所デアル、平生ニ於テモ勿論デアルガ、一朝事有ル時ニ當リマシタナラバ、最モ必要ナル所デアッテ、之ヲ我國ガ占領シテ初メテ平和維持ノ責任ヲ盡スコトガ出來ル、支那ノ領土保全ヲ實行スルコトが出來ル

然ルニ唯此土地ニ手ヲ著ケナケレバ、領土保全ノ主義が實行セラル、が如クニ御考
ヘニナルノハ何タルコトデアルカ、果シテ本心ヨリシテ斯ノ如ク言ハル、ノデアルカ、私ハ
國運ヲ賭シテ初メテ清國ニ對シテ大戰爭ヲ致シ其結果トシテ遼東ヲ取リ、此遼東
ハ三國干涉ノ爲メニ涙ヲ呑シア清國ニ還付モ張本タルトコロノ獨逸、此獨逸ガニ國干涉後間モナク宣教師ノ殺害ヲ口實トシ此遼東還付ノ報酬ノ
意味ヲ以テ占領シタルトコロノ膠州灣アル、我國民ノ眼ヨリ觀マスレバ、或意味ニ於
テ日清戰爭ニ於テ遼東ヲ還付サセラレタ此恨ヲ酬ユルト云フ意味モアルテゴザリマセ
ウ、此遼東ノ代リト云フ意味モアル、唯何等因縁歴史ノ無キ土地ヲ占領シタル
ノトハ少シク其事情ヲ異ニ致シテ居ルノデアル（拍手起ル）斯ノ如キ事モ國民ノ精神上
ニ及ボストコロノ影響ヨリ考ヘマスレバ、決シテ之ヲ等閑ニ付スルコトハ出來ナイト
私ハ考ヘテ居ル（ヒヤ／＼拍手起ル）況ヤ我が同胞千五百人ノ血ヲ流シ、其碧血未
ダ腥ク膠州灣ノ草ヲ染メテ其色未ダ黒クナラヌトコロノ今日ニ於テ、何ヲ苦シニ倉皇トシ
テ之ヲ清國ニ還附スルノデアルカ（拍手起ル）斯ノ如クニシテ我が大和民族ハ大陸ニ向ッ
テ膨脹スルコトが出來マスカ、大帝國建設ノ思想ニ對シテ少シモ影響ヲ及ボサナイト云
フコトヲ保證スルコトが出來マスカ、是ハ單ニ政治上若クハ經濟上ノ問題ノミデハナイ、
國民ノ精神上ニ及ボストコロノ影響ト云フモノモ、私ハ頗ル大キイモノデアルト考ヘル（拍
手起ル）然ルニ諸君、此膠州灣ニ就テ當局者ハ如何ナルコトヲ言ハレタカ、諸君モ御記
憶デゴザリマセウ、昨年ノ議會ニ於テ膠州灣ハ是が還附ニ就テ何等ノ拘束ヲ受ケテ居ラ
ス、何等契約ヲ致シテ居ラス、全ク自由デアルカ、斯様ニ言ハレタ、全ク自由デアルナラバ
何ヲ苦シニ此日亥交渉二十一箇條ノ談判フルニ方シテ、斯ノ如キモノヲ提供セテモ最
後ノ決心マテスルトコロノ當局者デアリマシタナラバ、膠州灣マデ出サズトモ此外交ノ手
腕ニ依テ、殊ニ外交家トシテ第一流ノ加藤外務大臣其局ニ當リ、斯ル大犠牲ヲ排ハ
ヌトモ此最後通牒ニ示シタルガ如キトコロノ要求ノ箇條ヲ得ルコトハ、私ハ決シテ難クナ
カッタデアラウト思フ（拍手起ル）此事ニ付キマシテハ、先刻初メテ外務大臣ハ此壇上ニ
於テ半バ事實ヲ自白セラレテ居ル、曰ク膠州灣還附ニ就テハ廟議曩ニ既ニ決定セリ、
斯様ニ言ハレタ、何時決定致シタノデアルカ私ハ伺ヒタク、恐ラクハ日獨開戦ノ當初ニ
於テ決定セラレテ居ツタシニハナイカ（拍手起ル）果シテ然ラバ第三十五議會ニ於テ何が
故ニ膠州灣還附ニ就テ更ニ一層明確ナル答辯ヲセラレナカッタノデアルカ、如何ニモ膠州
灣ハ返還スルモノデナイカノ如キ顏色ヲシテ、吾ニヲ始メ國民ニ向クテ安心ラセシメ、而シテ
突然トシテ最後通牒ヲ發スル時ニ至シテ、還附ノ聲明ヲシテ之ヲ發表スルト云フコトニ
至シテハ、國民ヲ欺瞞シタルモノデアルト云フテモ私ハ過言アナカラウト思フ（拍手起ル）若
シモ曩ニ廟議既ニ返還ニ決定シタト云ノナラバ、何が故ニ是が返還ヲ可トスルニ至ツタノ
デアルカ、其理由ヲ伺ヒタク、單ニ大局ノ爲メニ之ヲ返スト云フコトデハ分ラナイ、斯ノ如
キ大ナル土地ヲ如何ナル理由ニ於テ返シタカ、ソレラ同ヒタク「床次君ニ聞キ給へ」下
呼フ者アリ）聞クトヨリ依レバ海陸兩相ノ如キモ亦此膠州灣ハ或ハ必要デナイカノ如
キ意見ヲ吐イクト云フコトヲ新聞其他ニ於テ承フタ、果シテ然ルヤ否ヤ、果シテ然ラバ此
國ニ於テ有スルト有セザルト非常ナ相違デアル、勿論軍事當局者トシテハ是が占領ヲ希
望スルトヨソ承シテ居ル、然ルニ一部ノ新聞紙ノ傳フルトコロニ據レバ、是が必要ナシト

云フガ如キコトヲ言シテ居ル、何ノタメニ必要ナシト云フコトヲ言フカ、其理由ノ根據ヲ私
ハ伺ヒタイ（床次君ニ聽キ給ヘ）ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 静肅二 静肅二……

○小川平吉君 又モウ一ツ此結果ニ付テ伺ヒタイ、外務大臣ハ此日支交渉ハ日支兩國ノ今日マテノ懸案ヲ解決スルコトガ一ノ目的デアルト言ハレタ、而シテ此懸案ヲ解諸君モ御承知テゴザイマセウ、彼ノ南昌ノ鐵道敷設權ノ如キ實ニ懸案デアル、久シキ懸案デアル、政府自ラ既ニ標題ヲ命シテ懸案ノ解決其他ニ關スル件ト云フ題ガ茲ニ書テアル、而シテ此懸案第五項其物ハ全部後回シニシテアル、是デモ懸案が解決サレタモノナルト云フコトが言ハレマスカ、蒙古ノ如キハドウデアルカ、蒙古ハドウシタノデアルカ、蒙古ニ付テ讓歩サレタ事柄ハ悉ク懸案トシテ居ルニ付テハナイカ、是デモ懸案が解決サレテ居ルト云フコトガ出來ルノデアルカ、若シ又外務大臣ニ於テ解決セラレタリト言ハレマスナラバ、此蒙古ノ問題ニ付テ、若クハ此第五項ノ鐵道ノコト、福建省ニ於ケル鑛山、若クハ鐵道ノコト、此等ノ點ニ付テハ最早將來進ンテ是が解決ヲ希望スルト云フ御考ハ無イノデアルカ、全然放棄スルト云フ御考デアルナラバ、成程解決シテシマッタ云フコトハ出來ルカモ知レナイ、若シ今後はニ向シテ更ニ交渉ヲ累ネ、更ニ我ノ希望ヲ達スルコトヲ極ラルト云フコトデアルナラバ、懸案ハ決シテ解決シタリト稱スルコトハ出來ナリハアリマセヌカ、之ヲ私ハ伺ヒタ、最後ニ此支那ニ今日起テ居ルトヨロノ所謂排日思想、ニ付テ先刻外務大臣ハ餘り日本排斥ノ思想が瀕薄シテ居ラヌカノ如ク言ハレタ、ソレハ何カ事實ヲ御間違ヒテアラウト思ヒマス、何人ガ見テモ今日彼ノ支那ノ國民ガ我日本ニ對スル反感ト云フモノハ非常アモノデアル、現ニ漢口事件ノ如キハ此反感ニ基キ、或ハ獨逸人等が之ヲ煽動シタカラ知レヌガ、兎ニ角我日本ニ對スル反感ヲ利用シテ、而シテ彼ノ如キ暴動ヲ成熟シタ云フコトハ論ヲ俟タヌノデアル、而シテ彼ノ如キ排日思想ヲ醸成シタニ付テ、先刻外務大臣ノ答撃ヲ伺ヒマスルト、是ハ何カ日本ガ支那ニ對シテ重キ要求ヲシタカラ、ソレニ付テ彼ガ日本ニ反對ノ感ジヲ起シタモノデアルカノノ要求ヲ提出致シタガタメデハナイ、我談判ノ方法其宜シキヲ失シ、其提案ノ趣意が頗如ク言ハレタ、ソレヲ伺ヒタノデアル、是ハ或多少斯ノ如キコトが原因ニナラニ居ルノ明瞭ヲ缺イテ居ルカラテアル、或ハ此提案ヲ分裂致シ、或ハ此提案ノ一部ノ撤回ヲ致デゴザイマセウ、ケレドモ決シテ是ハ原因ノ全部デハナイ、一小部分デアルト私ハ考ヘル、抑、今日彼ノ如ク支那人ノ反感ヲ招イタル所以ハ、單ニ我が彼ニ向シテ過當ナルトヨロノ要求ヲ提出致シタガタメデハナイ、我談判ノ方法其宜シキヲ失シ、其提案ノ趣意が頗ル明瞭ヲ缺イテ居ルカラテアル、或ハ此提案ヲ分裂致シ、或ハ此提案ノ一部ノ撤回ヲ致シ、或ハ兵隊ヲ出シテ彼ヲ威嚇シタ、或ハ外國ノ干涉ヲ受ケテ忽チ頭ヲ引込マストカ、或ハ又第五項ノ如キ最モ重大ナルモノヲ最後通牒ヲ發スル間際ニ到シテ之ヲ引込マセ其誠意ノ貫セザルコトニ向シテ彼ハ即チ最モ輕侮ノ念ヲ抱イテ居ルニテアル、或ハ外ル、斯様ナ誠意ナキ方法ヲ以テ彼ニ對スルガ故ニ、彼ハ我ニ對シテ即チ憤ルニテアル、彼ハ我ニ對シテ即チ輕侮ノ念ヲ生ズルニテアル、諸君、少シク支那人ノコトヲ研究シテ見給へ、彼等ハ此ノ日本ノ要求ノ不當ナルヲ想フルヨリモ、日本ノ行動ノ前後不揃、即チ之ニ向シテ輕蔑ノ念ヲ生ジテ居ル、是が即チ排日思想ノ最も重大ナル原因デアル、之ニ向シテ當局者タルモノハ宜シク自ラ斯

ノ如キ反感ヲ挑發スルニ至ツタ責任ヲ考へ、善後ノ處分ニ付テハ十分ナル注意、十分ナル手段方法ヲ悉サナケレバナラスト思フ、之ニ對シテ果シテ如何ナル御考ガアルカ、之ヨリ私ハ最後ニ伺ヒタインデアリマス

○福井縣(葛田三良有) 九前外孫一目
〔朴務大臣男爵加藤高明君登臨

○外務大臣（男爵加藤高明君） 唯今小川サンヨリ質問ト稱シテ御述ベニナリマシタアリマスカラ、其廉ニ對シテ相當ナル御答ヲ致シマス、第一ニ小川君ハ政府當局者ハ支那ト談判ヲナスニ當ツテ、誠意ヲ以テ之ニ從事シタルヤ否ヤ、是ハ答辯ヲ要サヌダラウト思フ、當局者ハ十分ナ誠意ヲ以テ之ニ當ツコトハ申スマテモナイコトデアル、ソレカラ其次キハ諸君ノ見ルトコロニ任カセルヨリ仕方ガナイ、當局者ハ誠意ヲ以テシタカ不誠意ヲ以テシタカト云フ質問ハナカラウト思フ、ソレカラ其次ハ談判方法宜シキヲ得タルヤ否ヤ、是亦前ト同様、無論談判ハ宜シキヲ得タト當局者ハ信シテ居ルノデアル、ソレカラ其次ニ御述ベニナシタ交渉開始、其時機宜シキヲ得タルヤ否ヤ、是ハ無論時機宜シキヲ得タト信ジテ居ル、但シソレニ付テ小川君ハ一ノ御意見ヲ述ベニナシタ、是ハ私ハ御同意ノ出來ナム意見デアル、即チ青島ヲ攻ムルニ當ツテ、日本カラ派遣セラレタル軍隊ガ一部撤退ヲ始ム前ニ、ナゼ談判開始ヲシナカッタカト云フ御尋、私ハ支那ト此談判ヲスルニ當ツテ、其時ニ山東ニ居ツタ如キ大兵ヲ擁シテ談判ヲスル必要ハナイト信ジタノアリマス、而已ナラズ一月十八日ニ於ア突然談判ヲ始メタト云フ御話テアリマシタガ、召還モ致シ、其意見ヲモ參照シテ要求案ヲ始メテ作り出シタモノニアリマス、之が爲メニ相當ノ時日ヲ要スルト云フコトハ、苟モ事務ノ經験ノアル御方ハ殘ラズ御分リニナルダラマス（如何ナル準備）ト呼フ者アリ）如何ナル準備ト云フコトハアナク方ノ經験ノ無イ御方ニハ分ラヌデセウ、十分ニ要求事項ニ付テモ材料ヲ具ヘ、北京ノ使臣ヲ之が爲メニアル、日置公使ハ歸ツテ之ヲ支那文ニ翻譯ヲ致シ、而シテ丁度先刻小川君ノ御述ニナシタ支那ノ舊曆ノ正月——今ハ陽曆ニ據ツテ居ルカラ同シテアル——休暇ガ付タノデアル、ソレ故ニ休暇ノ濟ムヤ否ヤ一月十八日ヲ以テ大總統ニ會見ヲ求メタ、必要ナル準備必要ナル理由ノ下ニ丁度其時ニナシタ譯テアルノテ、徒ラニ遷延シタ次第モ何デモナインアリマスガ、小川君ガ風説トシテ御聞込ニナシタ、ソレハ事實全然トテアリマスガ、最後通牒ノコトニ關シテ縷々御申述ニナリマシタガ、支那ノ各地ニ居留スル所ノ我同胞臣民ニ引揚ヲ命ジタ、是ハ再三既ニ先刻辯明シタ通り、其答ヲ繰返ス必要ハ無イガ、命シタコトハアリマセヌ、第五項ハ後回シ——後日ノ商議ニ讓ツタ易イヤウデアリマスガ、餘リ風説ニ御迷ヒニナラヌコトヲ希望致シマス（拍手起ル）ソレハ歐洲列國ニ對シテ出兵ハ單ニ交替ニ過キズ、隨テ此兵隊ヲ如何ナル場合ガアツテモ戰爭ノ爲メニハ使ハヌト云フ證言ヲ與ヘタト云フ風説ヲ御聞込ニナシタ、ソレハ事實全然無根ノ事デアリマス、最後通牒ノコトニ關シテ縷々御申述ニナリマシタガ、支那ノ各地ニ居留スル所ノ我同胞臣民ニ引揚ヲ命ジタ、是ハ再三既ニ先刻辯明シタ通り、其答ヲ

受ケタ云々、元老ハ陛下ノ命ニ依テ、國家ノ大事ニ與フテ意見ヲ表白セラル、コトノ慣例ノアルコトハ、私否定致シマセヌ、隨テ此度ノ最後通牒ヲ決スルニ方シテモ、元老諸公モ交々席ニ於テ評議ヲ致シタコトモアルコト否定シナリ、併ナガラ其結果ニ至ツテ何等掣引ヲ受ケタコトモ無ケレバ、結果ニ至ツテハ善惡トモ政府ニ於テ全然責任ヲ負じマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタリ、最後通牒交付ノ前ニ彼ヨリ讓歩云々ナコトヲ申出テハ是ハ成程新聞ニ出テ居リマシタ、事實些カ似寄シタコトガアル、最後通牒ヲ提出シタノハ本月七日午後三時其前日六日ノ夜ニ至ツテ支那ノ當該官吏一人が我公使館ニ訪問セラレテ云々ナ話ガアリマシタ、成程第五項ノ中ノ或事ハ何カ日本ノ言ひ分ヲ聽ク語氣ガアリマシタ、而シテ第五ノ中ノ蒙古ノコト、其他政府ニ於テハ最モ重要ノ部分ト考ヘテ居ル事柄ニ付アハ、我政府ノ要求シタ如キ讓歩ヲ爲シテ居ラヌ、要スルニ取留メタ話シハ無カツタノデアル、既ニ其時ニ於テ日置公使ハ政府ヨリ最後通牒ヲ支那政府ニ提出スペシト云フ電訓ヲ受ケタ時デアル、最早商議ヲ許サヌ、最後通牒ヲ出サズシテモ尙政府ノ二十六日ニ差出シタモノヲ其儘聽イタノアラウノニト云フコトガ新聞紙ニアレヤウデアリマス、是ハ全ク想像ニ過ギヌ、六日ノ晩ニ支那ノ外務次官ガ帝國ノ公使館ニ見エタキノ話シハ、右ノ如キ詰シデアリマシタ、漢治萍ノ關係ニ付テ附近ノ鑛山採掘權ヲ求メルト云フ要求ヲ初メ日本ガ爲シタ、之ヲ讓ツタノハ如何ナル理由ニ基クカト云フコト、是ハ支那政府ニ於テドウシテモ同意ヲ致シマセヌデアリマシタ、故ニ互讓ノ精神ニ依テ漢治萍公司ニ關スル我國ノ利益ノ開ケル大目的ヲ達シタ以上ハ、是モ其一部トモ申スベキデアリマスケレドモ、謂ハシ先づ從タル目的デアリマスカラ、妥協ノ精神ヲ以テ棄テ譯テ、之が爲ミニ英國ヨリ何等申出ヲ受ケタコトモ無ケレバ、況シヤ抗議ナドハ無論受ケナイ、此點ニ關シテ英國政府ト意見ノ交換ヲ爲シタコトハ絶對ニアリマセヌ、南昌ヲ中心トスル鐵道云々、是ハ三線ニ付アハ支那政府トハ先年來、懸案ニナツテ居ル問題アリマス、南昌潮洲ハ此度始メテ申出タノデアリマス、此地方ニ於テハ英國ハ鐵道若干ノ權利ヲ英國ノ資本家が得テ居ルト云フニ付テ、英國政府ハ我政府ヘ是レヽノ鐵道ハ我國ノ臣民ニ於テ若干ニ付アノ權利ヲ得テ居ルが故ニ、アナタノ方テ請求ナサルニ付テハソレト衝突シナイヤウニ、氣ヲ付ケラレントヲ希望スルト云フ意味ノ通牒ヲ受ケタコトハアル、穩ガナル事務的ノ通牒デアル、抗議デモ何デモアリ思ノ疏通ヲ計ラナケレバナラヌコトデアリマスカラ、支那ノ政府ニ向ツテ申シタノハ、若シ支那政府ノ我ガ希望ヲ容レザル理由ガ、既ニ同一ノ權利ヲ他國ニ與ヘタ爲ミニ爲シ能ハヌト云フコトアレバ、其關係ノ國トハ日本ニ於テ交渉ヲスルアラウ、若シ其交渉好結果ヲ生ジタ場合ニ於テハ、支那政府ハ同意シテ貴ヒタイ、斯ウ云フコトニ途中カラ變ヘタシヌアル、英國ニ於テハ已レノ國民ノ權利ヲ害サレナイヤウニ相當ノ注意ヲサシテ、決シテ故障ヲ申込ンダト云フ譯テモナシ、支那政府ニ於テモ右等ノ精神ニ依テ此通牒ヲ爲シテガ、是モ最初日本カラ提出シタ形ニ於テハ、支那政府ノ應諾ヲ受ケルコトが出來マセヌ、結局彼ニ於テハ——而シテ此要求ヲ何故ニ日本ガ爲シタカ、最初此要求ヲ爲シ

タ所以ハ世間ニモ今日ハ當然ノ事ナリト仰シヤルケレドモ、斯ウ云タコトニ付テ、世間ノ

何人カラモ福建ニ付テハ斯ウシタ事ヲシロト云フ御注文ヲ受ケタコトハナイノテアリマス（小川君）ノウク拙者が既ニ言ウテ居ルト呼フ一向ソンナ事ハアリマセヌ、アナタノ考ハ支那ヲ保護國ニスルト云フ事ハ屢々承ハッタノアリマスガ、其他ノ事ハ承ハラヌノ

タル、此要求ヲ爲シタ所ハ臺灣ノ防備ヲ侵サレナイ爲ニ、對岸ノ福建ニ於テ外國ノ勢力ヲ樹立セシメナイト云フノ目的アル、初カラ其目的ヲ以テ請求シタノアル、他國ノ資本ヲ福建省ニ入レシメナイヤウニスルト云フノが目的アル、鐵道ノ敷設モ甚ダ困難テア

鑛山ノ調査シタコトモナシ、事實鑛山モ澤山ナイヤウデアル、鐵道ノ敷設モ甚ダ困難テアル、困難ト云フヨリ殆ド出來ナイ部分が多イノアル、ケレドモ尙調査シタナラバ、鐵道ノ敷設スル所ガアルカモ知レナシ、鑛山採掘ガアルカモ知レヌト云フ爲メニ、外國ノ資

本港灣ノ設備ヨリ然リ、福建ニ入レバ其勢力ガ附伊テ一葦帶水ヲ隔ツタ臺灣ノ對岸ニ於テ、他國ノ勢力ガ樹立サレ、日本ノ爲メニ甚ダ憂フベキコトアル、斯ウ云フ精神カラ之ヲ請求シタノアル——請求デハナシ希望ヲ述ベタノアル、トコロが談判ノ

進行ニ連レテ支那ノ代表者ハ此形デハドウシテモ支那ハ應諾ヲ爲シ難イ、既ニ満洲ノハ其施設物其土地ヲ抵當ト爲シテ、自ラ權力が附ク譯ニ行キマセヌ、惡カツ優先權ヲ與ヘル讓歩ハ爲シ難イ、併ナガラ斯ウ云フコトハ約束致サウ、福建ノ沿岸ニ於

テ外國ニ軍事的根據地ヲ設ケシメナイ軍事的設備ヲ爲スコトノ特權ヲ、何處ノ國ニモ與ヘナシ、又支那自ラ之ハ爲サント欲スル時ニモ外國カラハ金ヲ借りナシ、金ヲ貸シタ國那自ラ其設備ヲ爲ス事モ致サナイト云フケノ約束シテ、ソレデ日本ガ目的ヲ達スルデ

ハナイカ、至極尤モナ申方デアリマスカラ是ニ同意ヲ致シタノアル、膠州灣邊附ニ付テハ本日既ニ屢々申述ヘタノデ、再び繰返スノ必要ヲ認メマセヌ、ソレ以上ノ事ハ意見ノ相違デアシテ御質問ト云フコトニ私ハ認メナインテアリマス、然ニ聞拾ニナラヌコトガ一二

アツタノデ、小川君ハ支那ノ保全ヲ圖ルノニハ、日本自ラ支那ノ土地ヲ占領シナケレバナラスト云フ御意見ノヤウニ伺ヒマシタ（小川君「ノウク誤解タク」ト呼フ）私ハサウ承ハッタ、膠州灣ヲ占領シナケレバ支那ノ保全ヲ完ウスルコトハ出來ナイト云フ御説ニ伺ッタ、果シテ然ラバ之ヲ論理的ニ申セバ支那ノ保全ト云フ主義ハ日本ニハ當猶ラヌ、日本自ラ何等勝手ナコトヲ致シテモ宜シイガ、日本以外ノ支那カラ見レバ外國ガ土地ヲ取ルコト土地ヲ占メルコトハ惡イ、斯ウ云フ御説デアル（望月圭介君「賣國奴」ト呼フ）何が賣國奴デアルカ、容易ナラヌ言葉デアル

○議長（島田三郎君）望月君、唯今ノ御言葉ハ如何ニモ聞捨テニナラヌコトデアリマスガ、ドウ云フ御考デアリマスカ
〔徵罰タク〕ト呼フ者アリ又發言ヲ求ム者多ク議場騒然
○議長（島田三郎君）暫ク——ドウ云フ御考デ御述ニナリマシタカ（「モウ六時二ナリマシタ」「時間ダク」「ト呼フ者アリ」免ニ角時間ヲ延べマス——併ナガラ唯今ノ言葉ハ如何ニモ聞捨テニナラヌ言葉デアリマスガ、ドウ云フ御考デ御發議ニナリマシタカ

○望月圭介君 激昂シタカラ申シタノデス
〔此時發言ヲ求ム者多シ〕
○議長（島田三郎君）暫ク——激昂シタカラ發議シタト云フテハ一向取消ニナリマスセバ
〔徵罰タク〕ト呼フ者アリ又發言ヲ求ム者多ク議場騒然
○議長（島田三郎君）暫ク——ソレナラバ改メテ徵罰ニ附スルト云フ發議ヲドナタカ爲サルナラ、議長ハ適當ナル處置ヲ致シマス
○小山松壽君 私ノ發議ハ三分ノ一以上ノ賛成ガアリマス、小山松壽ノ發議ニ對シテ御採決ヲ願ヒマス
○黑須龍太郎君 議長
○議長（島田三郎君）黒須龍太郎君
〔此時發言ヲ求ム者多シ〕
○議長（島田三郎君）黒須龍太郎君ニ許シマシタ、他ノ人ハ一切總キマセヌ
○黑須龍太郎君 唯今望月君ノ事ニ付テ紛擾ヲ起シマシタガ、誠ニ遺憾デアリマスケ

（徵罰ニ附スベシ）ト呼フ者アリ議場騒然

○議長（島田三郎君）勝手ナ發議ヲ止メマス——誠ニ惡カツタト云フ言葉ヲ附ケテ御取消シニナレバ、議長ハ徵罰委員ニ附スルコトハ暫ク猶豫致シマス

○小川平吉君 其事ニ付テ發議ヲシマス

○議長（島田三郎君）本人ノ答ヲ望ミマス

○小泉策太郎君 先程同志會ノ席ノ方テ小川君ノ演說中ニ非國民ト言ツタコトヲ、議長ノ耳ニ入リマセヌカ（「不公平」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）不公平ハアリマセヌ

○議長（島田三郎君）唯取消スト云フナラ聞キマセガ、激昂シタト云フ理由ヲ許シマセヌタカラ取消スト云フナラ聞キマセガ、激昂シタト云フ理由ヲ許シマセヌ

○小川平吉君 唯今ノ事ニ付テ……

○議長（島田三郎君）取消ニ付テノ良心ヲ御證明ナサイ、ソレデナケレバ今ノ徵罰委員ノ發議ヲ議長が繼續致シマス、ソレマテハ一切他ノ事ハ聞キマセヌ

○小川平吉君 唯今ノ事ニ付テ……

○議長（島田三郎君）外ノ事ト違ヒマスカラ議場ノ神聖ヲ保ツ爲メニ相當ナル制裁ヲ加エル必要ガアルト思ヒマス（「贊成タク」ト呼フ者アリ）

○小川平吉君 其點ニ付テ一言述ベタイ

○議長（島田三郎君）本人ノ說ヲ承ハタテ其後ニ承ハリマス

〔徵罰ハ先決問題ト呼フ者アリ〕

○議長（島田三郎君）少シ……

○議長（島田三郎君）唯今本人ハ激昂シタカラ左様ニ申シタト申サレマシタガ、激昂シタト云フ理由ヲ以テ徵罰ノ發議ヲ取消スコトハ許シマセヌ、適當ナル良心ノ發議ヲ求メマス

○望月圭介君 唯今ノ失言ヲ取消シマス

〔此時發言ヲ求ム者多シ〕

○議長（島田三郎君）ソレナラバ改メテ徵罰ニ附スルト云フ發議ヲドナタカ爲サルナラ、議長ハ適當ナル處置ヲ致シマス

○小山松壽君 前ノハ許シマセヌ發議デアリマスカラ仕方がアリマセヌ

○黑須龍太郎君 議長

レドモ、望月圭介君ヲ懲罰事犯トスルノ動議ヲ起シマス

〔拍手起ル「賛成タク」ト呼フ者アリ〕

○議長（島田三郎君）定規ノ賛成者ガアリマスレバ、直チニ決ヲ採リマス、黒須君ノ動議ニ則ニ依リマスルト、是ニハ討論モ何モ要リマセヌ、直チニ決ヲ採リマス、黒須君ノ動議ニ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

〔少數「多數」ノ聲起ル〕

○議長（島田三郎君）少數ト認メマス

〔「多數」「少數」ノ聲起ル〕

○議長（島田三郎君）少數ト認メマス 少數デアリマス

〔拍手起ル〕

○議長（島田三郎君）別ニ異議ガナイト考ヘマスカラ、宣誓通り致シマス、時間が過ギ

マシタカヲ暫ク休憩ヲ致シマス、休憩ノ後會ヲ續ケマス

午後六時二分休憩

午後七時七分開議

○議長（島田三郎君）休憩前ニ引續キノ會ヲ開キマス

○池田寅治郎君 私ハ議事ノ進行ニ付テ意見ヲ述べ、先刻ハ議場ニ於テ非常ノ

騒デアリマシタガ、私ハ其當時ノ光景ヲ熟ニ考ヘマスルニ、何が故ニ斯ノ如ク議事ノ進

行ヲ妨ゲタカト云フコトニ付キマシテハ頗ル遺憾ニ存ジマスルガ、小川平吉君ガ遼東還

附——膠州灣還附ノコトニ付テ私ノ同ヒマシタ所ニ依リマスレバ、膠州灣還附ハ領土

保全ノ意味アーハナイ、或十分ナル意味ヲ有タセズンバ之ガ爲メニ却テ禍根ヲ貽シハシナイ

カト云フ、意味ヲ申セレタヤウニ了解シテ居リマス、然ルニ之ニ對シテ外務大臣而モ最モ

外交ニ長ケテ居ラレルト云フ加藤外務大臣、殊更ニ之ヲ追窮ナサル、而シテ發言者小

川平吉君ハ誤解デゴザルト注意マデナシタニモ拘ラズ、ドコマデモ之ヲ追窮ナサルト云フコ

トハ私ハ甚ダ奇怪ニ堪ヘナイト思フ、元來斯ウ云フ國交上ノ大問題、而モ是ガ〔議

事ノ進行デハナイ〕默レ——ト呼フ者アリ此大問題ニ向クテ苟モ國ヲ取ルトカ取ラヌ

トカ云フヤウナ言論ハ、最モ私共互ニ注意ニ注意ヲ加ヘテ頗ル慎マケレバナラヌト思

フ、然ルニ之ニ向クテ殊更ニ何黨派ノ——日本人ハ何黨派テアラウガヤハリ日本人デア

ル、誰カ 陛下ノ臣子ニアラザランヤ、普天ノ下率土ノ濱、王土主臣ニアラザルハナシ、

國ヲ憂アルノ情ハ一ツアル、ソレニ或人間ハ支那ノ國ヲ侵略スルト云フガ如キ考ヲ持テ

テ居ルト云フガ如キコトヲ世界ニ公表シ、而モ之ニ裏書ラスルガ如キ言動ヲセラレタルガ

ハメニ、茲ニ誤解ヲ生ジテ議事ノ進行ヲ妨ゲマシタ、私ハ由來斯ウ云フ外交上ノ事柄ニ

關シテハ、國ヲ取ルトカ遣ルトカト云フヤウナ言葉ハ、平素外交ノ辭令ニ馴レテ居ル當

局者外務大臣ハ頗ル御注意ヲ願ヒタク、若シ此御注意ガアラナラバ、是ダクノ混雜騒

擾ハ來サスト思ヒマス、頗ル遺憾ニ存シマスカラ御注意ヲ願ヒマス

○議長（島田三郎君）暫ク、議事ノ進行ト云ヒマスルカラ議長ノ取計ヒマシタコトノ御不承ト思ウテ謹んで承テ居リマシタ、何ニ致セ私ハ全體ノ議員諸君ニ希望致シマス、全體ノ御方が自ラ戒メテ戴イタナラバ、混雜ガ一番省ケル本ト思ヒマス、現ニ望月

君が取消サレタカ取消サレナイカ不明デアラタガ爲ニ混雜シタノデ、議長ハ直ニ失言ヲ取

消サレタ承テ居ル（此時發言スル者多シ）暫ク承ツタノデアリマスカラ、失言トシテ認メ

ラレテ取消サレタナラバ議長ハ片付キタリト思フタ、ソレガ方々ニ徹底シナインデ混雜ヲ起シタノデ、唯今特別ニ發議トシテ承ツタダケテナクテ、混雜ノ原因ハ總テノ發議ガ徹底シ

此保護國云々ト云フが如キ言ヲ、當壇上ニ於テスルハ甚ダ怪シカラヌト思フ

○議長（島田三郎君）小川君、長イ御批評ナラバ演壇ニ御出下サイ

○小川平吉君 今日尙質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、多數諸君ノ質問ノ通告モゴザイ

マスカラ、私ハ何レ豫算委員會ニ於テ述ベヤウト思ヒマス（「ソレガ宜カラウ」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）長島君

〔長島隆二君登壇〕

〔拍手起ル〕

○長島隆二君 本員ハ外交上ノコトニ關シマシテ、重要ナル箇條ダケ質問致シマスカラ

御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯今マテノ質問應答ヲ見マスルノニ、甚ダ遺憾アゴザイマ

スガ、口舌ノ上ノ議論が頗ル多カツヤウデゴザイマス、此歐洲大戰亂ノ場合、世界列國

共ニ國際關係ニ付キマシテハ非常ナ困難トナリマシタ、其爲メニ内政上ニモ今マテナイヤ

ウナ狀況が現ハレテ居ル場合デアリマス、即チ伊太利ノ内閣ノ組織、佛蘭西ノ内閣ノ組

織、又最近ニ起ランシリツアル英吉利ノ内閣ノ變動ナド見マスト、容易ナラヌ場合アルト云フコトヲ列國が認メテ居ル際デアルト考ヘマス、我國ハ歐洲ヨリ離ル、コト甚ダ遠

イノテゴザイマス、又戰爭ニ入ヅテ居リマスガ、獨逸トノ距離カ遠イ爲ニ、如何ニモ今日ノ

場合歐洲列國が感知シ、アルガ如キ困難ハナイヤウニ考ヘル人モアルカモ知レマセヌガ、此

スカラ、ドワカ當局ニ於カセラレマシテモ其御考ヲ持チマシテ十分分ナ御説明アランコトヲ希

望致シマス、唯今マテノ質問應答中ニ、私ハ重要ナ點ニ付テ少シマダ不明ナ箇條が殘ツ

ニ大デアルカモ知レナインデアリマス、故ニ今日外交上ノ問題ニ付キマシテハ、吾ミガ國

民ヲ代表致シマシテ飽迄モ慎重ニ慎重ネテ研究シナケレバナラヌト思フノアゴザイマ

スカラ、ドワカ當局ニ於カセラレマシテモ其御考ヲ持チマシテ十分分ナ御説明アランコトヲ希

望致シマス、唯今マテノ質問應答中ニ、私ハ重要ナ點ニ付テ少シマダ不明ナ箇條が殘ツ

テ居ルヤウニ考ヘマスガ、其事ヲ申ス前ニ外務大臣ニ御考ヲ仰ギタク點ガ一ツゴザイマ

ス、外交上ノコトデゴザイマスカラ、言語御使用ノ上ニ於テ餘程御困難アラウト察シマ

ス、又外務大臣ノ御説明が其爲ニ甚ダ不十分テアリマシタコトハ、是ハ已ムヲ得ザルコ

トト考ヘマスガ、其外交上ノコトデアツテ、言語ヲ慎マレテ居リマスル外務大臣ノ先刻ノ

御説明中ニ、甚ダ私共遺憾ニ感ズル御言葉ガアツノデアル（「ヒヤ——ト呼フ者アリ」）

即チ外務大臣ハ外國ニ對スル交渉ニ於テハ、交譲ガアルノハ當然デアルト云フ御言

葉ガアツノデアリマス、併シ是ハ外務大臣ニ於カセラレマシテモ決シテ讓ル——始メカラ讓ル

ト云フ覺悟ヲ有ツテ御出デハナイ、即チ言葉ノ意味ガ日本ノ要求主張ニハ、何時テモ懸

直ガアルト云フ意味アーハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ外交上ノ交渉ニハ交譲

妥協ガアルノハ當リ前デアル、其言葉ヲ間違ツテ聞キマスルト、日本ノ要求ニハ當ニ懸直

ガアル、何時テモ交譲スルモノデアルト云フ誤解ヲ外國ガ起シタナラバ、事ハ由々敷大事

デアルノデアリマス（拍手起ル）ソレデアリマスカラ私ハ外務大臣ノ御説明ノ御取消ハ望ミ

マセヌガ、此言葉ノ意味ヲ斯ウ解釋致シタノデアル、ソレハ即チ此度ノ交渉ニ於テ日本

之ヲ讓ルベキ事情ガアル、或ハ讓ツタ方ガ宜イト云フ理由ヲ認メタカラ讓ツタノデアル、即チ已ムヲ得ズ是ハ讓ツタノデアルガ、讓ルコトが當然ノデハナイ、讓ツタコトニ付テノ責任ハ外務大臣が負ハル、其責任ハ外務大臣之三任ズト云フ意味ト私ハ解釋シタノデアル、敢テ言葉ノ修正ヲ望ムノテナイ（質問デハナイ）何ヲシテ居ルノダ「默ツテ聽ケ」「不規則ノ發言ハイカヌ」ト呼フ者アリ又今マデノ質問應答中ニ大軽ナ箇條ガ一ツゴザイマス、カツタガ注意ハアリマシタカドウカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、私共ノ承知致シテ居ル所デハ、英吉利ガ第五項ニ對シテ満足シテ居ラナカツタ、又亞米利加ハ非公式デハゴザイマスガ、第五項ノ要求中福建省ノ不割譲ノ點ダケハ異存ハナイガ、其外ニ付テハ不同意デアルト云フ意志ヲ發表シテ來タト云フコトヲ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス（其通り）ト呼フ者アリ其事實ヲ外務大臣ハ御否認爲サラヌヤウデアルガ、御認メナルカドウカト云フコトハ、是ハ此度ノ外交談判ノ成績ガ如何アリカト云フコトヲ、國民ガ判斷ヲスル上ニ於テ極メテ重大デアリマスルカラ、此點ニ付テ明ニ御説明アランコトヲ希望致スノデアリマス、而シテ此外國ノ注意ガアッタ云フコトハ、先刻略御認メノヤウデゴザイマスガ、其注意ハ如何ナル時機ニアリマシタカ、如何ナル形式ヲ以テ現ハレテ來マシタカ、而シテ其注意ニ對シテ日本が如何ナル程度ニ於テ之ヲ受ケタカ、其點ヲ御説明ヲ願ヒタノデアリマス、私共ノ知ツテ居ル所ニ依リマスルト、強硬ナル注意デハナカツタガ、極メテツレハ輕イ意味ノ注意アリマシタガ、日本ノ當局ハ極メテニシテ居ルコトヲ私ハ承知致シタノデアル、又膠州灣ノ還附ノコトニ付キマシテイロ／＼ナル質問ガアリ、ソレニ對シマシテ外務大臣ヨリ特ニ鄭重ナル、極メテ御親切ナル御説明ガゴザリマシタ、其御親切ナル御説明ニ對シテハ私ハ深ク感謝ヲ致シマスルノデゴザイマスルガ、尙ヤト云フ尙其御説明ニ於キマシテ少シク確メタイ點ガアルノデゴザイマス、外務大臣ハ此度ノ交渉如何ニ拘ハラズ、膠州灣ヲ還附スルト云フコトハ閣議ニ於テ内定セレタト言ハレマシタ、併ナガラ私ハ如何ナル必要ガアリマシテ歐洲ノ平和會議ニ臨ム前ニ於テ、我政府ハ我國民ノ血ヲ犠牲トシテ取ツタル膠州灣還附ト云フコトヲ、閣議ニ於テ内定スルノ必要ヲ感シタノデアリマスルカ（拍手起ル）還スコトノ可否ハ是ハ政策ノ問題デ別問題デゴザイマスルガ、膠州灣ヲ還附スルト云フコトハ閣議ニ於テ内定セレタト言ハレマシタ、併ナガラ私ハ如何ナル必要ガアリマシテ歐洲ノ平和會議ニ於キマシタナラバ、此問題ヲ討議シ、此ノ問題ニ對シテ合ニ於テ略定マツタモノト信ジテ居ルノデアリマス、勿論法律的ノ又理窟一遍ノ解釋カラ申シマシタナラバ、日本ニ膠州灣處分ノ自由ノ権利ハ残ツテ居ルト云フコトモ言ヘルデゴザイマセウガ、少ナクトモ日本政府ガ膠州灣ヲ占領シテ居ル必要ガ無イト云フコトハ、最後ノ通牒ニ於テ示シタノデアル、最後ノ通牒ニ於テ支那へ還附スル目的ヲ以テト云フ

コトヲ明カニ獨逸ニ對シテ言フタコトニ於テ、世界列國ニ對シテ日本ハ膠州灣ヲ支那ニ還附スルノ目的ヲ有シテ居ルト云フコトヲ明言致シタノデアリマス、ソレデゴザリマスルカラ、頻リニ外務大臣ハ膠州灣還附ニ對シテ自由ノ意思ヲ日本ハ殘シテ居ル、自由ニ處ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ外務大臣ハ強硬ナル注意ハ無カツタ——強硬ナル注意ハ無カツタ、斯ウ云フ御言葉デゴザイマシタが更ニ私ハ御尋ネシタノデアリマス、カツタガ注意ハアリマシタカドウカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリシヤ否ヤト云フコトテ居ル所デハ、英吉利ガ第五項ニ對シテ満足シテ居ラナカツタ、又亞米利加ハ非公式デハゴザイマスガ、第五項ノ要求中福建省ノ不割譲ノ點ダケハ異存ハナイガ、其外ニ付テハ不同意デアルト云フ意志ヲ發表シテ來タト云フコトヲ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス（其通り）ト呼フ者アリ其事實ヲ外務大臣ハ御否認爲サラヌヤウデアルガ、御認メナルカドウカト云フコトヲ、是ハ甚ダシキ失策アル、即チ獨逸ニ對スル最後ノ通牒ニ於テ、政府ハ非常ナル失策ヲ爲シテ居ルト云フ一ツノ例證デアルト私ハ信ズルノデゴザリマス、（拍手起ル）ソレデゴザリマスルカラ、此閣議ニ於テ膠州灣還附ノコトヲ決定サレマシタ時機ハ何時デゴザリマシタカ、又如何ナル必要ガアッテ其事ヲ決定サレタノデアルカ、明カル御説明ヲ願ヒタイノデアル、支那問題ニ就キマシテハ本年ノ一月三日至リマシテ突然問題が起ツタヤウデゴザリマスルガ、我國ノ識者ノ間ニ於キマシテハ、膠州灣攻撃ヲ基礎ト致シマシテ、更ニ進ンテ支那ヲ如何ニスベキヤヲ決シナケレバナラヌノコトヲ決定サレマシタコトハ、是ハ甚ダシキ失策アル、殊ニ膠州灣攻撃が始マリマシテ間モノナク支那問題ヲ如何ニスベキヤ、即チ膠州灣攻撃ハ日本が唯獨逸ニ對スル戰爭デハナイ、東洋ノ平和ヲ維持スル爲メ支那ノ領土保全ノ目的ヲ全クスルト云フコトニ就ア、膠州灣攻撃ヲ基準ト致シマシテ、更ニ進ンテ支那ヲ如何ニスベキヤヲ決シナケレバナラヌト云フコトガ、世間ノ大問題ニナタコトハ、私が申上ケルデモナイコトデアリマス、而シテ此事ガ内閣ニ於テ私ハ一ノ重大ナ問題トナツタト信ズル事實ヲ知ツテ居リマス、十月ノ終リ恰度十月二十三日頃カゴザイマシタガ、内田山ノ井上侯爵邸ニ於テ元老ノ會合（是ハ笑フコトデハゴザリマセヌ、政府ニ對シテ希望ガアル、其希望ヲ私共之ヲ聞キマスル）はハ笑フコトデハゴザリマセヌ、政府ニ對シテ希望ガアル、其希望ヲ私共之ヲ聞キマスルノニ、膠州灣攻撃ヲヤツテ居リマスルガ、支那問題が極メテ大切ナル、支那ニ對スルガゴザリマシテ、大隈總理モ其席へ出ラレタノデゴザリマシタカ、其際元老カラシテ如何ナル希望ガ政府ニ對シテアリマシタカ、外務大臣ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、（笑聲起ル）是ハ笑フコトデハゴザリマセヌ、政府ニ對シテ希望ガアル、其希望ヲ私共之ヲ聞キマスル目的アル、而シテ之ニ關聯致シテ多少ノ提案ガアッタヤウニ承知致シテ居ルノデアル、即チ此際一般ノ是ハ議論トナツタバカリテハゴザリマセヌ、國ノ將來ヲ憂ヒテ責任アル、即チ此際一般ノ是ハ議論トナツタバカリテハゴザリマセヌ、國ノ將來ヲ憂ヒテ責任アル當局ニ對シ、支那問題ニ對シテ適當ナル法案ヲ立ア、之ヲ實行スベシト云フコトガ希ナケレバナラヌ、而シテ其實行ニ著手シナケレバナラヌト云フコトガ元老ノ會合ヲ爲サレタ主タル目的アル、而シテ之ニ關聯致シテ多少ノ提案ガアッタヤウニ承知致シテ居ルノデアル、我政府ノ當局ニ於カセラレマシテハ如何ニ此事ヲ見タノデゴザリマシタカ、先刻加藤外務大臣ノ御説明ニ依リマスルト、十二月ニ至リマシテ初メテ支那ニ對スル要求ノコトヲ定メタト申サレタノデゴザリマスカラ、此時ニハ未ダ支那ニ對シテ何等意見ノマシテ、我政府ノ當局ニ於カセラレマシテハ如何ニ此事ヲ見タノデゴザリマシタカ、先刻膠州灣攻撃ハ主タル目的ハゴザリマセヌ、東洋ノ平和支那問題ノ解決ガ最モ重大ナル問題デアリマスカラ、既三十月ニ於テ支那ニ對スル政府ノ方針が定マツテ居ラナケレバナラヌト思ヒマスルガ、此元老會議ノ際ニ於テ政府ノ意思ハ未ダ定マツテ居ラナカツタヤウデアル、先刻ノ御説明ニ依リマスルト、十二月ニ至シテ是ガ初メテ定マツタヤウニ伺ハ

レルノテアリマスガ、ソレハ間違デハゴザリマセヌカ、私ハ外務大臣が此十月ノ會議ノ前後ニ於テ、政府ノ方針ハ定マツテ居シタト云フコトヲ御説明アルコトヲ希望スルノアリマスルが、定マツテ居シタノデゴザリマシタカ、其時ハ未ダ定マツテ居ラナカッタノデゴザリマスカ、是ハ極メテ重大ナル問題デゴザリマスカラ、明カナル御説明アランコトヲ希望致スノデアリマス、又先刻膠州灣ノ攻園軍ヲ引上ゲタコトニ就テ問題ガ出タノアリマス(「駄辯々々ト呼フ者アリ」)此事モ私ハ極メテ重大ナル問題デアルト思フ(「演説會場ト達フゾト呼フ者アリ」)膠州灣攻擊ノ軍隊ヲ引上ゲタ後ニ於テ、日支談判ヲ致スガ宜カッタカ、或ハ引上ケズシテ我大軍が支那大陸ニ在ル間に於テ、其勢ヲ以テ支那ニ對シテノ談判ヲ致スコトガ宜カッタノアルカ、是モ一ノ重大ナル問題デアルト思フ、此場合意見ヲ述ベル場合デハアリマセヌカラ敢テ是ハ申シマセヌカ、世間ノ多數ノ人ノ信シテ居ル所デハ、何故我政府ニ於テハ膠州灣攻擊ノ後ニ於テ直ニ日支ノ談判ヲ開カナカッタカ、若シアノ場合ニ於テ此談判ヲ開イタナラバ、更ニ再度ノ出兵ヲ爲ス必要ハナカッタノアル、又最後ノ通牒ノ如キ手段ヲ執ル必要ハナカッタノアルト云フコトヲ申シテ居ル論者甚ダ多イノデアルガ、此支那ノ談判ノ前ニ於テ外務大臣ハ撤兵ノ必要ヲ認メテ、支那談判ニ對シテ即チ決シテ大軍ヲ膠州灣ニ置ク必要ハ認メナカッタ申サレタノアリマスカ、此點ニ付キマシテ私ハ陸軍大臣ニ御説明ヲ願ヒタノデゴザイマス、私ノ承カテ居ルトコロニ據リマスルト、膠州灣攻擊軍ノ司令官神尾中將ハ彼ノ地ヨリシテ我軍隊引揚ハ甚ダ宜シクナイト云フコトヲ切論シタル意見書ヲ提出セラレタヤウニ私ハ承知シテ居ルノアリマス、是ハ果シテ事實デゴザイマスルカ、又事實デアリマスルナラバ、事實デアル、事實デナケレバ事實デナシ、其事ノ説明が出來ナイノデアリマスルナレバ、説明が出來ナイト云フダケズルノガ宜シイカト云フコトハ、外交ノ巧拙ヲ論ズル點ニ於テ極メテ重大ナル點デアリマス(「ソレハ濟ンダノアハナイカ」ト呼フ者アリ)外務當局が膠州灣ニ居ル軍隊ヲ擁し極メテ重大ナル点アル(「ノウ」「ト呼フ者アリ」)外務當局が膠州灣ニ居ル軍隊ヲ擁シテ支那ニ談判ヲスルガ宜イカ、軍隊ヲ一度引揚ゲテ談判ヲ始メテ、更ニ再度ノ出兵ヲレバ事實デナシ、其事ノ説明が出來ナイト云フダケズルノガ宜シイカト云フコトハ、外交ノ巧拙ヲ論ズル點ニ於テ極メテ重大ナル點デアリマス(「ソレハ濟ンダノアハナイカ」ト呼フ者アリ)濟シタノアリマスカ、マダ外務大臣ニ御説明ヲ願ヒタノ點ガゴザイマスガ(「マダアルノカ」ト呼フ者アリ)澤山アリマス(「ヤルベシャルベシ」ト呼フ者アリ)ソレハ一月十八日支那ニ對シテ要求ヲ提出致シヨリ極メテ遠慮サレタ御質問ガアッタ、即チ通告ノ箇條ニ於テ落シテ置イタカ全部ヲ通告シタカト、斯ウ云フ御質問ガゴザイマシタガ、私ハ更ニ此事ヲ敷衍シテ御尋ヲ申上ゲタノ通告ニ落シテ置イタ其眞意ハ如何デゴザイマス、尙ホ併シ其點ニ外務大臣ハ正確ナル御言葉ヲ御用ヒテアリマスカラ、正確ニ申シマスルト此通告ニ於テ第五項ヲ揭ゲザリヤ否ヤト云フコトノ御説明ヲ願ヒタイ、而シテ第五項ヲ落シテ置キマスレバ、是ハ先程ノ御説明ノ通り希望條件アル、希望デアルカラドウナカッテモ宜シト云フ御考デアッタカドウカラ同ヒタノデアル、若シ是ガ希望條件デアッテドウナカッテモ宜シト云フ御考デアッタカ、何故ニ四月ノ二十六日ノ再度ノ提案ノ場合ニ於キマシテ、日本ハ斷然讓ル能

ハザル簡潔ナリトシテ、此事ヲ外務大臣ハ主張サレタノアリマスルカ(拍手スル者アリ)私ノ解釋ニ依リマスルト此通告ニ於テ第五項ヲ落シマシタルコトガ、此度ノ談判ノ失敗ノ最大原因ヲ成シテ居ルト思フノアル、即チ通告ヲ受ケタル諸國ニ於テハ日本ハ第五項ニ付テ讓ルノ意思ガアルノアル、人之ヲ惡イ方カラ申シマスレバ、日本が此通告ヲ列國ニシナカッタカラシテ、日本ヲシテ此條項ハ讓ラシムルコトガ出來ルモノニアルト云フ――或方面カラ見マスルト是ハ日本ノ懸念デアル、或方カラ申シマスレバ日本ヲシテ之ヲ讓ラシムルコトが出來ル條項アルト云フコトヲ、列國ニ信ゼシムルニ至リマシタルコトガ、若シテ日支兩國ノ關係ヲ善クシ東亞ノ平和ヲ永遠ニ維持スル所以ト信シテ斯ノ如キ態度ニ即チ最後ニ至シテ第五項ヲ日本ガ讓ラケレバナラヌコトニナッタ原因ニアリマスカラ、若シ第五項ヲ落シ、而モ落シタコトが極メテ是ハ輕い意味ノ希望條件デアルト言ヒマスレバ、最後ノ場合ニ之ヲ讓ルニ至シタノハ當然ノ結果ニアリマシテ、是ハ果シテ支那ニ對シテ日支兩國ノ關係ヲ善クシ東亞ノ平和ヲ永遠ニ維持スル所以ト信シテ斯ノ如キ態度ニ出テタノアリマスカ、詳細ナル御説明アランコトヲ希望スルノアリマス、又此事ガ支那側ヲ疑惑セシメタル所以テアルト私ハ思フ、即チ支那ニ對シテ支那ニ對シテハ此事ヲ重要ナル簡條ノ如ク要求致シ、列國ニ對シ之ヲ通告シナカッタ、ソレデゴザイマスカラ日本ハ是ハ列國ニ隠シテヤルノアル、即チ其簡條ノ中ニハ英吉利ニ關係シタ事モ多イ亞米利加ニ關係シタ事モ極メテ多イ、ソレアルカラシテ日本ハ列國ニ之ヲ隠シテ支那ニ壓迫ヲ以テ迫マルノデハアルマイカト云フ誤解ヲ支那ニ生ジタノアゴザイマシテ、支那ガ最後マテ第五項ニ付テ強硬ナル態度ヲ執リマシタノハ、此誤解ニ出デ、又一六ニ於テハ列國ガ日本ヲシテ屈服セシムル最後ノ手段ニ供スルト云フコトデ、支那ガ強硬ニナカッタコト、考ヘルノアリマス、即チ此談判ノ最終ノ結果ハ、最初ニ於テ通告ヲ故意カ或ハ失意カ知レマセヌガ、落シタト云フコトニアルト私ハ考ヘルノアリマスカラ、此點ニ付テ通告ニ於テ之ヲ落シタ、落シタナラバ落シタ、其時ノ考如何デアッタカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタノアリマス(「モウ宜イ」分ラメヨ「ト呼フ者アリ」)又此點ニ付キマシテ英吉利ト亞米利加カラ質問ガアッタ云フコトヲ私ハ承知致シテ居リマス、即チ支那ニ對スル條件ノ中ニ是ハ掲ゲテアルガ、英吉利ニ對スル通告ニ無イ、如何ナル意味デアルカト云フコトヲ英吉利カラモ質問ヲ致シシタナラバ落シタ、其時ノ考如何デアッタカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタノアリマス(「モウ宜イ」分ラメヨ「ト呼フ者アリ」)又此點ニ付キマシテ英吉利ト亞米利加カラ質問ガアッタカ知リマセヌガ、質問ヲ致シタ云フコトヲ承知致シテ居リマス、即チ支那ニ對スル條件ノ中ニ是ハ掲ゲテアルガ、カラノ質問ハ如何ナル形式デ參ラタノアリマスカラ、又之ニ對シテ如何ナル説明ヲ我政府ガ與ヘタカト云フコトノ御説明ヲ願ヒタノアリ、何トナレバ其説明如何ニ依リマシテ、英吉利、亞米利加等が此問題ヲ如何ニ解釋スルカ、又此問題ニ付テ支那トノリイロ――御説明ガゴザイマシタ、其事ハ最早略、盡キタヤウデアルカラ申シマセヌガ、膠州灣ノ還附ノコト、是モ先程略、申シマシタカラ略シマス、最後ニ最後ノ通牒此事ニ付キマノデゴザイマス(「ヒヤ」「ト呼ヒ拍手者アリ」)出兵ノコトニ付キマシテ先刻小川君ヨリイロ――御説明ガゴザイマシタカラ、其事ハ最早略、盡キタヤウデアルカラ申シマセヌガ、膠州御尋ニ致シマル、本月ノ七日午後二時ニ最後ノ通牒ヲ北京ニ於テ支那ノ政府ニ交付致シタ所ガ、其前日ニ於テ支那ヨリシテ其前ニ日本ノ提案ニ對シテ應諾ヲ致シテ來タシテモ先刻カラ御質問ガアリマシタ略、分リマシタヤウテゴザイマスルガ、尙ホ明カ致ス爲ニハマダ分ラナイノデセウ(「同ジヤウナコトバカリ言ツタツ仕様ガナイ」ト呼フ者アリ)即チ

先刻ノ御説明デハ支那ノ或ル官吏が來テ承知スルヤウナコトヲ申シタト云フコトデゴザイマスガ、私ノ知リマスル所デハ是ハ風説デゴザイマセヌ、外務大臣ハ風説ヲ信シテハナラスト申シマシタガ、風説ニハ傳ハッテ居ラヌノデアリマスガ、私ノ知リ得タ所ニ依リマスト、支那政府ニ於テハ第二回ノ提案ニ對シテ應諾シテ來タ、而モ其應諾致シテ來タモノハ、我が政府が最後ノ通牒トシテ提出シタルモノニ比ベテ有利ナル條件デアツタ云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノアリマス、而シテ此事實ガ外務省ニ御分リニナリマシタノハ、最後ノ通牒ハ北京公使館ニ訓電ハ致シマシタガ未ダ支那政府ニ出シテ居ラヌ時アル、マサレカラ後ニ於テ此條件ノ變更ヲ致ス時刻ハ十分ニアヌ時デアル、然ルニ一
方ニ於テ英吉利ニ對シテ是後通牒ノ條件ヲ通告致シタル爲メ、同盟國ニ對シテ一旦通告致シタルモノアルカラ、縱シ支那政府ガソレ以上ノ條件ニ就テ應諾シテ來テモ、最早如何トモスベカラズト言ウテ、其儘最後ノ通告ヲ出シタト云フヤウニ私ハ承知致シテ居リマス、ソレハ先刻巧妙ナル御説明デゴザイマシタ、又外務大臣ノ御説明ヲ飽マテ信ズルノデアリマスガ、極メテ重大ナル點ニアリマシテ、此間北京公使館トノ往復ノ電報ヲ議會ニ提出シテ御説明アル信ジマスカラ、此問題ニ關スル北京公使館トノ往復ノ電報ヲ必ズアル信ジマスカラ、此ノ如キ態度ニ出ツル其事柄ハ、既ニ支那政府ハ容レテ、支那政府が承諾シタルハ更ニソレ以上ノ條件ニナシテ居ラタト云フ明アランコトヲ希望致スノアリマス、ナゼ此點ニ重キ位置クカト云フト、一國ガ決心ヲ致テ最後ノ通牒ヲナス、其事容レラズシテ、其實支那政府ニ屈服致シタルモノニ外ナヌノデアル、而シテ此ノ如キ場合、勿論先刻ノ御説明デハ蒙古ノ問題ガ多少異論が殘シテ居ツヤウデゴザイマセガ、大體ハ支那政府ハ我が第一回ノ提案ニ對シテ應諾ヲ致シテ來タ、此場合ニ於テ何ヨ苦シテ最後通牒ノ手段ニ出デタノデゴザイマスカ、實此場合ニ於テハ兩國ノ間ニ尙數日ノ交渉ヲ重ネタナラバ、條約ノ一致點ヲ見出スコトが出來タノデゴザイマセウニ、ナゼ此場合ニ最後ノ通牒ニ出デタノデアルカ、若シ今ノ如キ事實トシマスレバ、此通牒ハ支那ニ對スル最後ノ通牒ニアラズシテ、國民ノ目ヲ欺ク爲ニ、日本國ハ強硬ナル態度ヲ取テ國民ヲ欺クガ爲ニ事ヲ好ンデ爲シタ次第デアルト私ハ謂ハナケベナラス、併ナカラ是等ノ點ニ付キマシテモ、外務當局ノ責任アル辯明ヲ待テ後初メテ吾々國民ハ判斷致サナケレバナラヌノアリマスカラ、極メテ重大ナル箇ノアリマスガ、頻ニ外交ノ祕密々々ト云フコトヲ申サレマス、如何ニモ外交ノ祕密ハ大切デゴザイマスルガ、ドウ云フモノデゴザイマスカ、外交ノ祕密ハ存外保タレテ居ラヌ、殊ニ此度ノ談判ニ於キマシテハ支那ニ對スル日本ノ通牒、日本ノ要求、日本ノ談判ノ模様、又支那ガ之ニ對シテノ應答ノ工合、支那ノ提案、總テ是ガ明カニ世間ニ漏レテ居ルノアリマスガ、頻ニ外交ノ祕密々々ト云フコトヲ申サレマス、如何ニモ外交ノ祕密ハ大切デゴザイマスルガ、ドウ云フモノデゴザイマスカ、外交ノ祕密ハ存外保タレテ居ラヌ、殊ニ此度ノ談判ニ於キマシテハ支那ニ對スル日本ノ通牒、日本ノ要求、日本ノ談判ノ模様、又支那ガ之ニ對シテノ應答ノ工合、支那ノ提案、總テ是ガ明カニ世間ニ漏レテ居ルノアリマス、外交ノ祕密ノ名ノ下ニ隠レテ、徒ラニ世間ヘノ體裁ヲ繕ヒ、或ハ世間ノ

攻撃ヲ避ケルガ如キコトハ決シテ此場合採ルベキ態度デナイト信ズルノアリマス、甚ダ私ハ議場ニ馴レマセヌタメニ言葉ニ於テ行届カヌ點ガアルデアリマセウガ、大體ニ於テ私が質問致シタル觀念ハ、此外交談判ハ膠州灣攻撃ノ後ニ於テ直チスルガ適當デアツタノニ、其機會ヲ失シ、又其後談判ヲ開始スルニ當シテ列國ニ對スル通牒ガ誤ツテ居ル、最後ノ場合ニ於キマシテ支那ガ應諾シタル點以下ノモノヲ最後ノ通牒トナスト云フガ如キ、是ハ誤解カモ知レマセヌガ、其觀念ガ國民一般ノ間ニ傳ハテ居ルノアリマスカラ、ドウカ今申上ゲタ諸點ニ付テ詳細ナル御説明アランコトヲ希望シテ止マヌノアリマス

(外務大臣男爵加藤高明君登壇)

○外務大臣(男爵加藤高明君) 唯今長島君ヨリ縷々御述ニナリマシテ、第一ハ私ノ先刻申上ゲタ中ニ言葉ノ遣ヒ方が悪カツタト云フ御咎ニアリマスガ、互讓が必要ナリト云フコトヲ申上ダタ、苟モ帝國ニ於テ他國ニ要求フナス以上、其全部ノ貫徹ヲ期スルコトハ申ス迄モナインデアリマス、併ナカラ談判ハ命令ヲ以テ爲スベキモノデアリマセヌカラ、交渉ノ經過從テ實地ニ臨ミ交譲妥協スルコトナクバ、外交ノ談判ト云フコトハ、一方ノ原案通り一分一厘ノ變更ナク出來タト云フ先例ハ多クナイヤウニ思ヒマス、初メカラ讓ル精神ヲ以テ出タト云フコトデハナク、成ルベク讓ラズシテ全部ノ貫徹ヲ期スルノハ申ス迄モナイン、併ナカラ談判ノ實際ニ臨ミ交譲妥協交譲ノ精神ヲ以テシナケンバ、平和ノ解決ヲ期シ難キコトハ幾ド總テノ談判ニ伴フコトデアルト私ハ承知シテ居ル、外國ヨリ注意ヲ受ケタコトアリヤ、注意ト云フト何カコチラニ行届カヌ事ガアルカラ、他國カラ教ヘテ貰フタト云フヤウナ意味ニモ聞ヘマスガ、注意ト云フ字ニ非常ニ力ヲ入レテ度々御述ベニナリマシタガ、若シ右ノ如キ意味ナラバ、注意ト云フコトハ受ケタコトハアリマセヌ、併シ各國トノ間我同盟國トノ間ニモ意見ノ交換ヲナシタコトハアル、長島サンハ餘程世間ノ事情ニ御精通アリマシテ、聞ク所ニヨレハ内閣ニ於テハ斯ウ云フコトヲ決シタチヤナイカ、元老諸公ハ斯ウ云フ說ヲ有シテ居ラレタノナイカト云フヤウナ事柄ヲ、度々斷定的ニ御述ベニナリマシタガ、其中ニ私ノ知ラヌコトか澤山アルノデアル、帝國ヨリノ照會ニ關スルコト、是モアリマシタ、先刻申上ゲタ通り米國ニモ照會ノ次第モアリマシタ、多クハ我が要求竝ニ希望事項ニ付テ其意味ヲ問合セル種類ノコト、其之ニ對シテ我政府ハ適當ナルト御説明ヲ其與度ニ與ヘテ居リマス、膠州灣還付ノ事ニ關シテハ之ヲ還付スル事ヲ支那ニ向テ豫メ聲明スルノ理由ハ、先刻來縷々申述ベマシタカラ、是ハ最早繰返ス必要ハ無イカト思ヒマス、廟議ニ於テ其事ヲ決定シタ時期如何、是ハ御話申スコトハ容易イコトデアリマスガ、何モ諸君カラ御聞ニナル必要モナカラウト思ヒマス、サウ云フ意味テ發表シタ合ニ於テ對支外交ノ談判ヲ、一對支ノ交渉ヲ開始スベシト云フコトハ決定シタト云フト云フ説明デアル、但シ長島君ノ御話ノ中ニ、十月幾日トカニ内田山ノ井上侯爵ノ邸ニ於テ云タト云フコトヲ申サレマシタガ、是ハ本官ノ知ラザル所デアリマス、長島君が御承知ニナシテ居ルト云フ、頗ル元老諸公ニ御縁故ガアル故デアリマスガ、是ハ本大臣ハ其場彼ノ地ニ駐在シタ中ニシタ方ガ宜カツタデナシカト云フ御問ハ、先刻既ニ答辯致シマシタ、支那ニ對スル要求事項ヲ或ル國々ニ内示シタルヤ否ヤ、内示シタルスレバ要求條項希望條項、共ニ内示シタルヤ否ヤ、此事ニ付テモ先刻精シク答辯致シマシタ、英米若ク

ハ其孰レヨリカ第五項ノ事ニ關シテ質問ガアリタルヤ否ヤ、是ハ英國カラモ質問ガアリマシタガ、米國カラモ質問ガアリマシタ、前申述ベタ通リノ事ア、ソレカラ外交ノ機密ノ漏レタ云トコトニ付テモ、先刻私ノ見ル所ヲ申述ベタ通リテ繰返シマセヌ、唯一點答辯ヲ要スルト思フ點ハ、五月六日、即チ我が最後通牒ヲ拂ニ聲明スル前ニ於テ、支那政府ヨリ既ニ二十六日ニ我レヨリ提出シタル所ノ要求及ヒ希望事項ノ全部ヲ應諾シテ居シタ、然ニ最後通牒ヲ其事ヲ聞キナガラ提出シタノハ、徒ラニ强硬ト云フ名譽ヲ得ンタメニシタノデアラウ、是ハ穩カラヌ御尋ネテアル、吾ミ苟モ此大任ヲ拜シテ居以上バ、右ノ如キ事ヲ爲スベキ皆テアルヤ否ヤ、長島君ト雖モ亦此一點ノ演説ノ時ニ拍手ナスシタ方ニニ於テモ、吾ミ閣臣ガ右ノ如キ卑劣ナ舉動ニ出テクト云フコトハ御信ジニナラヌト信ズルノデアル（拍手起ル）此事ニ付テモ既ニ先刻モ申述ベマシタガ、五月六日ノ夜ニ是ハ實ハ本日私ガ此處ニ演説シタリ若クハ質問ニ答ヘル時ニハ、未ダ條約批准が濟シテ居ラナイカラ頗ル困難デアルト云フコトヲ先刻申シマシタ、其事ヲ御諒察ナク、止ム謂ハバ私ノ弱味ニ乘ジテ頻リニイロ／＼ナコトヲ御問合セニナルヤウデアリマスカラ、止ムヲ支那ノ内地ニ開設スルニ付テ、土地ノ所有、若クハ租借ヲ其關係者ニ許スト云フコトヲ希望スル事項ナルコトハ、先刻申述ヘタノデアリマス、其事項ハ既ニ談判ノ中ニ於テモモ宜イト自分ハ思フ、赤ヶ政府ノ議ヲ經タコトデナイ、學校病院——日本ノ學校病院ヲ支那ノ代表者ガ事實ニ於テ認メテモ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ言明シタノデアリマス、二十六日ニ我カラ修正ヲ差出ス時ニ當ツハ、支那當局ハ既ニ言明サレタコトデアリマシテ、其事ヲ記録ニ留メヤウデナイカ、斯ウ云フコトヲ要求シタ一箇條ガアル、其事柄ハ我ノ希望通リニ即チ主義ニ於テ、我が希望ノ趣旨ヲ認容スルト云フコトヲ支那ノ外交次長が言ハタコトヲ記録ニ載セルト云フコトヲ承諾シテモ自分ハ宜カラウト思フ、又南支鐵道ノ事ニ關シ、若シ日本が要求シテ居ル所ノ鐵道ガ、他國ニ向テ既ニ權利ヲ與ヘラレテ居ル鐵道ト衝突スルが故ニ、支那政府ニ於テ我が希望ヲ容レルコトガ出來ヌト云フコトデアレバ、其關係ノ國トハ日本ニ於テ相當ノ交渉ヲ試ミル、若シ幸ニ其國ト交渉が整ウタ場合ニ於テハ、支那政府ハ許スカ否ヤ、ソレカラ其事ヲ記録ニ載セテ貰ヒタ、若クハツレモ出來ヌ場合ニ於テハ、此日本が種々敷設權ノ要求希望ヲ表シテ所ノ云フコトデアレバ、其協議ノ結果ヲ得ルマデハ、日本ガ將ニ敷設權ノ事柄ヲ記録ニ留メテ置キタ、是モ五月一日ノ支那回答ニ依テ拒シタノデアル、五月六日ノ夜ニ留メルコトハ宜イデアラウ、其二點ヲ言ツタノデアル、此二點ハ共ニ曹汝霖君ノ自己ノ意見ニアラ、政府ノ議ヲ經タモノデナイ、而シテ我が政府ノ最重キヲ置イテ二十六日ノ修正案ニ於テ要求シタ所ノ、東部内蒙古ニ於テ我國人ト支那人ト合辦シテ農業ヲ經營スルコトヲ得ルト云フ要求ヲ、支那ハ拒シテ居ルノデアル、其事ハ到底應諾が出來ヌ、滿洲ノ土地ニ關スル民事ノ訴訟ニ就テハ、支那ノ裁判官ガ日本人ヲ審判シタイト云フ支那ノ案デアリマシタカラ、之ニ對シテハ民事訴訟ノ中土地ニ關スル分ニ限ツテハ、

支那ノ裁判官ノ審判スルコト同意スル、但シ我國ノ官吏モ之ニ立會テ共同審判ヲ爲リマシタガ、米國カラモ質問ガアリマシタ、前申述ベタ通リノ事ア、ソレカラ外交ノ機密ノ漏レタ云トコトニ付テモ、先刻私ノ見ル所ヲ申述ベタ通リテ繰返シマセヌ、唯一點答辯ヲ要スルト思フ點ハ、五月六日、即チ我が最後通牒ヲ拂ニ聲明スル前ニ於テ、支那政府ヨリ既ニ二十六日ニ我レヨリ提出シタル所ノ要求及ヒ希望事項ノ全部ヲ應諾シテ居シタ、然ニ最後通牒ヲ其事ヲ聞キナガラ提出シタノハ、徒ラニ强硬ト云フ名譽ヲ得ンタメニシタノデアラウ、是ハ穩カラヌ御尋ネテアル、吾ミ苟モ此大任ヲ拜シテ居以上バ、右ノ如キ事ヲ爲スベキ皆テアルヤ否ヤ、長島君ト雖モ亦此一點ノ演説ノ時ニ拍手ナスシタ方ニニ於テモ、吾ミ閣臣ガ右ノ如キ卑劣ナ舉動ニ出テクト云フコトハ御信ジニナラヌト信ズルノデアル（拍手起ル）此事ニ付テモ既ニ先刻モ申述ベマシタガ、五月六日ノ夜ニ是ハ實ハ本日私ガ此處ニ演説シタリ若クハ質問ニ答ヘル時ニハ、未ダ條約批准が濟シテ居ラナイカラ頗ル困難デアルト云フコトヲ先刻申シマシタ、其事ヲ御諒察ナク、止ム謂ハバ私ノ弱味ニ乘ジテ頻リニイロ／＼ナコトヲ御問合セニナルヤウデアリマスカラ、止ムヲ支那ノ代表者ガ事實ニ於テ認メテモ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ言明シタノデアリマス、二十六日ニ我カラ修正ヲ差出ス時ニ當ツハ、支那當局ハ既ニ言明サレタコトデアリマシテ、其事ヲ記録ニ留メヤウデナイカ、斯ウ云フコトヲ要求シタ一箇條ガアル、其事柄ハ我ノ希望通リニ即チ主義ニ於テ、我が希望ノ趣旨ヲ認容スルト云フコトヲ支那ノ外交次長が言ハタコトヲ記録ニ載セルト云フコトヲ承諾シテモ自分ハ宜カラウト思フ、又南支鐵道ノ事ニ關シ、若シ日本が要求シテ居ル所ノ鐵道ガ、他國ニ向テ既ニ權利ヲ與ヘラレテ居ル鐵道ト衝突スルが故ニ、支那政府ニ於テ我が希望ヲ容レルコトガ出來ヌト云フコトデアレバ、其關係ノ國トハ日本ニ於テ相當ノ交渉ヲ試ミル、若シ幸ニ其國ト交渉が整ウタ場合ニ於テハ、支那政府ハ許スカ否ヤ、ソレカラ其事ヲ記録ニ載セテ貰ヒタ、若クハツレモ出來ヌ場合ニ於テハ、此日本が種々敷設權ノ要求希望ヲ表シテ所ノ云フコトデアレバ、其協議ノ結果ヲ得ルマデハ、日本ガ將ニ敷設權ノ事柄ヲ記録ニ留メテ置キタ、是モ五月一日ノ支那回答ニ依テ拒シタノデアル、五月六日ノ夜ニ留メルコトハ宜イデアラウ、其二點ヲ言ツタノデアル、此二點ハ共ニ曹汝霖君ノ自己ノ意見ニアラ、政府ノ議ヲ經タモノデナイ、而シテ我が政府ノ最重キヲ置イテ二十六日ノ修正案ニ於テ要求シタ所ノ、東部内蒙古ニ於テ我國人ト支那人ト合辦シテ農業ヲ經營スルコトヲ得ルト云フ要求ヲ、支那ハ拒シテ居ルノデアル、其事ハ到底應諾が出來ヌ、滿洲ノ土地ニ關スル民事ノ訴訟ニ就テハ、支那ノ裁判官ガ日本人ヲ審判シタイト云フ支那ノ案デアリマシタカラ、之ニ對シテハ民事訴訟ノ中土地ニ關スル分ニ限ツテハ、

支那ノ裁判官ノ審判スルコト同意スル、但シ我國ノ官吏モ之ニ立會テ共同審判ヲ爲リマシタガ、米國カラモ質問ガアリマシタ、前申述ベタ通リノ事ア、ソレカラ外交ノ機密ノ漏レタ云トコトニ付テモ、先刻私ノ見ル所ヲ申述ベタ通リテ繰返シマセヌ、唯一點答辯ヲ要スルト思フ點ハ、五月六日、即チ我が最後通牒ヲ拂ニ聲明スル前ニ於テ、支那政府ヨリ既ニ二十六日ニ我レヨリ提出シタル所ノ要求及ヒ希望事項ノ全部ヲ應諾シテ居シタ、然ニ最後通牒ヲ其事ヲ聞キナガラ提出シタノハ、徒ラニ强硬ト云フ名譽ヲ得ンタメニシタノデアラウ、是ハ穩カラヌ御尋ネテアル、吾ミ苟モ此大任ヲ拜シテ居以上バ、右ノ如キ事ヲ爲スベキ皆テアルヤ否ヤ、長島君ト雖モ亦此一點ノ演説ノ時ニ拍手ナスシタ方ニニ於テモ、吾ミ閣臣ガ右ノ如キ卑劣ナ舉動ニ出テクト云フコトハ御信ジニナラヌト信ズルノデアル（拍手起ル）此事ニ付テモ既ニ先刻モ申述ベマシタガ、五月六日ノ夜ニ是ハ實ハ本日私ガ此處ニ演説シタリ若クハ質問ニ答ヘル時ニハ、未ダ條約批准が濟シテ居ラナイカラ頗ル困難デアルト云フコトヲ先刻申シマシタ、其事ヲ御諒察ナク、止ム謂ハバ私ノ弱味ニ乘ジテ頻リニイロ／＼ナコトヲ御問合セニナルヤウデアリマスカラ、止ムヲ支那ノ代表者ガ事實ニ於テ認メテモ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ言明シタノデアリマス、二十六日ニ我カラ修正ヲ差出ス時ニ當ツハ、支那當局ハ既ニ言明サレタコトデアリマシテ、其事ヲ記録ニ留メヤウデナイカ、斯ウ云フコトヲ要求シタ一箇條ガアル、其事柄ハ我ノ希望通リニ即チ主義ニ於テ、我が希望ノ趣旨ヲ認容スルト云フコトヲ支那ノ外交次長が言ハタコトヲ記録ニ載セルト云フコトヲ承諾シテモ自分ハ宜カラウト思フ、又南支鐵道ノ事ニ關シ、若シ日本が要求シテ居ル所ノ鐵道ガ、他國ニ向テ既ニ權利ヲ與ヘラレテ居ル鐵道ト衝突スルが故ニ、支那政府ニ於テ我が希望ヲ容レルコトガ出來ヌト云フコトデアレバ、其關係ノ國トハ日本ニ於テ相當ノ交渉ヲ試ミル、若シ幸ニ其國ト交渉が整ウタ場合ニ於テハ、支那政府ハ許スカ否ヤ、ソレカラ其事ヲ記録ニ載セテ貰ヒタ、若クハツレモ出來ヌ場合ニ於テハ、此日本が種々敷設權ノ要求希望ヲ表シテ所ノ云フコトデアレバ、其協議ノ結果ヲ得ルマデハ、日本ガ將ニ敷設權ノ事柄ヲ記録ニ留メテ置キタ、是モ五月一日ノ支那回答ニ依テ拒シタノデアル、五月六日ノ夜ニ留メルコトハ宜イデアラウ、其二點ヲ言ツタノデアル、此二點ハ共ニ曹汝霖君ノ自己ノ意見ニアラ、政府ノ議ヲ經タモノデナイ、而シテ我が政府ノ最重キヲ置イテ二十六日ノ修正案ニ於テ要求シタ所ノ、東部内蒙古ニ於テ我國人ト支那人ト合辦シテ農業ヲ經營スルコトヲ得ルト云フ要求ヲ、支那ハ拒シテ居ルノデアル、其事ハ到底應諾が出來ヌ、滿洲ノ土地ニ關スル民事ノ訴訟ニ就テハ、支那ノ裁判官ガ日本人ヲ審判シタイト云フ支那ノ案デアリマシタカラ、之ニ對シテハ民事訴訟ノ中土地ニ關スル分ニ限ツテハ、

○長島隆一君 今ノ説明ニ就テ尙此席カラ簡單ニ申上ゲタイコトガアリマス
○議長（島田三郎君） 長島君
○長島隆一君 私ハ外務大臣ノ御説明ニ依リマシテ大體能ク分リマシタ、殊ニ私ノ満足致シマスルノハ列國ニ對シテ帝國ニ於テ第五項ヲ落シテアッタ云フコトハ明カニナクタコトハ、私ハ甚ダ國家ノ爲ニ遺憾トスルト同時ニ、外務大臣ノ答辯が私ノ考ヘテ居リマシタ（通リテアルコトヲ感謝致シマス）
○外務大臣（男爵加藤高明君） 議長
(外務大臣男爵加藤高明君登壇)
○外務大臣（男爵加藤高明君） 先刻申シマシタが、長島君が落シテアッタ云フコトハ甚ダ語弊ガアル、要求ノ事項ニ就テハ斯ノ如キ理由ヲ以テニニノ友邦ニ内涉ヲ致シダ希望條項ハ斯ノ如キ理由ヲ以テ内涉ヲシナカタ云フコトヲ申シタノデス
○長島隆一君 其事實が明カニナリマシタ、ソレカラ是ハ唯今外務大臣カラ元老會議ノ事ニ就テ、何カ私ガ特ニ其事情ヲ知シテ居ルカト云フヤウナ言葉ガアリマシタガ、斯ノ如キ重大問題ニ就キマシテ、私ハ自分ガドウト云フヤウナ考ハ少シモアリマセス、唯此事が支那問題ノ解決ニ對シテハ重大ナル關係ガゴザイマスルカラ、其事實如何ヲ確
メタイト思フノデアリマス、サウシテ外務大臣が此事ハ少シモ自分ハ知ラスト仰ラレマシタ、併ナガラ其當時ノ新聞ヲ調べテ見マスレバ、分リマスガ、其會議ガアリマシテ外務大臣ハ參列サレマセヌデアリマシタカ、大隈首相ハ其會議ニ列シテ、而モ其後各方面ニ於テ大隈首相ガ老軀ヲ提ゲテ御説明ノタメニ御迴リニシタ、其爲メニイロ／＼ナル問題が起テ云フコトハ是ハ明カナル事實デゴザイマスカラ、其事ニ就テハ最早私ハ政府ノ説明ヲ求メマセス、ソレカラ最後ノ通牒ノ前ニ支那が應諾シテ來タコトニ就テ私ハ申シマシタ、是ハ外務大臣ノ御説明ガ其通りアルコトヲ私ハ望ムノデアル、又サウ信シナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ國民ノ間ノ疑惑が甚ダ多イノデアリマシテ、現ニ私ハ斯ウ云フ事マテ聞イテ居ルノデアル、外務大臣が最後通牒ニ對シテ訓電ヲ日置公使ニ發シタ後ニ、日置公使カラシテ支那が應諾シテ來タコトニ就テ私ハ申シマシタ、是ハ帝國ノ外務大臣ハ更ニ電訓シテ、七日ノ午後二時ニ交付スベキ最後ノ通牒ヲ交付スルカ、或ハ延バスク、其事ハ公使ニ任スト云フコトノ電訓ガアッタ云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアルコトヲ私ハ望ムノデアル、併ナガラ斯ノ如ク此重大ナル點ニ就テ疑惑が甚ダ多イノデアリマシテ、若シ是ガ明カニナリマセヌト、是ハ帝國ノ外務大臣ノ威信ニモ關係致ス事デゴザイマスル

カラ、國民ノ疑惑ヲ解ク意味ヲ以チマシテ、此間ニ於テ往復サレタル電報ヲ其儘議會ニ御示シアフンコトヲ希望致シマス(拍手起ル)而シテ此事ニ就テ尙私ハ甚々餘事ノヤウデアルガ申上ゲマスガ、昨年ノ八月ノ七日頃カラシテ獨逸ニ對シテ最後通牒ヲ發シマスル間ノ此英吉利ト交渉、此内容モ世間ニハイロ／＼ト傳ツテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ對スル外務大臣ノ説明ハ此世間ニ傳ツテ居ル所、又外國ノ新聞等ニ出テ居ル所トハ非常ニ違ツテ居リマシテ、外務大臣ハ新聞ヲ信ズルカ自分ヲ信ズルカト云フ御言葉マデ――非常ナ強イ意味ノ御言葉マデ御用井ニナッタノアリマスガ、此點ニ就テハ唯世間ニバカリテハゴザイマセヌ、殆ド貴族院ノ多數ハ疑テハナイ、此間ノ電報ノ往復ヲ見タラバ、是ハ非常ナル國辱、非常ナル國ノ威信ニ關スル事ガ多イノアルカラ、政府ヲ責ムル積ニアレバ此電報ノ公表ヲ要求スルノアルガ、其事ハ既ニ過ギタルコトデアル、獨逸ニ對スル最後通牒ガ既ニ發セラレタ過去ノコトデアルカラ、何モ故ラニ之ヲ發キ立テ國ノ恥辱ヲ世界ニ曝スニミ及バヌカラト申シテ居ルノアリマシテ、是モ或ハ誤リカモ知レマセヌ、併シタガラ唯世間バカリテハアリマセヌ、又新聞ノ上バカリテハアリマセヌ、讀者ノ間ニ於テ常ニ外交ノ機密ト云フコトニ就テ斯ノ如キ疑惑ガアルノゴザイマスカラ、此最後通牒ノ前後ニ於ケル北京公使館トノ電報ノ往復ノ寫ス、議會ニ其儘御示アラバ、國民ノ疑惑ヲ解カルコトガ、外務大臣トシテ此場合ニ於テ適當ナル處置ナリト信ジマスカラ、此事ヲ要求致シマス(拍手起ル)

○陸軍大臣(岡市之助君) 議長

○議長(島田三郎君) 岡陸軍大臣

(陸軍大臣岡市之助君登壇)

○陸軍大臣(岡市之助君) 唯今長島君カラ陸軍大臣ニト云フ特ニ御指名ノ御尋ニ置クコトガ必要ナリト云フ意見ガ具申サレタト云フ點アリマス

○陸軍大臣(岡市之助君) 簡單ニ申シマスルト、左様ナ意見上申ハ參リマセヌノアリマス、詰リ任務ガ了リマシタナラバ、必要ナ兵ダケヲ留メマシテ、其他ハ漸次ニ引揚ゲルト云フコトニ致シマシク、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラモウツ是ハ辯明ヲ致シテ置キマスルガ、又更ニ兵ヲ出シタト云フ御言葉ガアリマシタ、ソレハ二月中旬ニ交替兵ヲ出シタト云フテゴザイマシタラウト思ヒマス、是ハ先刻床次君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマシタ通り、何等ノ意味ハゴザイマセヌ、純然タル交替兵ヲ派遣致シマシタニ外ナリマセヌ、念ノ爲ニ辯明ヲ致シテ置キマス

○議長(島田三郎君) 佐々木安五郎君

(佐々木安五郎君登壇)

○佐々木安五郎君 外務大臣トハ初メテ御目ニ掛リマス、應酬流ル、如ク圓轉滑脱言萬語ヲ費シマシテモ、幾ル所ハ外交ノ失敗ト云フ字デゴザイマス、ナゼ外交ノ失敗カト云フニ、最後ノ通牒ヲ出シタ其曉ニ及シテ陸海軍ニ動員令ヲ出サレ、樽組折衝玉帛ヲ以テ解決ヲシタナラバ、外交ノ手腕ト云フコトモ多少ハ認メラレルガ、陸海軍ヲ出シテ面

ル、事實ヲ事實トシテ發表シテ、善後策ヲ講ズルノガ國務大臣ノ執ルベキ仕事デアル〔「ソレハ議論デヤナイカ」ト呼フ者アリ〕議論モ這入ルヨ、質問ノ中ニ――而シテ更ニ未解決トシテ殘ツテ居ル問題ノ中デモ、沿岸不割讓ナルモノハドウダ、沿岸不割讓ト云フコトハ、向フガ聲明ナシタ――支那ノ方カラ聲明ナシタ條件ニナツテ居ラヌ、將來此支那ガ何處カノ國ニヤラウト思ツタラ勝手ニヤルカモ知ラヌ、ソレヲ咎メルコトハ出來ヌ、自分ノ聲明シタモノヲ自分が取消スニ差障リハナイト向フガ言ツタラドウスル、條約ナラバ咎メルコトが出来ルガ、彼レ自カラ自己ノ自由ニ於ケル所ノ聲明デアルカラ之ヲ取消スノハ何デモナイト思フカ、殊ニ以上ノ如ク數ヘ來レバ殘ス所ハ皆失敗ノ文字ヨリ外ニハナイノデアルガ、失敗ニ更ニ副ヘ物ヲシテ、ヨチテ取ツタコロノ膠州灣ヲ還ス、還スノハ何ノ爲ニ還スカト云フコトヲ貴族院デ問ハレタトキニ、日支兩國ノ親善ヲ欲スルガ爲ニ還スト云フナラバ、還シタトキニ日支兩國ノ親善ノ意味ガ現レタカドウカ、若シモ親善デアルナラバ有難ウト云フテ禮ノ一遍位言ヒサウナモノデハナイカ、禮ヲ言ハサルノミナラズ、撤兵ヲ要求シ、損害賠償ヲ要求シテ居ル、ソレニ向テ日支親善ノ爲メニ還シタト云フノガ何ノ是レガ手柄ニナツテ居ルカ、一ツモ手柄ニハナツテ居ラヌノデアル、斯ノ如クニシテ手柄ニナラナイコトヲ手柄ニナルヤウニ言フ意味ハ何ノ邊ニ在ルカ、膠州灣ヲ還セバソレデ日支ガ親善ニナル――親善ニナルト云フコトガ事實ナツテ居ツタナラバ、外務大臣ノ賢明ナルニ服スルケレドモ、親善ニナツテハ居ナイ〔「未來ノ話ダ」ト呼フ者アリ〕未來ノ話デハナイ、現在デアル――現在デアル、ソチカラワアワト言フト幾ラデモ長クヤルゾ〔「ヤルベシヤルベシ」「夜ノ明ケルマデヤルベシ」「何ボデモヤレ」「蒙古ノ方ヲヤレ」ト呼フ者アリ笑聲起ル〕蒙古ノ問題ハ〔「ヒヤク」〕蒙古ノ問題ハ最前同僚ノ伊東知也君が説明ヲ求メタケレドモ、説明が出來ヌサウダ、出來マイ〔「君ナラヤルサウダ」下呼フ者アリ〕東部蒙古ト云フ話ハアルガ、奉天省ノ一部分ト直隸省ノ一部分ヲ併セテ、東部蒙古ト云フ名ヲ付ケテハ居ラヌカ、調べ出シテ見タナラバ存外チッポケナモノカ知レヌ、是レハ蓋ツ開ケヌ方が宜イト云フ譯デアラウガ、参考ノ爲メニ公ノ場合ニ示サレヌナラバ、長島君が請求シタトコロノ外交ノ電報ト共ニ祕密會モ要求シテ是非示シテ貰ヒタイモノデアルト思フ、而シテ膠州灣ヲ還シタル結果ハ〔「而シテ」〕呼フ者アリ笑聲起ル是レガ日本ノ軍人ニドレダケノ士氣ヲ沮喪セシメタカト云フコトハ、是非共此場合ニ於テ大ニ考慮ヲ費シテ貰ハナケレバナラヌ〔「蒙古ハ蒙古ヲヤレ」ト呼フ者アリ〕ソレハダ、アレダケノ人ヲ殺シアレダケノ金ラ使フテ居リナガラモ、漫然ト之ヲ支那ニ還シテ、其結果タルヤ徒ラニ支那人ノ侮辱ヲ招イテ、今日ノ如キ排日熱ヲ起サシメタニ至シテハ言語道斷ト思フガ、之ヲ元ノ通りニ親善ニ直ストコロノ考ガアルヤ否ヤ、之ヲ要スルニ外務省ノ圓滿ナルモノハ是レガ幾ラ缺ケテモ圓滿ト云フノカ、是ガ一つ解決ト云フノハシテ、其結果タルヤ徒ラニ支那人ノ侮辱ヲ招イテ、今日ノ如キ排日熱ヲ起サシメタニ至シテハ言語道斷ト思フガ、之ヲ元ノ通りニ親善ニ直ストコロノ考ガアルヤ否ヤ、之ヲ要スルニ外務省ノ腕前ト云フモノガソレデ分ル譯デアリマス、之ヲ以テ此壇ヲ降ル凡ソ外務省ノ腕前ト云フモノガソレデ分ル譯デアリマス、之ヲ以テ此壇ヲ降ル〔拍手起ル〕〔「答辯ノ限リニアラズ」「答辯が出來ネバセヌデモ宜シ」「サレヌ方が宜イダラウ」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 川原茂輔君
 (川原茂輔君登壇)
 ○川原茂輔君 諸君、本員ハ「新タル質問ヲ願ヒマス古ノデハイカヌ」ト呼フ者アリ總理大臣閣下ニ向シテ新タル質問ヲ極ク短簡ニ致サウト思フノデアリマス(「有難イ命ガ延ビル」ト呼フ者アリ)
 ○議長(島田三郎君) 静肅ニ……
 ○川原茂輔君 大隈伯爵閣下が高齢ヲ以テ國難ノ場合ニ當ラレマスルノハ、吾々ハ深ク多トスルノデアリマス(「ヒヤク」)『ソナコトガ質問カネ』ト呼フ者アリ)而シテ大隈伯爵が昨年來屢々御演説ニナツタコロノ一節ヲ茲ニ申上ゲテ、而シテ最近ニ於ケルトコロノ事實ニ之ヲ當籍メテ、伯ノ御答辯ヲ得ント思フノデアリマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)昨年ノ六月二十四日ニ伯爵閣下が豫算委員會於テノ御演説ノ一端ヲ申上ケマスレバ「日本ノ元老ト云フコトニ付シハ頗ル遺憾ニ思ウテ居ルノデアル、併ナガラ元老ト云フ言葉ハ餘程後カラ出タコトデ、若シ年寄ガ元老ナラバ吾輩モ元老」此先ニ憲法上輔弼ノ臣國務大臣以外ニ何等政治上ニ權力ノアルモノハナイ云々、私ハ何等斯ノ如キ元老ニ依テ左右サレタ人間デハナイ(「勿論」ト呼フ者アリ)是レガ即チ六月二十四日ノ御演説デアリマス、ソレカラ九月ノ臨時議會ニ於テ所謂伯ノ失言問題ナリトシテ世間ヲ騒がセタ其一節ヲ申上ケレバ「元老ト云フモハ存在シテ居ツタヤウデアル、今尙存在シテ或時期ニ於テ中間ニ加ハルコトガアルガ、何等直接ノ責任ハナイ、直接ノ責任ハ國務大臣デアル云々」(「其通リソレテ宜イデハナイカ」ト呼フ者アリ)此通りデアル、伯ハ即チ老齡ヲセタ其一節ヲ申上ケレバ「元老ト云フモハ存在シテ居ツタヤウデアル、今尙存在シテ或時期ニ於テ中間ニ加ハルコトガアルガ、何等直接ノ責任ハナイ、直接ノ責任ハ國務大臣デアル云々」(「其通リソレテ宜イデハナイカ」ト呼フ者アリ)此通りデアル、伯ハ即チ老齡ヲ以テ自ラ此局ニ當シテ政治上ノ事ハ總テ國務大臣が全責任デアルト云フコトヲ論シナガラ、此間ノ元老會議ハ何事デアルカ、是レハ伯が從來御演説ニナリマシタ事ト、此間御開キニナツタ元老會議ノ結果ハ承知シマセヌガ、御趣意ト違ヒハセヌカト云フ疑ヲ起スノデアリマス、而シテ伯ノ與黨タル――伯ノ與黨タル諸君が決議ヲシタノハ何ト決議ヲシタカ内閣ハ天皇輔弼ノ責ニ任シ國家ノ安危ニ負フモノ、ニニ元老ノ異議ニ動カサル、コトナク、憲法ノ大義ニ則リ斷然豫定ノ行動ヲ取リ上陸下ノ信任ニ應ヘ下國民ノ興望ニ副ハムコトヲ期スト云フ決議ヲシタデハナイカ、然ラバ一二ニ元老ノ異議ニ依テ動カサレルモノデナイト云フ意味カラ、決議シテ居ルノデハナイカ(「ソナコトハナイ」ト呼フ者アリ)ナイナラハ何デ決議ヲスルカ、アルカラ決議ヲシタデハナイカ、ナイナラ何デ決議ヲシテ居ルノデアルカ、然ラバ伯が從來主張セラレタルトコロノ憲法上ノ責任――元老杯ハ一切責任ヲ負フモノデナイン、自カラ責任ニ當リ、元老ハ無用ノ長物デアルガ如ク御議論ニナツタ伯ガ元老會議ヲ開イテ元老ニ喙ヲ容レシメタト云フコトハ、從來ノ御議論ト變ツタノアルカト云フ疑フ起スノデアル、若シナイナラバ與黨ノ人、其中ノ主モナル人ノ名前ハ紫四朗君、或ハ大竹貫一君、此等ノ人ガ即チ集シテ此決議ヲシテ各方面ニ向シテ活動シテ居ルデハナイカ(「途方モナイコトヲ言フナ」本旨ヲ述ベヨ」ト呼フ者アリ)即チ本月ノ五日ニ政府與黨ノ人々が集シテ此決議ヲシテ各方面ニ向シテ活動ヲシテ居ルノデアル、責任ヲ持タナイモノデアルナラバ何デ與黨ノ人が騒グコトガアル、何ヲ以テ騒グノデアルカ(此時發言スル者多シ)

○議長（島田三郎君）諸君が不規則ノ發言ヲナサルナラバ注意致シマス、諸君ノ過

デ、議場ガ紊レルノアリマスカラ、諸君ガ鎮マルマデ——發言者ノ聲ガ達スルマデ中止

セザルヲ得ヌト思ヒマス——川原茂輔君

○川原茂輔君 伯が年來ノ憲法上ニ於ケル御議論ト吾々ノ意見ト一致シテ居ルノア

アリマス、然ルニ此元老會議ノ結果與黨ノ人ガヤカマシク言シテ此通り決議ヲシテ騒ギマ

ス以上ハ、其内容ニ至シテ果シテ元老ノ異議ニ依テ動カサレタノアルカ、或ハ又世間ノ

稱スル即チ外交失敗ノ責任ヲ一一元老ニ轉嫁セムトスルノ御趣意アルカト云フコトヲ

疑フノアリマス、伯ガ元老ニ對スル年來ノ屢々ノ御話ト、現在ノ伯ノ御考ニ付テ如何

ナル變更ガアリマシタカ、果シテ然ルカト云フコトヲ伯ニ向シテ問フノアリマス（岡崎久次

郎君「演説者ニ質問ガアル、決議ト云フノハ能ク分ラヌ、ドウ云フ所ヲ決議ヲシタノカ、

モット、明カニ言フテ貰ヒタイ」ト呼フ）

○議長（島田三郎君） 大隈總理大臣

（内閣總理大臣伯爵大隈重信君登壇）

○内閣總理大臣（伯爵大隈重信君） 國家重大ノ問題が起ル毎ニ、從來ノ内閣ニ於テ

元老閣臣が集シテ協議ヲサレタト云フコトハ數回繰返サレテ居ルコトデアリマス、吾々局ニ

當ツタ後モ、既ニ昨年八月八日ニ日獨交渉ノ末、或ハ不幸ニモ兩國兵ヲ交ユルノ已ム

ヲ得ヌカモ知レメト云フトキニ當ツテ、元老吾々ハ集會シタコトガアリマス、此度モ均シク

集會致シタノアリマス、元老ハ帝室ノ重ンセラル、トコロ、國家ニ大勳アル者ニアシテ、

決シテ此元老ヲ厄介視スル、サウ云フコトハ少シモナイノアル、吾々ハ尊重シテ居ルノデ

アル、併ナガラ重大ノ問題ヲ以テ責任ヲ分ツ、拵ト云フ、斯ノ如キ誤レル考ハ少シモナイノ

アル、無論國家ノ問題ニ付テハ大小ヲ問ハズ補弼ノ臣自カラ責ニ任スル、憲法ノ大義

アル、又元老其者モ其大義ヲ冒スト云フコトハナインオアル、何等干涉スルト云フコト

モ決シテアリ得ラレメ譯アル、多分誤解カラスノ如キコトが起シテ居ルト思フノアル

○議長（島田三郎君） 池田寅治郎君

（池田寅治郎君登壇）

○池田寅治郎君 東洋永遠ノ平和ヲ維持スルト云フコトハ我國ノ國是アル、世界

列國ノ熱望スルトコロ、而モ此日本が東洋永遠ノ平和ニ關スル立場ハ歐洲列國ヨリ之

ヲ見マスレバ、單ニ問題ハ利害得喪ニ止マリニ拘ラズ、日本ヨリ之ヲ見レバ利害得喪ノ

問題ハ最モ親密ナル關係ヲ持ツコトハ申スマデモナク、日本帝國ノ存危安亡ニ關スル大

問題デアルノアリマス、此存危安亡ニ（笑聲起ル）諸君、此日本ノ存立問題ニ關シテ

デス、此平和ノ問題ハ何レニアルカト言ヘバ、日支親善ノ關係ヲ維持スルヨリ外ニ策ハ

無イノアル、此日支親善ノ關係ヲ維持スル、此日支談判ノ如何ニ是ガ取扱レタルカ

ト云フコトヲ私共ガ考ヘマスルト、實ニ感慨ノ情ニ堪ヘナイコトが數々アリマス、併ナガラ

是ハ（「質問ヲ早クセヨ」と呼フ者アリ）諸君默リ給ヘ、黙レ、黙レ（謹聽タク）ト呼フ者

アリ此大切ナル問題ヲ交渉スルニ當リマシテ、曩ニ加藤外務大臣ハ準備ヲ要シタト言

ハレマシク、私ハ頗ル同意ヲ表シタモノアル、然ルニ茲ニ怪訝ノ情ニ堪ヘナイノハ、今朝貴

族院ニ於テ、仲小路君ガ御質問ノ時ニ権利義務ノ御言葉ヲ御使ヒニナリマシク、海外

ニ之ヲ報告スル義務ハ持タナリ、斯ウ云フ御演説ガアリマシタ、勿論私ハ日本帝國ガ堂

タル權威ヲ持ツテ何等厭從的ノ義務ヲ以テ、之ヲ海外ニ報告スルノ義務ノ無イト云

フコトハ外務大臣ノ言葉ヲ俟タズシテ、三尺ノ童子ト雖モ確カニ之ヲ知ルトコロアル、

セザルヲ得ヌト思ヒマス——川原茂輔君

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

マデ引込シテ而シテ之ヲ本屋テ賣ツテ居ルヤウナ有様ヲ以テ、世界列國共ハ言葉ヲ換へ

テ申シマスレバ多大ノ關係マデ持ツテ居ルノアル……

（「ソレガ質問カ」ト呼フ者アリ）

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

マデ引込シテ而シテ之ヲ本屋テ賣ツテ居ルヤウナ有様ヲ以テ、世界列國共ハ言葉ヲ換へ

テ申シマスレバ多大ノ關係マデ持ツテ居ルノアル……

（「ソレガ質問カ」ト呼フ者アリ）

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

マデ引込シテ而シテ之ヲ本屋テ賣ツテ居ルヤウナ有様ヲ以テ、世界列國共ハ言葉ヲ換へ

テ申シマスレバ多大ノ關係マデ持ツテ居ルノアル……

（「ソレガ質問カ」ト呼フ者アリ）

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

マデ引込シテ而シテ之ヲ本屋テ賣ツテ居ルヤウナ有様ヲ以テ、世界列國共ハ言葉ヲ換へ

テ申シマスレバ多大ノ關係マデ持ツテ居ルノアル……

（「ソレガ質問カ」ト呼フ者アリ）

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

マデ引込シテ而シテ之ヲ本屋テ賣ツテ居ルヤウナ有様ヲ以テ、世界列國共ハ言葉ヲ換へ

テ申シマスレバ多大ノ關係マデ持ツテ居ルノアル……

（「ソレガ質問カ」ト呼フ者アリ）

○池田寅治郎君 御待チナサイ、質問ノ要領冒頭デス

○議長（島田三郎君） 静慮ニ……

○池田寅治郎君 ソコデ斯ノ如キ關係ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、準備モアリマシタル

次第ト確カニ私ハ信ジマス、此至大ノ關係ヲ持ツテ居ル歐米各國ノ態度如何ト云フコ

トヲ無視ハセラレナカッタラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジマス、此關係ヲ無視セズシテ何等

力範圍アル、是ハオレノ勢力範圍アルト地圖マデ立派ニ持ヘテ、人ノ領土内ニ朱線

イ、是が將來此對支モウ一ツ言葉ヲ切ニシテ言ヘバ東洋永遠ノ平和ヲ維持スル點ニ於テ切シテモ切ルコトニテ、前後孰レガ原因ガ伏在シテ居ルト云フコトヲ私ハ確信スルノデアル、

外務大臣ハ此歐米各國トノ間ニ交渉往復セラレタル公文書ヲ必ズ御示シ下サルコト、
信ジマス、何故ナレバ是ハ事既ニ過去ニ屬シ、又私ノ希望トシテハ此日付ノ前後又支那ニ對スル交渉ノ前後孰レガ原因ニナリ孰レガ結果ニナシテ居ルカト云フコトヲ深ク考ヘテ行キマスナラバ、此對支交渉ノ是非善惡ハ多辯ヲ要セズシテ自カラ分り、且ツ將來ニ對シテ日本が如何ナル政策ヲ執ルベキカト云フコトモ、此間ニ自カラ確定シテ行クト云フコトハ分明シテ居ルノデアル、故ニ私ハ此日支交渉ソレ自身ノ直接關係ヨリモ寧ロ間接關係ナル所ノ歐米列國間トノ交渉顛末ヲ、順序ヲ逐ウテ全部ヲ御明示アラムコトヲ熱望スルノデアリマス

〔答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ〕

○高柳覺太郎君 議事ノ進行ニ付テ一言致シタ、唯今ノ質問ニ對シマスル答辯ノ残リ、及ビ他ノ質問ハ總テ後日ノ日程ニ迴シテ、今日ハ是ニテ散會サレムコトヲ望ミマス

ス

〔「ノウ」と呼フ者アリ〕

○荒川五郎君 マダ質疑ノ通告モアルヤウデアリマスガ、最早質疑ヲ打切ルニ相當ノ時機ニ達シタ認メマス、アトハ豫算會ニ譲リ、茲ニ質疑終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(島田三郎君) 贊成ガアリマスカ

〔「贊成々々」聲起ル〕

○議長(島田三郎君) 贊成者ガアレバ決ヲ採ラケレバナリマセヌ

〔散會ノ動議が出テ居リマス〕ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) ソレハ贊成ガアリマスカ

○高柳覺太郎君 アリマス

○林毅陸君 議事ノ進行ニ付テ一言致シタ、從來政府ニ對シテ質問ヲ致ス場合ニ、各派ヨリ通告ガアリマス時ハ、成ベク各派ニ行渡ルヤウニ發言ヲ御許シニナルヤウニ本員ハ考ヘテ居ル、私ハ早ク院内幹事ノ手ヲ經テ質問ノ通告ヲ致シテ居ルノデアリマス、先

程書記官長ノ手許テ見マシタコロニ依レバ、非常ニ順番ハ後レテ居ルノデアリマス、ソレハ本員ノ順番ガ後レタノデアルカラ宣シイガ、免ニ角今マテニ於テ政友會ヨリ四名ノ質問者ガアリ、國民黨ヨリ四名ノ質問者ガアリ、而シテ中正會ノ本員ニ向シテハ發議ヲ未ダ御許シガナイノデアル、恰モ本日ノ質問會ハ政友會ト國民黨ノ爲メノ質問會アル

カノ如ク見エル、是ハ斯ウ云フ慣例ガアルカ、本員ガ從來見テ居ルトコロニ依レバ、成ベ

ク各派ニ別シテ順次ニ質問ヲ許スト云フコトニナシテ居ルヤウニ思ヒマス、心得ノ爲三伺シテ置キタイ

○議長(島田三郎君) 手許ニ參シテ居リマスノハ、林毅陸君ノハズスト遲レテ居リマス、ソレハ前カラ御請求ガアレバ直シテアルダラウト思ヒマス、唯今初メテノ御發議デ知リマシタ、一方ニハ荒川君ノ動議ガアテ贊成ガアリマス、一方ニハ高柳君ノ動議ガアテ是モ贊成ガアリマス、高柳君ノ動議ヲ先ツ採リマシテ、ソレカラ荒川君ノコトヲ採リマシ

テ、ソレデ尚續ケルト云フコトニナリマスレバ、林君ノ方へ發議ノ權ヲ迴スト云フコトニ致シテ宜カラウト思ヒマス

〔前例ガアリマス〕ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 前ニ此御請求ガナカッタノデ、議長ノ手許ニ出テ居ルノガ後レタ云フノデアッテ、許サヌト云フコトデハゴザイマセヌ、林君、ソレテ宜シウゴザイマスカ

○林毅陸君 私ハ演説ヲ許シテ貰ヒトイト云フノデハアリマセヌ、各派ニ偏スルヤウナ嫌がアリマスカラ、ドウデアラウカ、云フコトヲ同フタノデス

○議長(島田三郎君) 唯今申シマシタ通りアリマス、ソレデハ高柳君ノ動議ニ付テ決ヲ採リマス、高柳君ノハ是デ止メテ明日會ヲ續ケヤウト云フノデアリマス、明日ト云フノハ私ノ言ヒ誤リテ曜「ト呼フ者アリ」次ノ會ニ續ケルト云フコトデアリマス、明日ト云フノアス、異議ガナイト考ヘマスカラ發議者ノ名ニ依シテ決ヲ採リマス、高柳君ノ說ニ同意ノ御方ハ起立ヲ乞ヒマス

起立者

〔「議長ノ宣告徹底セズ」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 徹底致サナケレバモウ一遍繰返シマス、高柳君ノ發議ハ明白デアラウト思ヒマス(「是レデ散會」ト呼フ者アリ)散會ハ決議ノ結果デアリマスカラ今ハ發議ヲ止メマス、高柳君ノハ是デ今夕ノ會ヲ閉チマシテ、次ニ日程ヲ作シテ定日ニ此會ヲ引繼グト云フノデアリマス、徹底シマシタカ、高柳君ニ同意ノ方ハ起立ヲ乞ヒマス

起立者 少數

○議長(島田三郎君) 少數——荒川君ノコトハ御承知デアリマセウガ、モウ一遍繰返ス必要ガアリマスカ

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 荒川君ノハ此會デ質問ヲ止メマシテ、豫算委員會ニ譲ルト云フコトデアリマス(「横暴々々」ト呼フ者アリ)荒川君ニ同意ノ方ハ起立ヲ乞ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數——ソレデハ質問ノコトハ本會ニ於テ之ヲ止メルト云フコトニ致シマシテ、次ノ日程ニ移リマス、日程第一河川法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス

第一 河川法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

河川法中左ノ通改正ス

河川法中改正法律案

第二十六條中「地租額十分ノ一ヲ地價總額千分ノ二箇半ニ、地租額ヲ超過ス、ソレハ前カラ御請求ガアレバ直シテアルダラウト思ヒマス、唯今初メテノ御發議デ知リマシタ、一方ニハ荒川君ノ動議ガアテ贊成ガアリマス、一方ニハ高柳君ノ動議ガアテ是モ贊成ガアリマス、高柳君ノ動議ヲ先ツ採リマシテ、ソレカラ荒川君ノコトヲ採リマシ

前項ニ於テ地價ト稱スルハ其ノ年分地租ヲ徵收スヘキ土地ノ一月一日現
在地價ヲ謂フ

(政府委員下岡忠治君登壇)

○政府委員(下岡忠治君) 河川法ノ改正法律案ニ關スル理由ヲ申上ケマス、河川法ヲ施行シマシタ河川ノ改良工費ヲ國庫カラ補助ヲスル、又ハ國庫ト關係府縣トノ分擔額ヲ定メマス、ソレニ付イテハ是マテ河川法ノ規定ニ依シテ、其府縣内ノ地租額ヲ標準トシテ算出スルト云フコトニナッテ居ツクノデゴザイマス、然ルニ明治四十三年法律第二號ニ依シテ地租條例ガ改正セラレマシタル結果、税率が多クナッテ來タ、其結果トシマシテ從來ノ如キ算定法ニ據ルト云フコトデアルト、地方ノ負擔が非常ニ増加スルコトニナッテ來マシテ甚ダ權衡ヲ失スルモノデゴザイマスカラ、依シテ河川法ヲ制定シマシタ當時ノ趣旨ニ基イテ、河川法中ニ改正スルコトヲ必要アリト認メテ、茲ニ本案ヲ提出スルコトニナッタノデゴザイマスカラ、宜シク御審議ノ上協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君)

質問ガゴザイマセヌケレバ第二ニ移リマス、第二ニ移リマシテ議

案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○荒川五郎君 本案ハ議長指君九名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 異議ガナケレバ荒川君ノ動議ニ決シマス

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 次ハ第三、第五、第七デアリマス、是ハ一々別ケテ致シマスルト說明ノ上ニ手數ヲ重ネマスガ、大藏大臣ノ請求ニ依シテ之ヲ一度ニシテ説明ヲ與ヘタイト云フコトデアリマス

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

第一讀會

マス

第三 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)

帝國鐵道會計法中左ノ通改正ス

第二條中「又ハ」ノ下ニ「一般會計」ヲ加フ

附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

國債整理基金特別會計法中改正法律案

第二條第二項ヲ左ノ如ク改ム
前項繰入額ノ中國債ノ元金償還ニ充ツヘキ金額ハ他ノ特別會計ヨリ繰入

ルルモノヲ併セテ前年度首ニ於ケル國債總額ノ萬分ノ百十六以上トシ三千萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス

本法ハ大正四年度ヨリ之ヲ施行ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ大藏省證券及借入金ハ之ヲ國債ト看做サス

附 則

○大藏大臣(若槻禮次郎君登壇) 初ノ案ハ鐵道會計法中ノ改正案デアリマスガ、是ハ治水費資金特別會計法ハ大正四年度限り之ヲ廢止ス

第七 治水費資金特別會計法廢止法律案(政府提出) 第一讀會

治水費資金特別會計法ハ大正四年度限り之ヲ廢止ス

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 此度ノ政府財政計畫ニ依リマスト、一般會計ノ資金ヲ以テ鐵道會計ヘ貸付ケヤウト云フ計畫ニナッテ居リマス、此改正ヲ致シマセヌト其事が實行ニナリマセヌ、故ニ此法律案ヲ提出致シタノデアリマス、第一ノ國債整理基金法中ノ改正案ハ今日ノ通りテアリマスト云フト、日露事件公債ノ爲メニ年々一億千万圓ヲ入レルト云フコトニナッテ居リマスガ、此儘ニ致シテ置キマスト、今數年ナラズシテ大變ニ元金ノ償還額が殖エテ參ル、而カモ多ク外債ニ向シテ償還シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、之ヲ改正ヲ致シマシテ適當ニ償還ノ出來ハヤウニナルト同時ニ本回二千万圓ダケハ此償還金ヲ減シテ鐵道ノ資金ニ振向ヤウト云フ計畫ニナッテ居リマス、シテ實行シタイ爲メノ法律案デアルノデアリマス、第三ノ治水費特別會計法、是ハ是マテハ借入金ヲ財源ノ一部ニシテ居リマシタケレドモ、今後ハ借入金ヲ廢シヤウト思フノデアリマス、借入金ヲ爲サヌコトニスルナラバ特別會計法ヲ存置スルノ必要がナニノデアリマスカラ、今後之ヲ廢シヤウト云フ趣意テアルノデアリマス、三案トモニ財政計畫ニ伴ツタ法律案デアリマス、故ニ十分御審議ノ上、成ベク速力ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 別ニ御發議ガナケレバ三案トモ委員ヲ選ムコトヲ議題ト致シマス

○荒川五郎君 日程第四第ハハ一括シテ議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス、又日程第八ハ別ニ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 唯今ノ荒川君ノ動議ニ御贊成デアレバ其通り致シマス

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 異議ガナイト認メマスカラ左様ニ決シマス——是ヨリ報告ガゴザイマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

國民教育ノ方針ニ關スル質問

提出者 大津淳一郎君

(左) 報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
勅語奉答文起草ノ委員會

委員長 箕浦勝人君
豫算委員會

箕浦勝人君

委員長 片岡直溫君 理事 大竹貫一君
決算委員會

高田柵瀬月 小太郎君
中木正善 軍之佐君
平村喜三郎君
松山壽君

委員長

大津淳一郎君

理事

懲罰委員會

委員長 森田茂君 理事

豊山増龍次郎君
横山金太郎君
重盛信近君

請願委員會

委員長 肥田景之君 理事

戸井嘉作君
桶口秀雄君
本田恆之助君
松本清君

○議長(島田三郎君) 委員ノ氏名ト並ニ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、
今日ハ是デ散會致シマス、

午後九時一分散會